

高齢者実態調査報告書

《介護保険サービス利用者・未利用者調査・介護者調査》

案

令和5年3月

大阪市

- 目 次 -

1 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査設計	1
(3) 調査項目	1
(4) 回収状況	3
(5) 報告書の見方	4
2 介護保険サービス利用者調査結果	5
(1) 調査回答者の基本属性	5
問1 記入者	5
問2 (1) 本人の性別	5
問2 (2) 本人の年齢	6
問2 (3) 本人の居住区	7
問3 要介護度	7
問4 傷病状況	8
(2) 世帯の状況、介護の状況	9
問5 世帯状況	9
問6 介護者の有無	11
問6-1 家族や親族からの介護日数	13
問7 介護・介助が必要になった原因	14
(3) 要介護認定	16
問8 初めて要介護認定を受けた時の目的	16
問9 直近の要介護認定で不満の有無	18
問9 1 要介護認定に不満がある理由	18
(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	19
問10 現在の住まい	19
問10-1 施設等の入所（入居）の検討状況	20
問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス	21
問10-3 令和4年8月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況	24
問10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況	25
問10-5 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由	27
問11 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化	28
問11-1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用をやめた、もしくは回数を減らした介護サービス	29
問11-2 介護サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響	30
問12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス	31
問13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス	32

問14	入所（入居）している施設	33
問14-1	入所（入居）を希望した理由	35
問14-2	入所施設での定住意向	37
問15	医療従事者などの訪問有無	38
問15-1	訪問されている医療従事者	39
問16	介護支援専門員の満足度	41
問16-1	担当の介護支援専門員についての意見・要望（自由記述）	42
問17	介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度	43
問17-1	介護保険サービス及び介護予防サービスについての意見・要望（自由記述）	44
問18	現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向	45
問18-1	現在利用していない居宅サービスの利用意向	47
問18-2	現在利用していない施設サービスの利用意向	50
(5)	外出の状況	53
問19	外出頻度	53
問20	昨年と比べた外出の回数	54
問21	外出を控えること	55
問21-1	外出を控えている理由	56
(6)	介護予防・重度化防止の取り組み	58
問22	介護予防に対する意識の程度	58
問23	介護予防の取り組み状況	59
問23-1	介護予防の取り組みに意向がない理由	65
(7)	健康状態	67
問24	歯の数と入れ歯の利用状況	67
問24-1	かみ合わせ	68
問24-2	入れ歯の手入れ	69
問25	かんで食べることの可否	70
問26	お茶や汁物でむせること	71
問27	健康状態	72
(8)	新型コロナウイルス感染症対策	73
問28	新型コロナウイルス感染症対策の実施	73
問28-1	行っている感染症対策	74
問29	新型コロナウイルス感染症に感染した経験	76
(9)	かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師	77
問30	かかりつけの医師の訪問診療の有無	77
問31	かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無	78
問32	かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無	79
(10)	地域活動	80
問33	地域の会・グループ等への参加頻度	80
問33-1	地域づくり活動に参加者としての参加意向	81
問33-2	地域づくり活動に企画・運営としての参加意向	82
(11)	認知症	83
問34	認知症状の有無	83

問34-1 認知症に関する相談窓口の認知度	85
問34-2 知っている認知症に関する相談窓口	87
問34-3 認知症についての相談先	88
(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度	89
問35 高齢者向けサービスの情報源	89
問36 現在の生活の満足度	91
(13) 介護保険制度についての意見・要望等	92
問37 介護保険制度についての意見・要望等(自由記述)	92

3 介護保険サービス未利用者調査結果 95

(1) 調査回答者の基本属性	95
問1 記入者	95
問2(1) 本人の性別	95
問2(2) 本人の年齢	96
問2(3) 本人の居住区	97
問3 要介護認定の有無	97
問3-1 要介護度	98
問4 傷病状況	99
(2) 世帯の状況、介護の状況	101
問5 世帯状況	101
問6 介護者の有無	104
問6-1 家族や親族からの介護日数	106
問7 介護・介助が必要になった原因	107
(3) 要介護認定	109
問8 初めて要介護認定を受けた時の目的	109
問9 直近の要介護認定で不満の有無	110
問9-1 要介護認定に不満がある理由	111
(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	112
問10 介護保険サービスの利用状況	112
問10-1 以前利用していた介護保険サービス	114
問11 介護保険サービスを利用していない理由	117
問12 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス	119
問13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス	120
問14 医療従事者などの訪問有無	121
問14-1 訪問されている医療従事者	122
問15 介護保険サービスの利用意向	124
問15-1 利用したい居宅サービス	126
問15-2 利用したい施設サービス	129
問15-3 施設等の入所(入居)の検討状況	131
(5) 外出の状況	132
問16 外出頻度	132

問17 昨年と比べた外出の回数.....	133
問18 外出を控えること	134
問18-1 外出を控えている理由.....	135
(6) 介護予防・重度化防止の取り組み.....	137
問19 介護予防に対する意識の程度.....	137
問20 介護予防の取り組み状況.....	138
問20-1 介護予防の取り組みに意向がない理由.....	144
(7) 健康状態	146
問21 歯の数と入れ歯の利用状況.....	146
問21-1 かみ合わせ	147
問21-2 入れ歯の手入れ	148
問22 かねで食べることの可否.....	149
問23 お茶や汁物でむせること.....	150
問24 健康状態	151
(8) 新型コロナウイルス感染症対策.....	152
問25 新型コロナウイルス感染症対策の実施.....	152
問25-1 行っている感染症対策.....	153
問26 新型コロナウイルス感染症に感染した経験.....	155
(9) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師.....	156
問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無.....	156
問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無.....	157
問29 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無.....	158
(10) 地域活動	159
問30 地域の会・グループ等への参加頻度.....	159
問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向.....	160
問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向.....	161
(11) 認知症	162
問31 認知症状の有無	162
問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度.....	164
問31-2 知っている認知症に関する相談窓口.....	166
問31-3 認知症についての相談先.....	167
(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度.....	168
問32 高齢者向けサービスの情報源.....	168
問33 現在の生活の満足度	170
(13) 介護保険制度についての意見・要望等.....	171
問34 介護保険制度についての意見・要望等(自由記述).....	171
4 介護者調査結果.....	173
(1) 介護者の基本属性	173
問38[35] 本人との関係	173
問39[36] (1) 介護者の性別.....	177

問39[36] (2) 介護者の年齢.....	179
問39[36] (3) 本人との同居の有無.....	185
問40[37] 介護者の健康状態	189
(2) 介護の状況	190
問41[38] 介護者がよく話をする相手.....	190
問42[39] 介護を手助けしてくれる人の有無.....	192
問43[40] 本人の認知症の程度.....	194
問44[41] 本人に行っている介護内容.....	200
問45[42] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの.....	208
(3) 介護上の問題	210
問46[43] 自宅での介護で困っていること.....	210
問47[44] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと.....	216
問47-1[44-1] 虐待的行為が緩和される支援(自由記述).....	228
問48[45] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度.....	229
問49 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化.....	231
問50 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度.....	232
問50-1 本人利用の介護保険サービスに対する介護者の満足度の理由(自由記述).....	234
問[46] 本人に対する介護保険サービスの利用意向.....	235
問[47] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態.....	236
問[48] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態.....	237
問51[49] 自宅での介護で重要なこと.....	238
(4) 介護離職に関する問題	240
問52[50] 介護者の就業状況	240
問52-1[50-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整.....	251
問52-2[50-2] 働きながら介護を続けることの意向.....	253
問53[51] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無.....	255
問54[52] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援.....	256
問55[53] 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護.....	258
問56[54] 相談窓口の利用状況.....	260
問56-1[54-1] 自宅での介護で困った時の相談先.....	262
(5) 介護保険制度についての意見・要望等.....	264
問57[55] 介護保険制度について、介護者としてのご意見・ご要望等(自由記述).....	264
5 調査結果からみえてきた現状と課題	267
(1) 高齢者の状態像や世帯特性にみる課題.....	267
(2) 介護保険サービス等の利用と今後の利用意向にみる課題.....	268
(3) 在宅医療(訪問診療)の利用にみる課題.....	270
(4) 介護予防等への取組みにみる課題.....	271
(5) 地域活動への参加状況にみる課題.....	272
(6) 相談・情報収集の状況にみる課題.....	272
(7) 介護者の介護の状況にみる課題.....	273

1 調査概要

(1) 調査目的

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者及びその介護者を対象に、介護保険サービスの利用状況と利用意向、介護の状況などを把握し、大阪市における今後の高齢者施策及び介護保険事業の運営に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

(2) 調査設計

調査地域：大阪市内全域

調査対象：

介護保険サービス利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、かつ令和4年4月1日時点で介護サービスを利用している方から無作為抽出した 6,400人

介護保険サービス未利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、かつ令和4年4月1日時点で介護サービスを利用していない方から無作為抽出した 9,300人

介護者

上記 ・ の対象者を介護している者（介護サービス事業者を除く）

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：令和4年9月9日（金）から令和4年9月30日（金）

(3) 調査項目

〔1〕介護保険サービス利用者

調査回答者の基本属性

記入者、本人の性別・年齢・居住区、要介護度、傷病状況

世帯の状況、介護の状況

世帯状況、介護者の有無、家族や親族からの介護日数、介護・介助が必要になった原因

要介護認定

要介護認定の目的、要介護認定の不満

介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

現在の住まい、施設等の入所（入居）の検討状況、現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス、介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化、介護保険サービス及び介護予防サービス以外で利用している支援・サービス、在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス、現在入所（入居）している施設等の状況、医療従事者の訪問状況、介護支援専門員や介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度、介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

外出の状況

外出回数、外出の状況

介護予防・重度化防止の取り組み

介護予防に対する意識の程度、介護予防の取り組み状況

健康状態

歯の数と入れ歯の利用状況、かみ合わせ、咀嚼状態、誤嚥、現在の健康状態

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染対策、感染した経験

かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の訪問診療の有無

地域活動

地域活動の参加状況、地域づくりの参加意向

認知症

認知症状の有無、認知症に関する相談窓口

高齢者向けサービス情報、生活の満足度

高齢者向けサービスの情報源、現在の生活の満足度

介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

〔 2 〕 介護保険サービス未利用者

調査回答者の基本属性

記入者、本人の性別・年齢・居住区、要介護度、傷病状況

世帯の状況、介護の状況

世帯状況、介護者の有無、家族や親族からの介護日数、介護・介助が必要になった原因

要介護認定

要介護認定の目的、要介護認定の不満

介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスの未利用理由、介護保険サービス及び介護予防サービス以外で利用している支援・サービス、在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス、医療従事者の訪問状況、介護保険サービスの利用意向、施設等の入所（入居）の検討状況

外出の状況

外出回数、外出の状況

介護予防・重度化防止の取り組み

介護予防に対する意識の程度、介護予防の取り組み状況

健康状態、新型コロナウイルス感染症対策

歯の数と入れ歯の利用状況、かみ合わせ、咀嚼状態、誤嚥、現在の健康状態

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染対策、感染した経験

かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の訪問状況

地域活動

地域活動の参加状況、地域づくりの参加意向

認知症

認知症状の有無、認知症に関する相談窓口

高齢者向けサービス状況、生活の満足度

高齢者向けサービスの情報源、現在の生活の満足度

介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

〔3〕介護者

介護者の基本属性

本人との関係、介護者の性別・年齢、同居有無、介護者の健康状態

介護の状況

介護者の話し相手、介護を手助けしてくれる人の有無、本人の認知症の程度、本人に行っている介護内容、自宅での介護で毎月必要とするもの

介護上の問題

介護で困っていること、虐待の有無、高齢者虐待の通報・相談先の認知状況、介護保険サービス利用による介護者の変化・満足度【利用者調査のみ】、介護者が考える介護保険サービスの利用意向【未利用者調査のみ】、自宅での介護で重要なこと

介護離職に関する問題

介護者の就業状況、介護と働き方の調整、働きながら介護を続けることの意向、介護を理由に離職した家族・親族の有無、仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援、現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護、相談窓口の利用状況、相談窓口以外の相談相手

介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

（4）回収状況

〔1〕介護保険サービス利用者調査

調査対象者 (a)	回収数 (b)	集計対象外数 (c)	有効回答数 (d)=(b)-(c)	有効回答率 (e)=(d)/(a)
6,400	3,373	335	3,038	47.5%

集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したものの）

現在介護保険サービスを利用して いない	病院に 入院中	本人の意 思が確認 できない	転居	死亡	その他	計
45	71	195	4	15	5	335

【介護保険料段階】有効回答数を全体とした各段階の人数（上段）と割合（下段）

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	第15段階	無回答
524	851	386	333	244	193	190	185	54	24	14	8	5	4	18	5
17.2%	28.0%	12.7%	11.0%	8.0%	6.4%	6.3%	6.1%	1.8%	0.8%	0.5%	0.3%	0.2%	0.1%	0.6%	0.2%

〔 2 〕 介護保険サービス未利用者調査

調査対象者 (a)	回収数 (b)	集計対象外数 (c)	有効回答数 (d)=(b)-(c)	有効回答率 (e)=(d)/(a)
9,300	4,758	1,375	3,383	36.4%

集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したのもの）

現在介護保険サービスを利用して いる	病院に 入院中	本人の意思 が確認でき ない	転居	死亡	その他	計
702	539	40	7	81	6	1,375

【介護保険料段階】有効回答数を全体とした各段階の人数（上段）と割合（下段）

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	第15段階	無回答
242	920	457	406	329	281	246	279	95	34	21	17	6	17	26	7
7.2%	27.2%	13.5%	12.0%	9.7%	8.3%	7.3%	8.2%	2.8%	1.0%	0.6%	0.5%	0.2%	0.5%	0.8%	0.2%

〔 3 〕 介護者調査

	回答数
介護保険サービス利用者調査	1,310
介護保険サービス未利用者調査	1,797

〔 5 〕 報告書の見方

回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）

図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味である。

コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

報告書記載の「前回調査」とは、令和元年度実施の高齢者実態調査の結果を示している。介護者調査結果の[]内の数字は、介護保険サービス未利用者調査の問番号を示している。

介護保険サービス利用者調査 編

2 介護保険サービス利用者調査結果

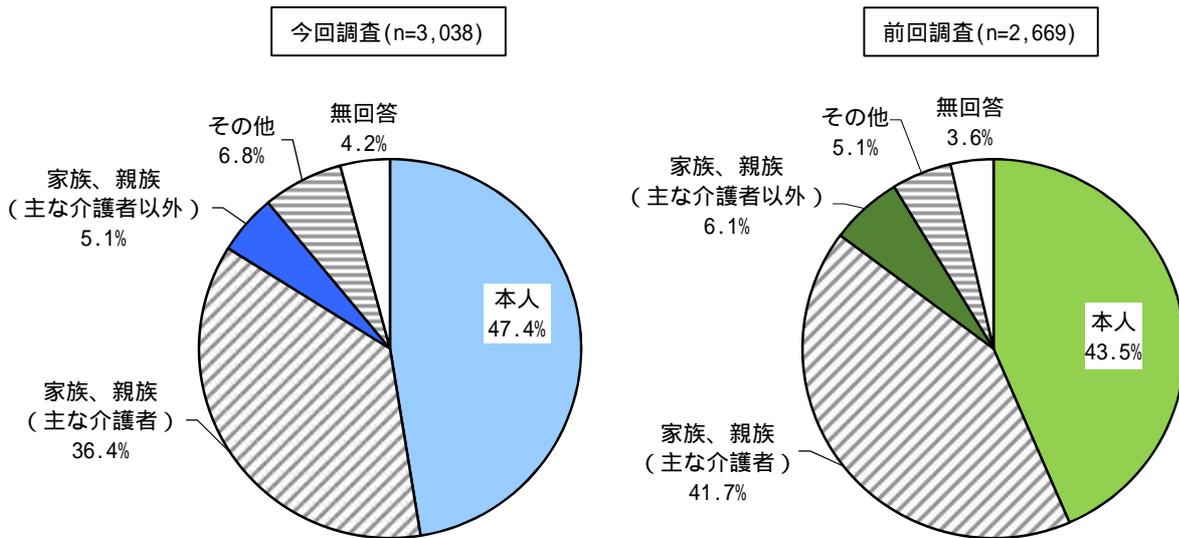
(1) 調査回答者の基本属性

問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(はひとつ)

記入者は、「本人」が47.4%、「家族、親族（主な介護者）」が36.4%となっている。
 前回調査と比較すると、「本人」の割合が3.9ポイント高くなっている。(図1)

【図1 記入者（経年比較）】

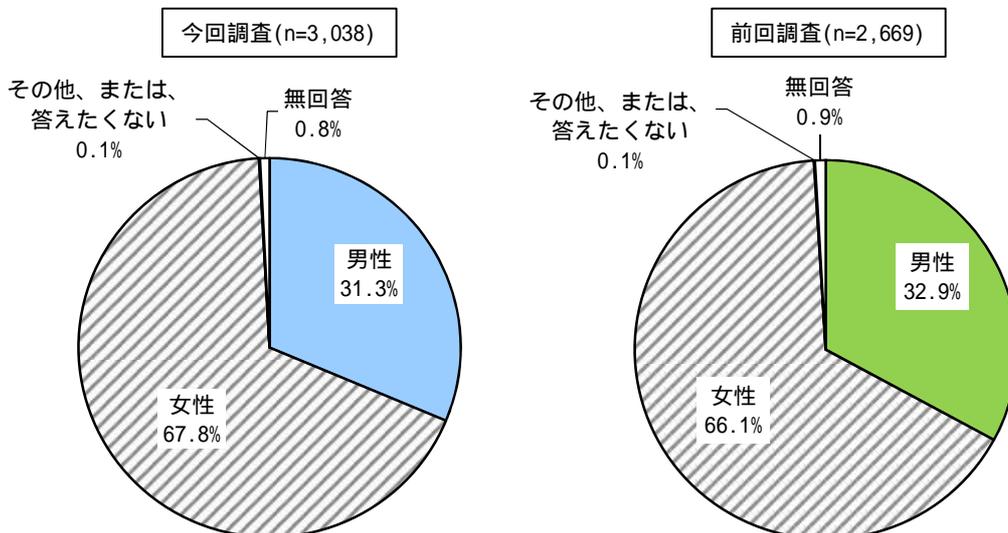


あなたの性別、年齢、居住区についておうかがいします。(それぞれ はひとつ)

問2 (1) 本人の性別

本人の性別では、「男性」が31.3%、「女性」が67.8%となっている。
 前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図2(1))

【図2(1) 本人の性別（経年比較）】

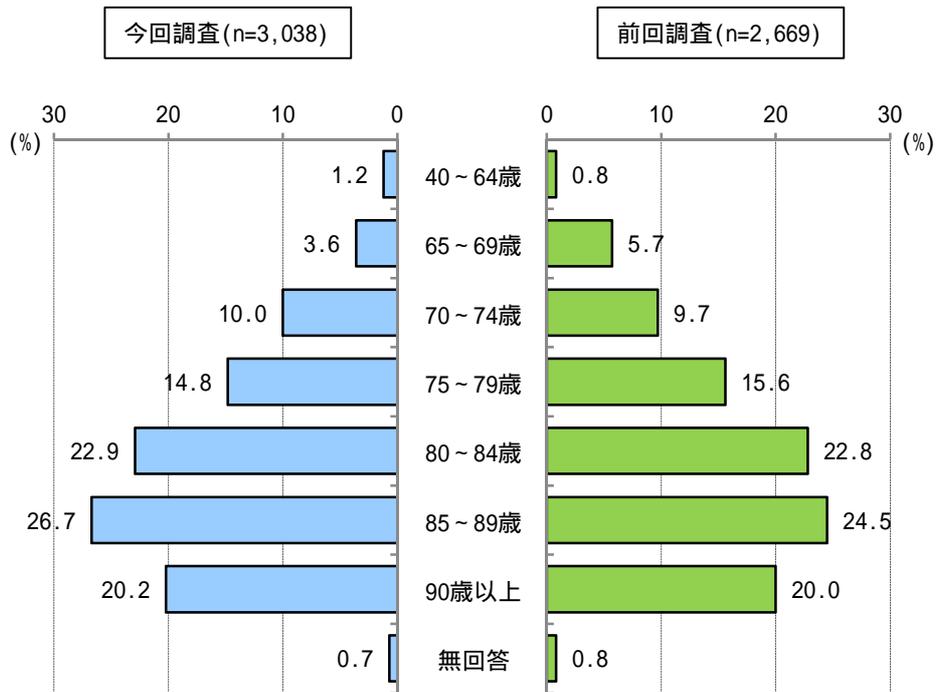


問2(2) 本人の年齢

本人の年齢では、「85～89歳」が26.7%で最も多く、次いで「80～84歳」が22.9%、「90歳以上」が20.2%となっている。

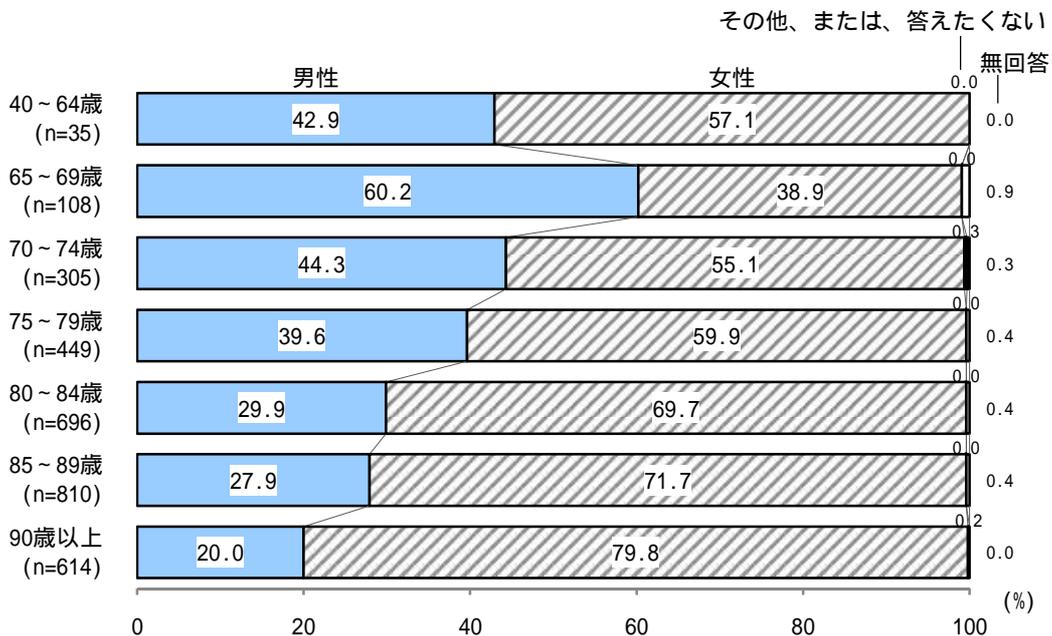
前回調査と比較すると、「85～89歳」の割合が2.2ポイント高くなっている。(図2(2))

【図2(2) 本人の年齢(経年比較)】



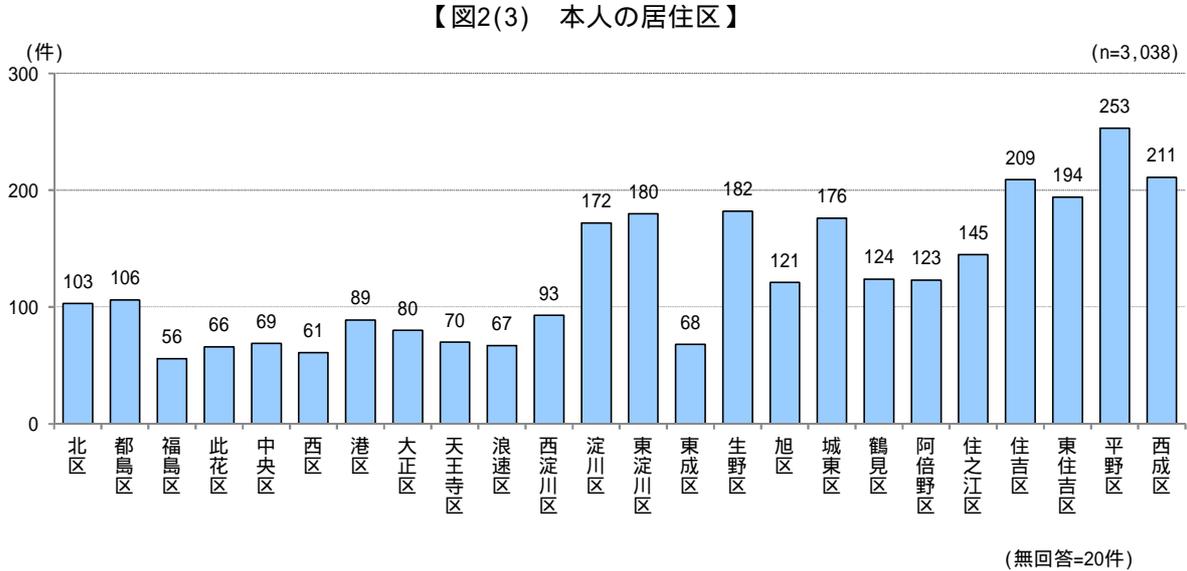
本人の性別を本人の年齢別でみると、65～69歳の回答者は「男性」(60.2%)のほうが多く、それ以外の各年代の回答者は「女性」のほうが多くなっている。(図2(2)-a)

【図2(2)-a 本人の性別(本人の年齢別)】



問2(3) 本人の居住区

本人の居住区では、「平野区」が253件で最も多く、次いで「西成区」が211件、「住吉区」が209件となっている。(図2(3))



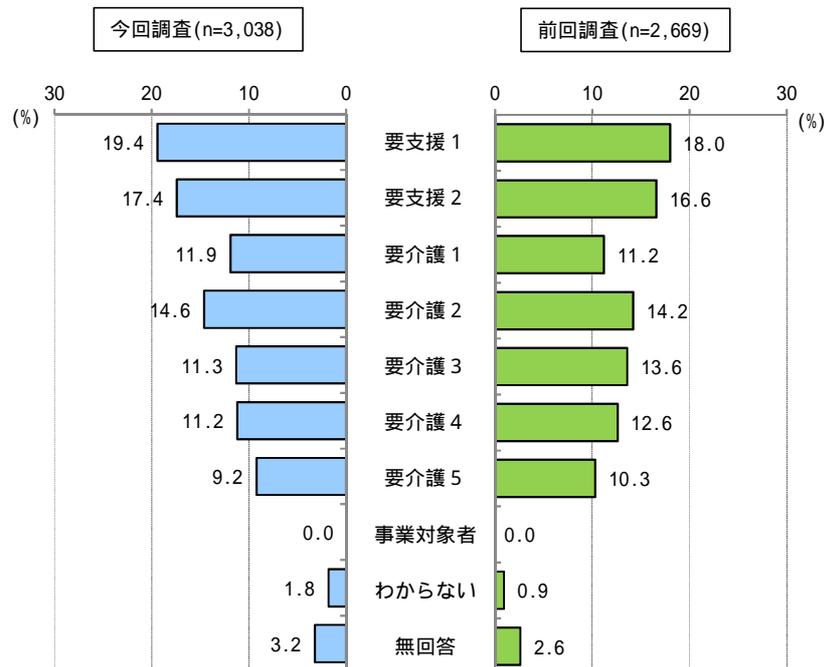
問3 要介護度

あなたの要介護度についておうかがいします。(はひとつ)

要介護度では、「要支援1」が19.4%で最も多く、次いで「要支援2」が17.4%、「要介護2」が14.6%となっている。

前回調査と比較すると、「要支援1」から「要介護2」では前回調査結果を上回り、「要介護3」から「要介護5」では下回っている。(図3)

【図3 要介護度(経年比較)】

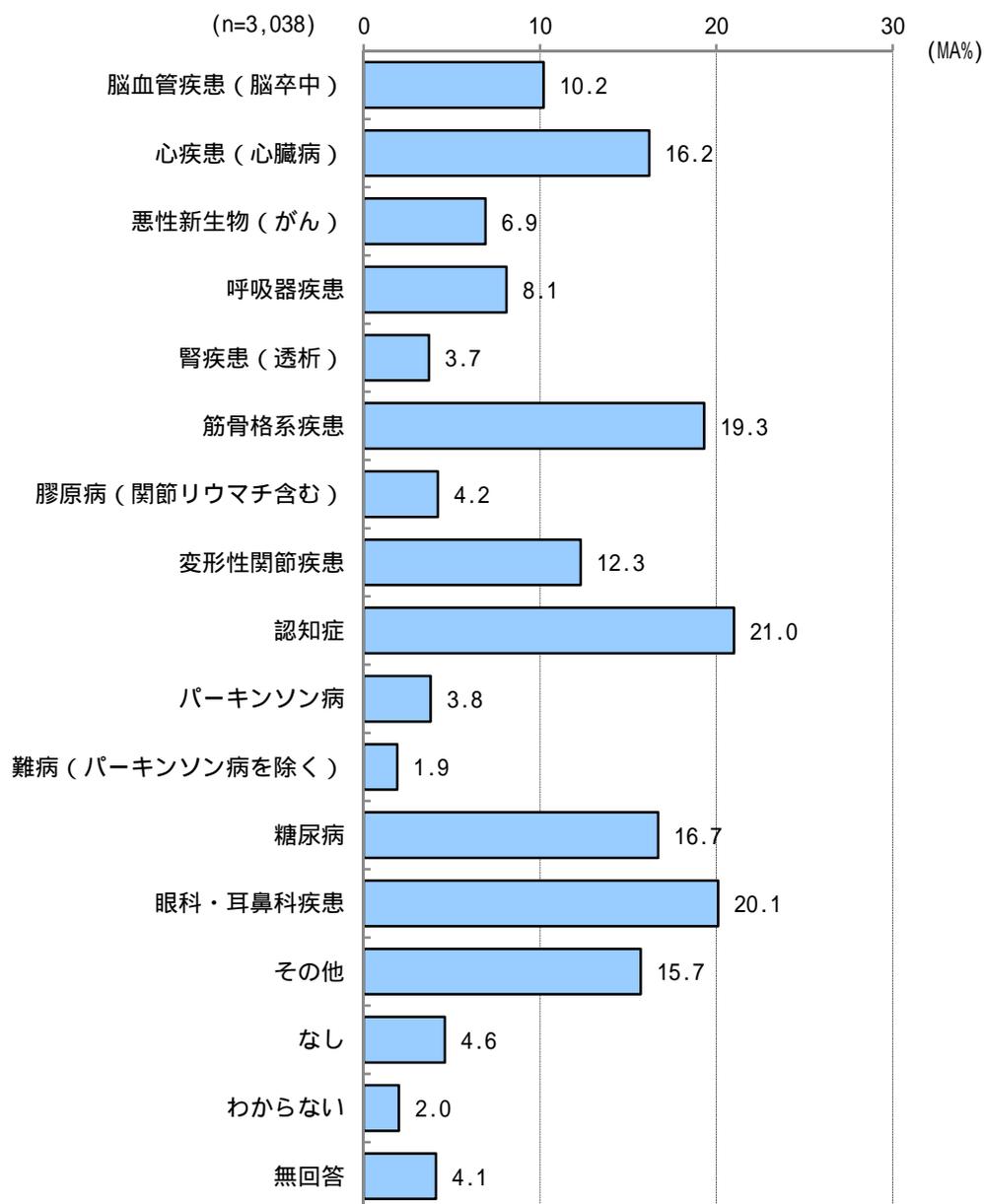


問4 傷病状況

あなたが現在抱えている傷病等(完治したものは除き、経過観察中のものを含む。)について、ご回答ください。(はいくつでも)

現在抱えている傷病等については、「認知症」が21.0%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患」が20.1%、「筋骨格系疾患」が19.3%となっている。(図4)

【図4 傷病状況】



(2) 世帯の状況、介護の状況

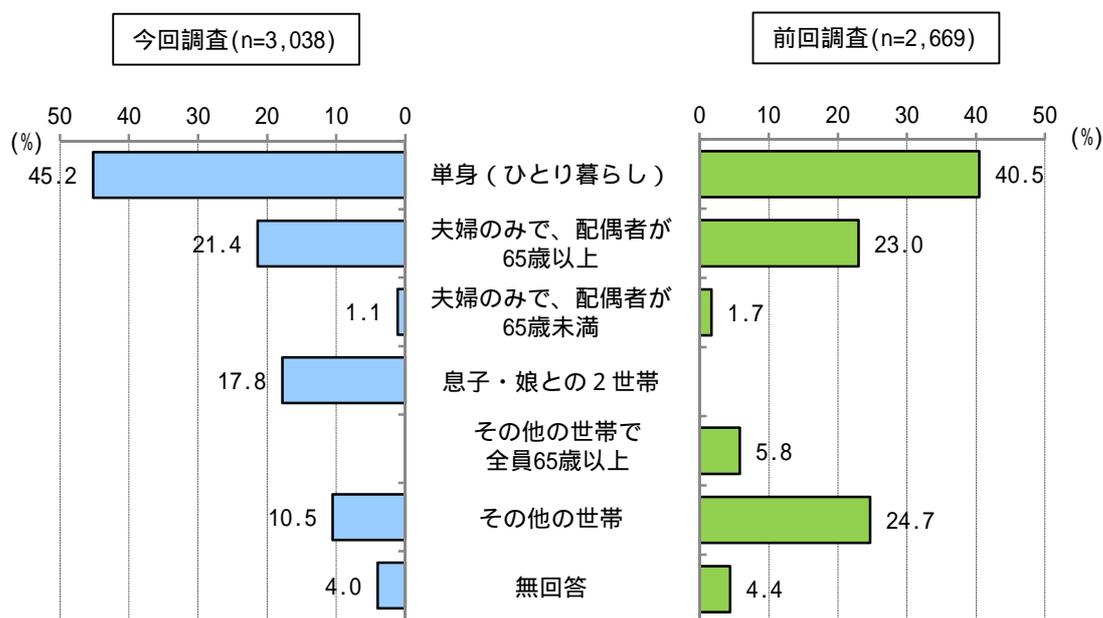
問5 世帯状況

あなたと同居されている家族の状況についておうかがいします。(はひとつ)

世帯状況については、「単身(ひとり暮らし)」が45.2%で最も多く、次いで「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が21.4%、「息子・娘との2世帯」が17.8%となっている。

前回調査と比較すると、「単身(ひとり暮らし)」の割合が4.7ポイント高くなっている。(図5)

【図5 世帯状況(経年比較)】

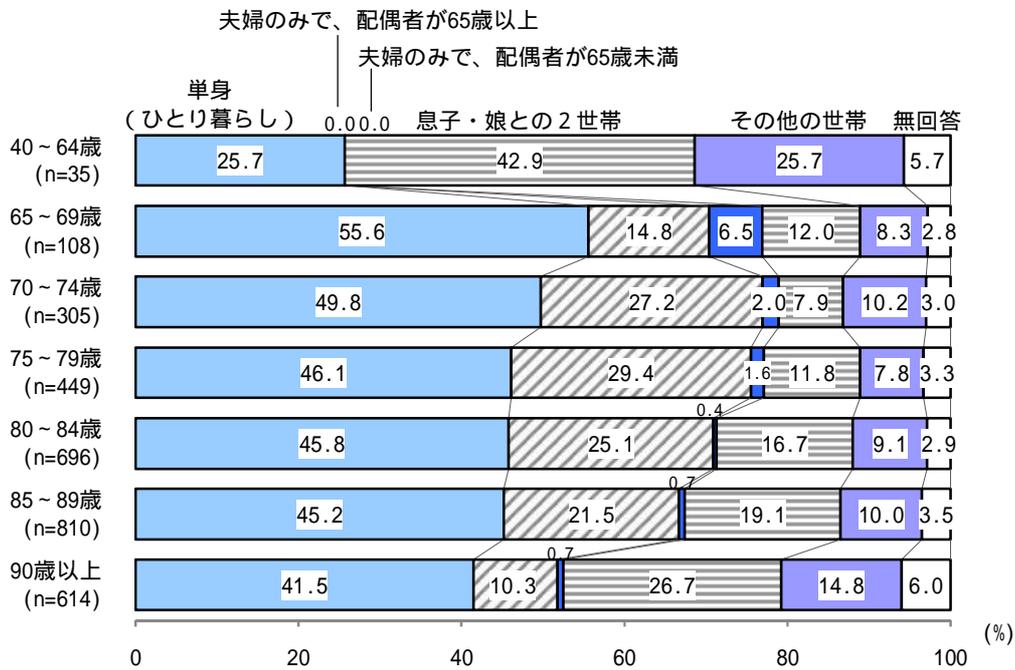


「息子・娘との2世帯」は、今回調査の新規項目である。
 前回調査の「その他の世帯で全員65歳以上」は、今回調査では設けていない。

【介護保険サービス利用者調査】

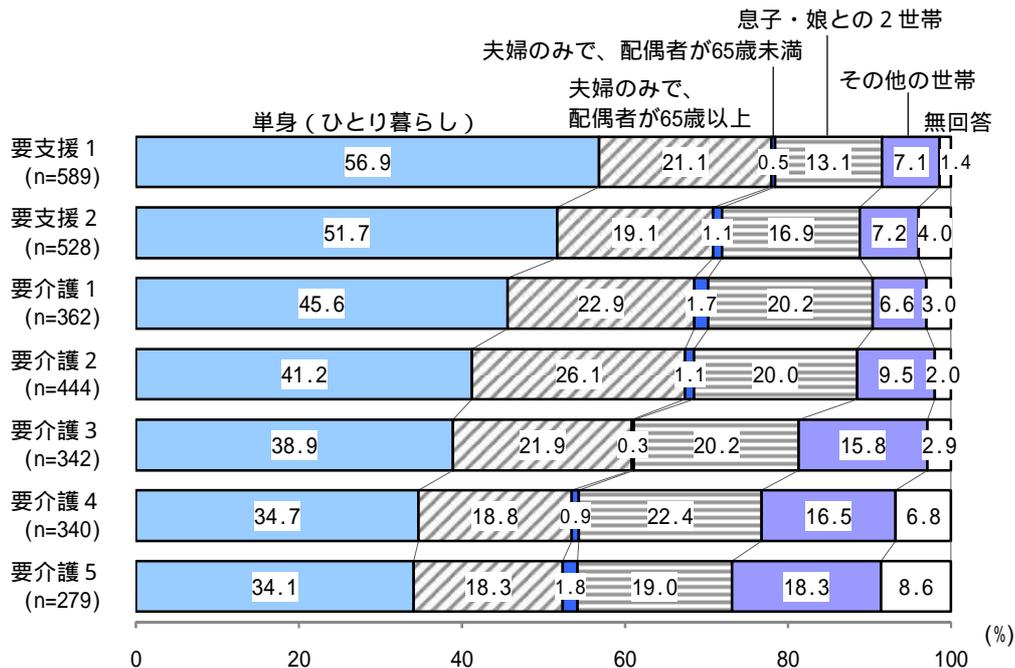
本人の年齢別で見ると、65歳以上の年代では「単身(ひとり暮らし)」が最も多くなっている。70～89歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が多くなっている。(図5-a)

【図5-a 世帯状況(本人の年齢別)】



要介護度別で見ると、要支援1・2は「単身(ひとり暮らし)」が5割台を占めている。要介護1以上も「単身(ひとり暮らし)」が最も多いが、同居者のいる世帯が5割以上を占めている。また、「息子・娘との2世帯」は要介護1～4で2割台となっている。(図5-b)

【図5-b 世帯状況(要介護度別)】



問6 介護者の有無

あなたの介護をする方はいますか。(はひとつ)

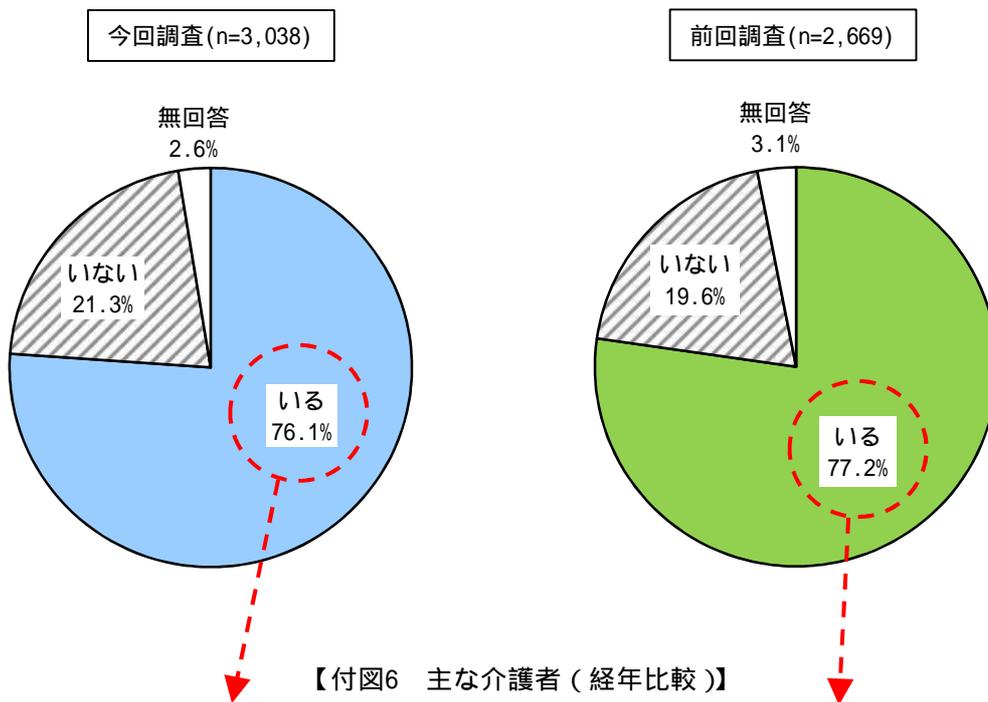
介護者が「いる」は76.1%、「いない」は21.3%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図6)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が36.2%、「主に家族など」が56.7%となっている。

前回調査と比較すると、「主に事業者」の割合が2.2ポイント高くなっている。(付図6)

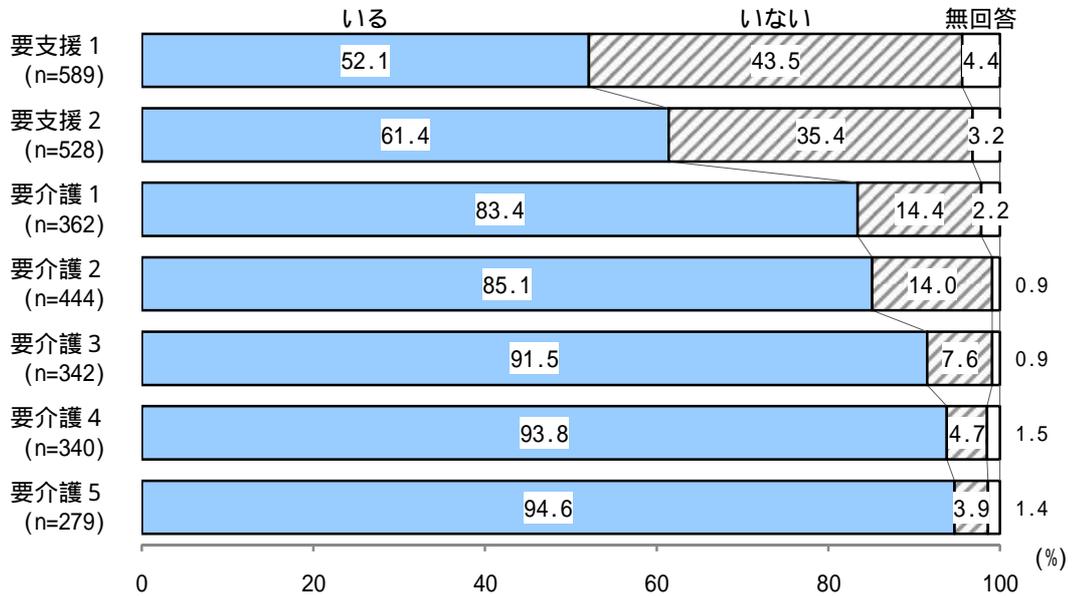
【図6 介護者の有無(経年比較)】



【介護保険サービス利用者調査】

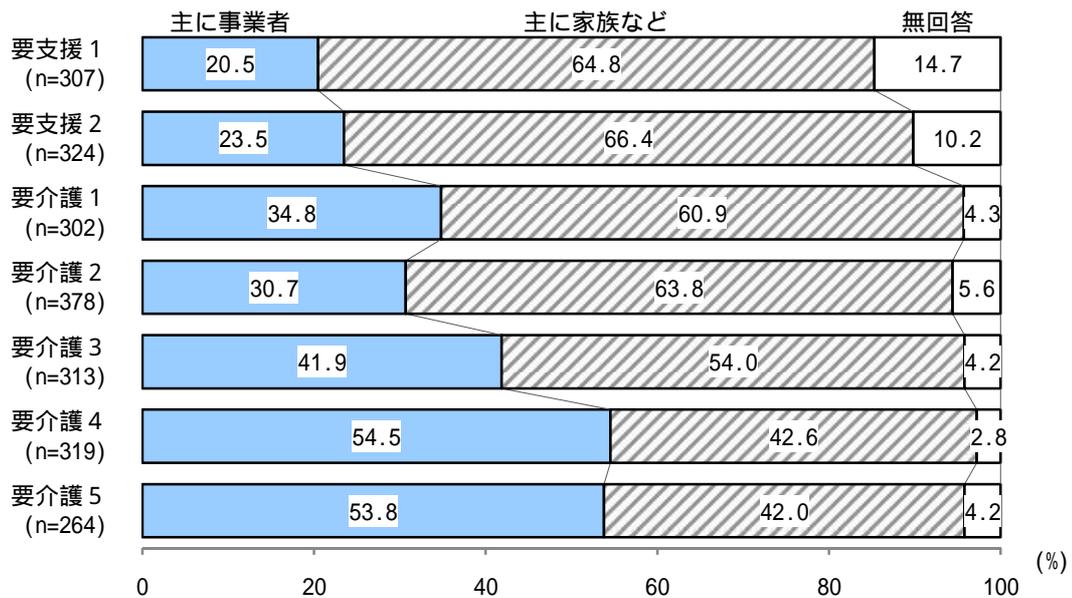
介護者の有無を要介護度別でみると、「いる」の割合は重度になるほど高くなっている。(図6-a)

【図6-a 介護者の有無(要介護度別)】



主な介護者を要介護度別でみると、要支援4と5は「主に事業者」が過半数を占めている。「主に家族など」は要支援1・2、要介護1・2で6割台と高い。(付図6-a)

【付図6-a 主な介護者(要介護度別)】

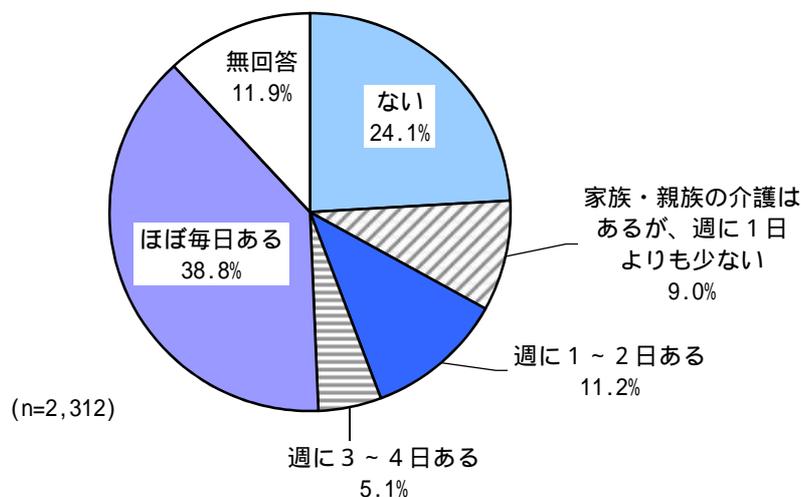


問6-1 家族や親族からの介護日数

問6で「1 いる」と回答された方におうかがいします。
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子供や親族等からの介護を含む)(はひとつ)

介護者がいると回答した人に、家族や親族からの介護の日数をたずねると、「ほぼ毎日ある」が38.8%で最も多く、次いで「ない」が24.1%、「週に1～2日ある」が11.2%となっている。(図6-1)

【図6-1 家族や親族からの介護日数】



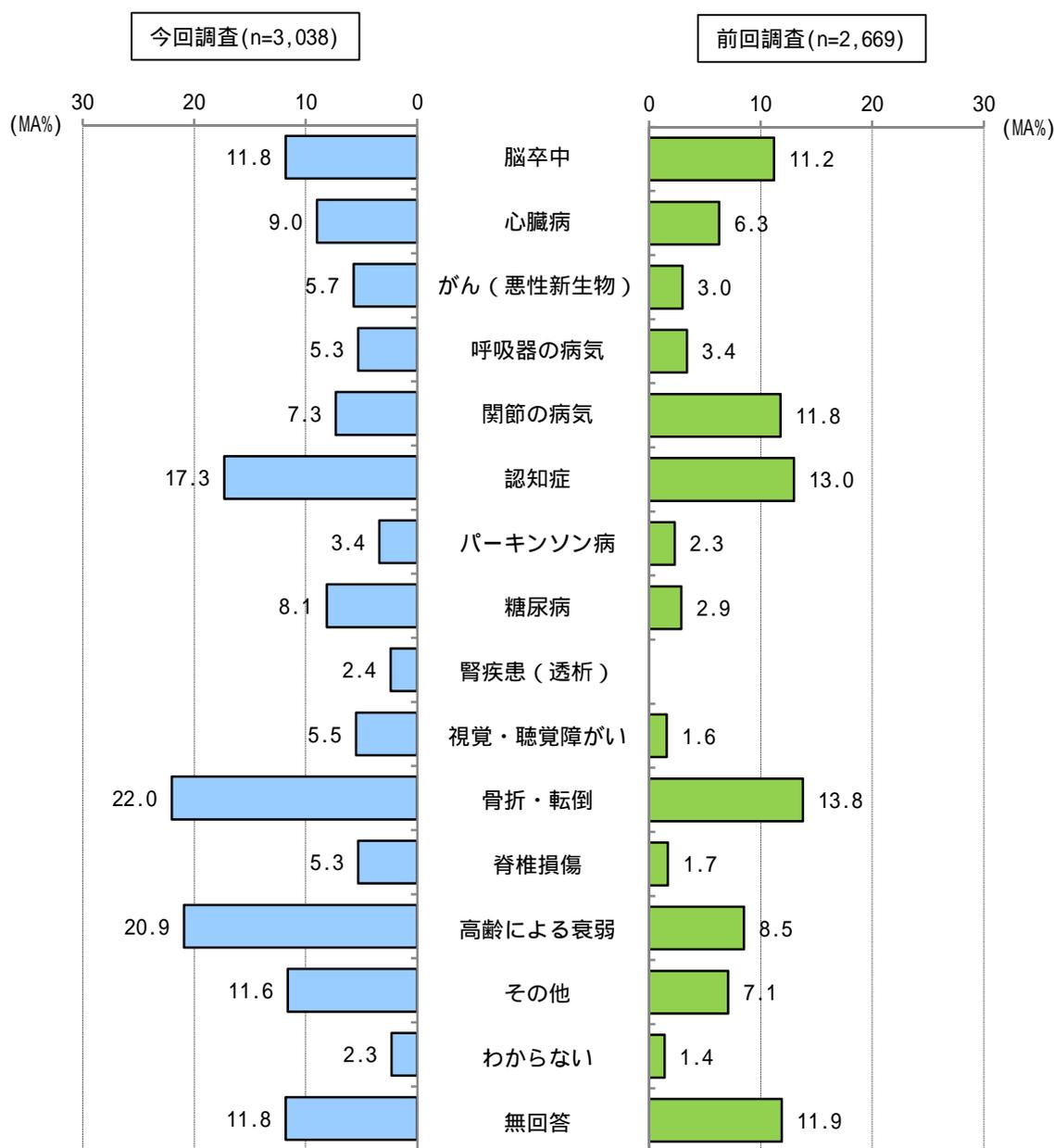
問7 介護・介助が必要になった原因

あなたが介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(はいいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因については、「骨折・転倒」が22.0%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が20.9%、「認知症」が17.3%となっている。

前回調査と比較すると、「骨折・転倒」の割合が8.2ポイント、「高齢による衰弱」が12.4ポイント高くなっている。(図7)

【図7 介護・介助が必要になった原因（経年比較）】

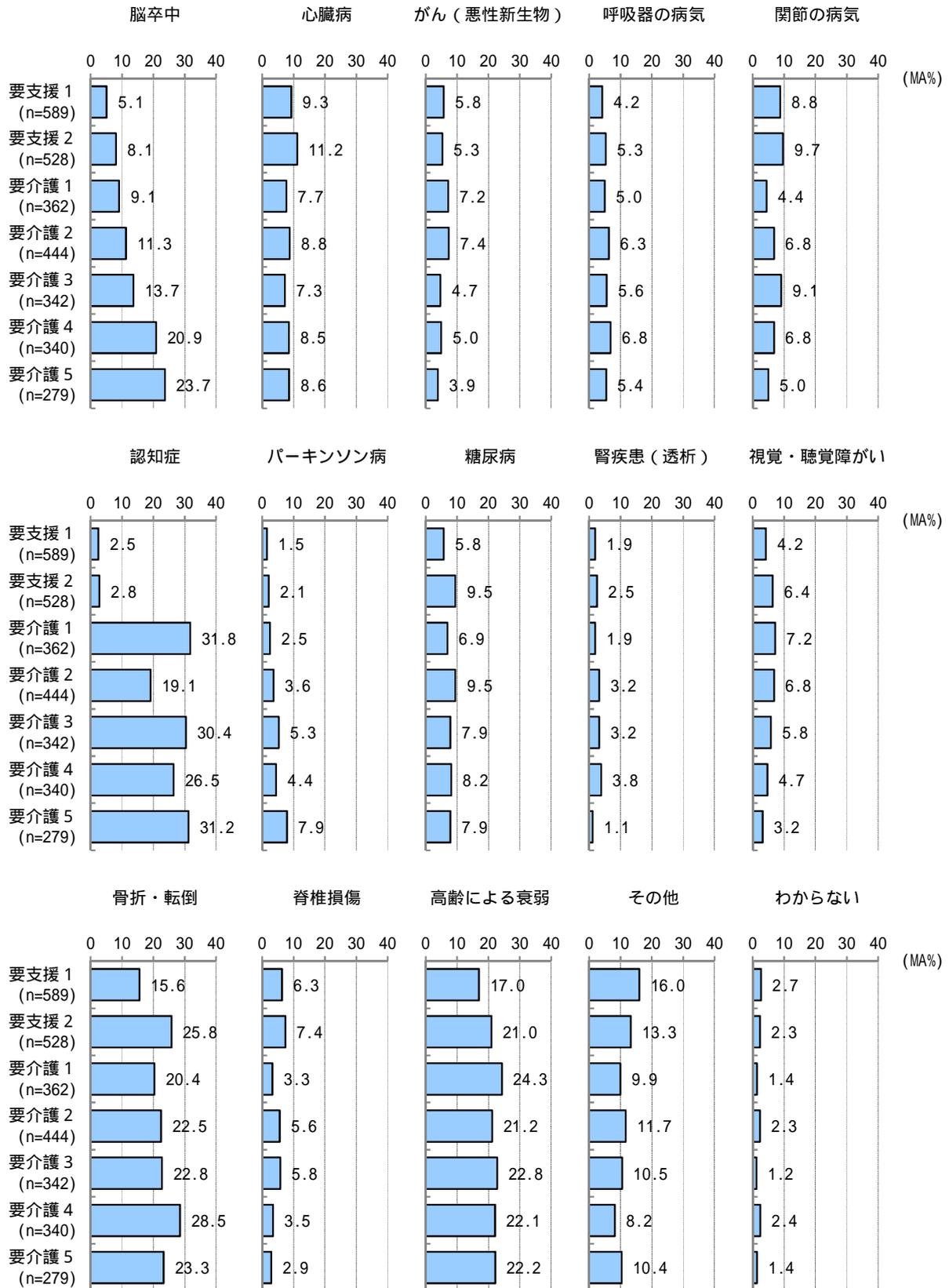


前回調査では「介護認定を受けた主な原因や病気」を問う質問であった。
「腎疾患(透析)」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、要支援1は「高齢による衰弱」、要介護1・3・5は「認知症」、要支援2・要介護2・4では「骨折・転倒」が最も多くなっている。(図7-a)

【図7-a 介護・介助が必要になった原因（要介護度別）】



(3) 要介護認定

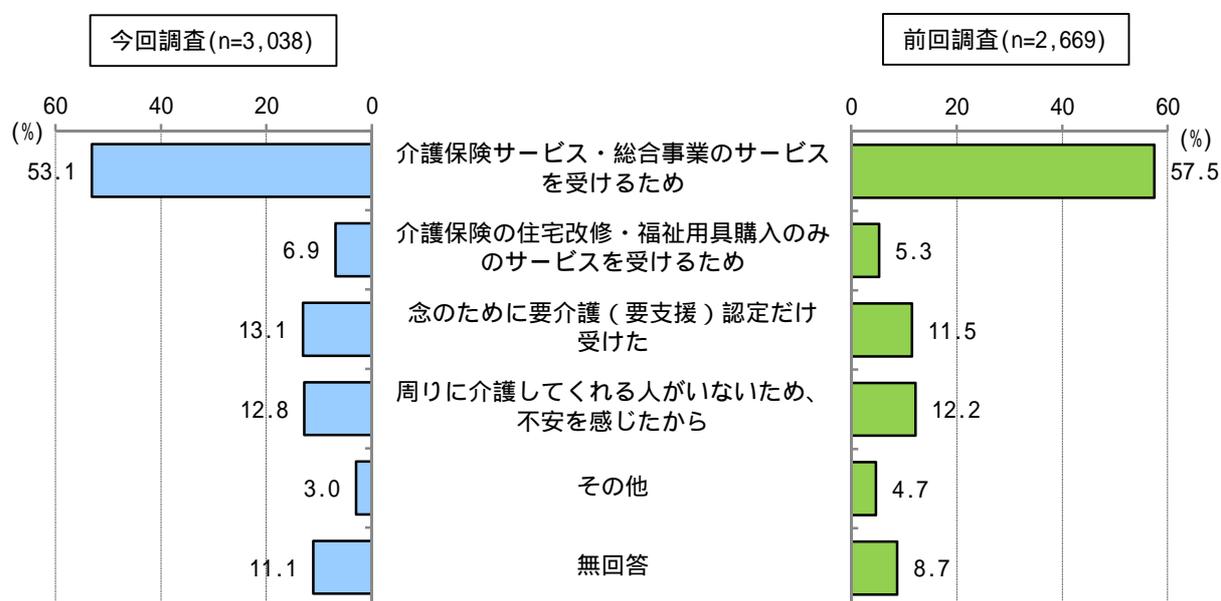
問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(はひとつ)

初めて要介護認定を受けた時の目的については、「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため」が53.1%で最も多く、次いで「念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」が13.1%、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」が12.8%となっている。

前回調査と比較すると、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」よりも「念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」の割合が高くなっている。(図8)

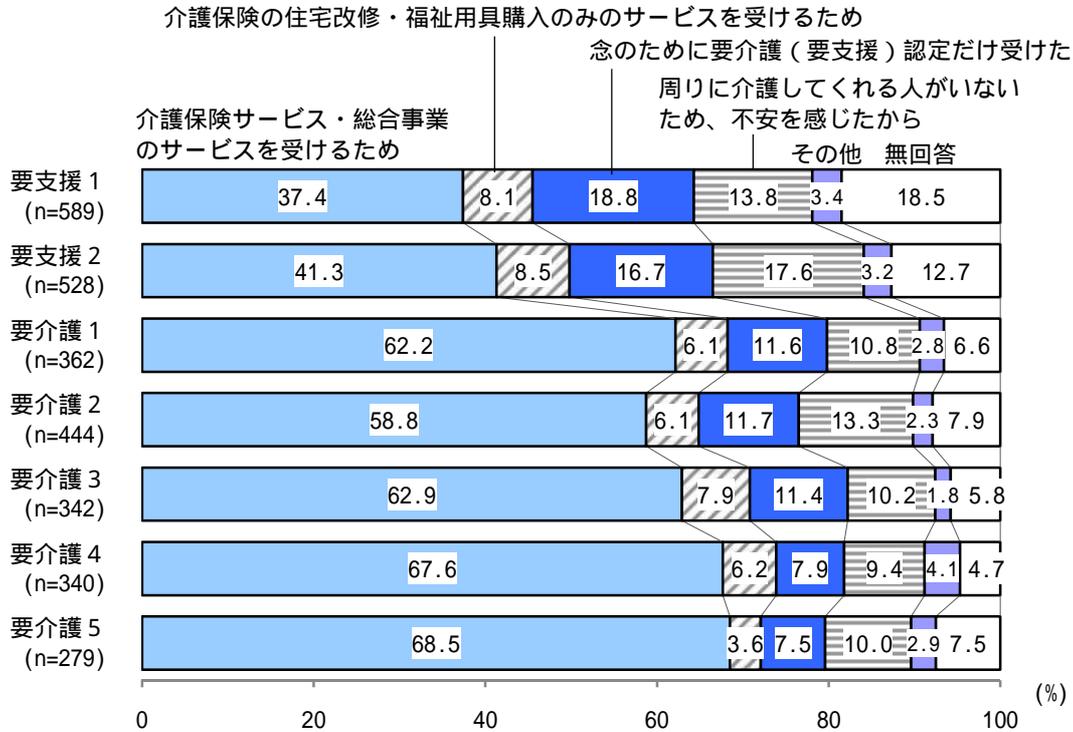
【図8 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「介護保険サービス・総合事業サービスを受けるため」が最も多くなっており、要介護1～5では過半数を占め、概ね、重度になるほど割合が高くなっている。(図8-a)

【図8-a 初めて要介護認定を受けた時の目的(要介護度別)】



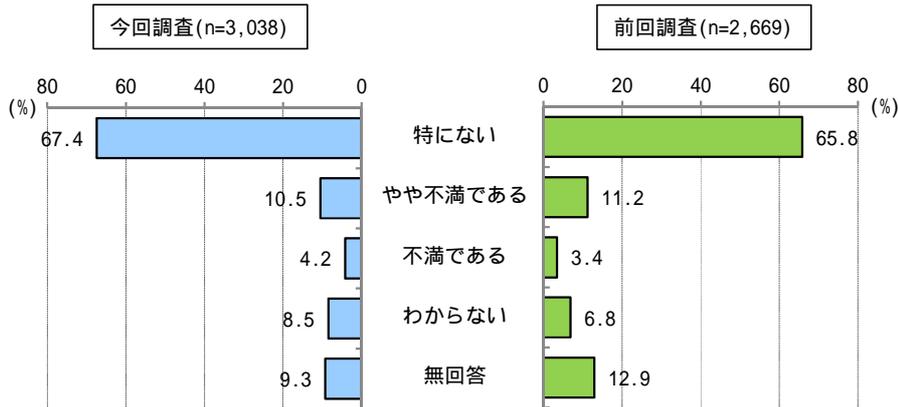
問9 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点がありましたか。(はひとつ)

直近の要介護認定で不満があったかについては、「特にない」が67.4%で最も多く、次いで「やや不満である」が10.5%となっている。

前回調査と比較すると、「特にない」の割合が1.6ポイント高くなっている。(図9)

【図9 直近の要介護認定で不満の有無(経年比較)】



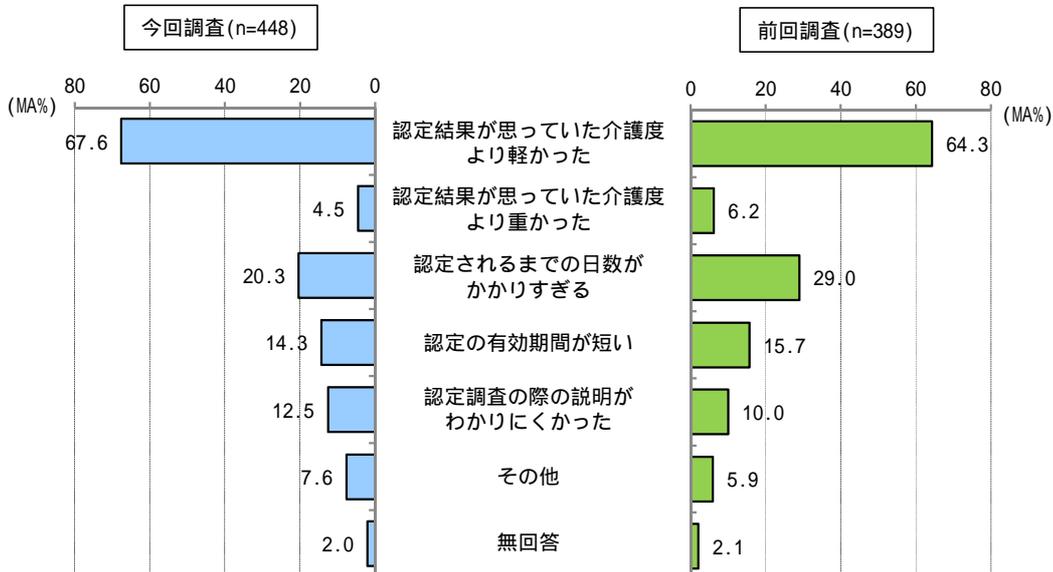
問9-1 要介護認定に不満がある理由

問9で「2 やや不満である」「3 不満である」と回答された方におうかがいします。その理由についてお答えください。(はいくつでも)

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」が67.6%で最も多く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が20.3%、「認定の有効期間が短い」が14.3%となっている。

前回調査と比較すると、「認定されるまでの日数がかかりすぎる」の割合が8.7ポイント低くなっている。(図9-1)

【図9-1 要介護認定に不満がある理由(経年比較)】



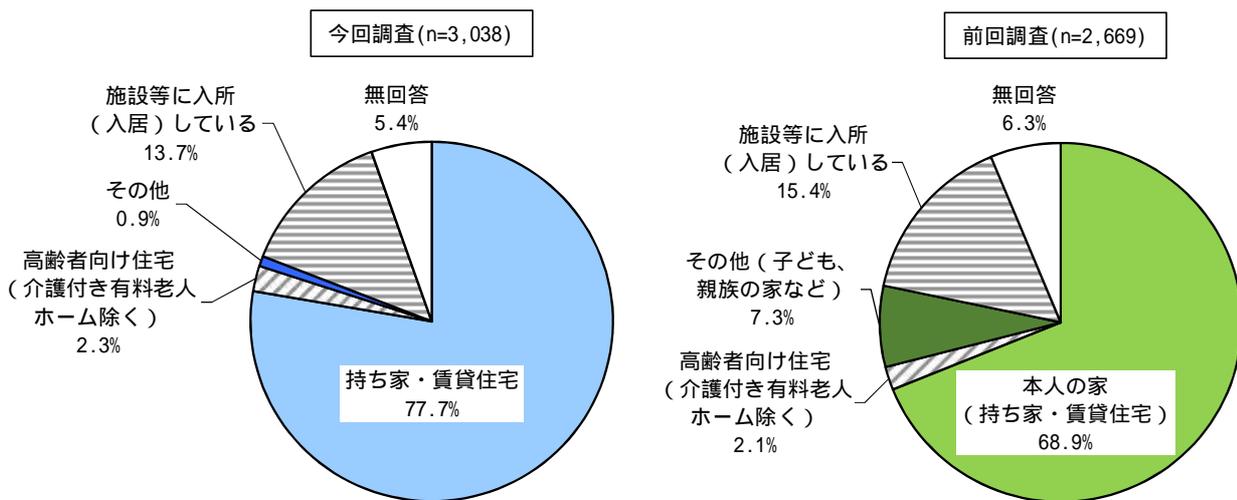
(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

問10 現在の住まい

あなたの現在のお住まいについて、お答えください。(はひとつ)

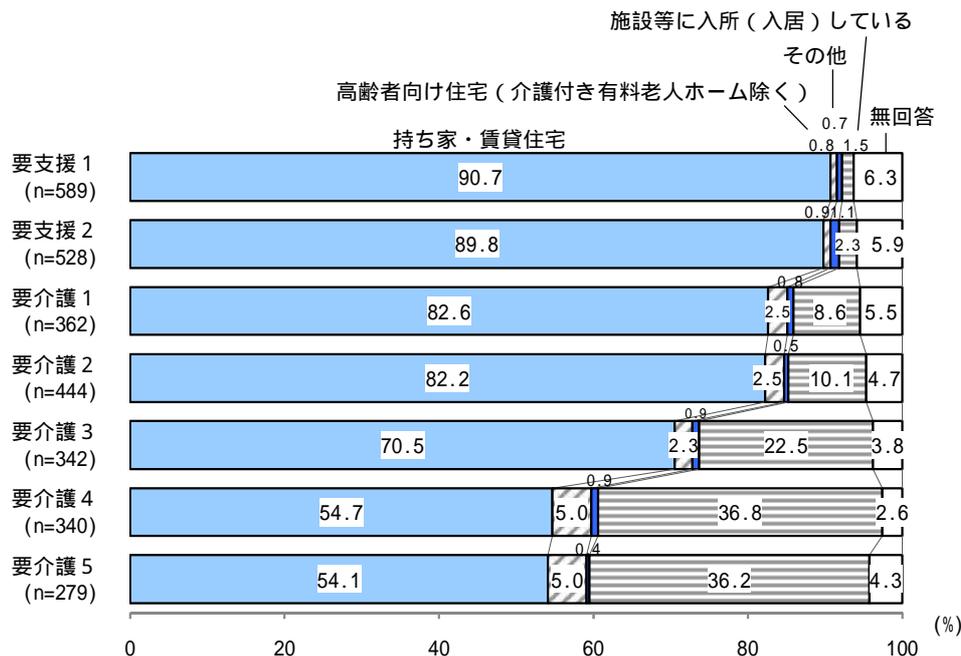
現在の住まいについては、「持ち家・賃貸住宅」が77.7%で最も多く、次いで「施設等に入所(入居)している」が13.7%、「高齢者向け住宅(介護付き有料老人ホーム除く)」が2.3%となっている。(図10)

【図10 現在の住まい(経年比較)】



要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「持ち家・賃貸住宅」が最も多く、要支援1・2は9割前後、要介護1・2は8割台となっている。要介護4・5では「施設等に入所(入居)している」が36%台と高くなっている。(図10-a)

【図10-a 現在の住まい(要介護度別)】



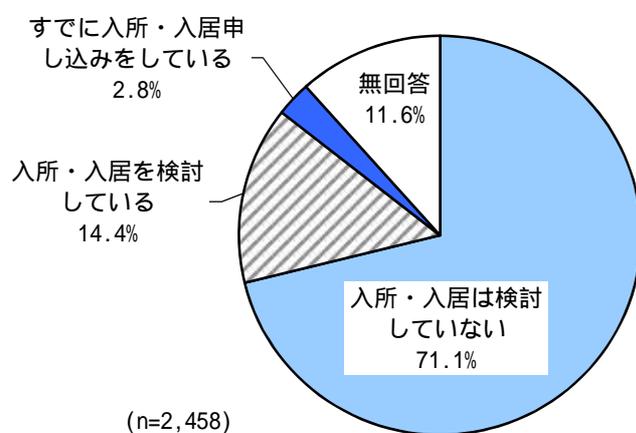
問10-1 施設等の入所（入居）の検討状況

問10で「1 持ち家・賃貸住宅」「2 高齢者向け住宅」「3 その他」と回答された方におうかがいします。

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（はひとつ）

現在の住まいが施設以外と回答した人の施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が71.1%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が14.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.8%となっている。（図10-1）

【図10-1 施設等の入所（入居）の検討状況】



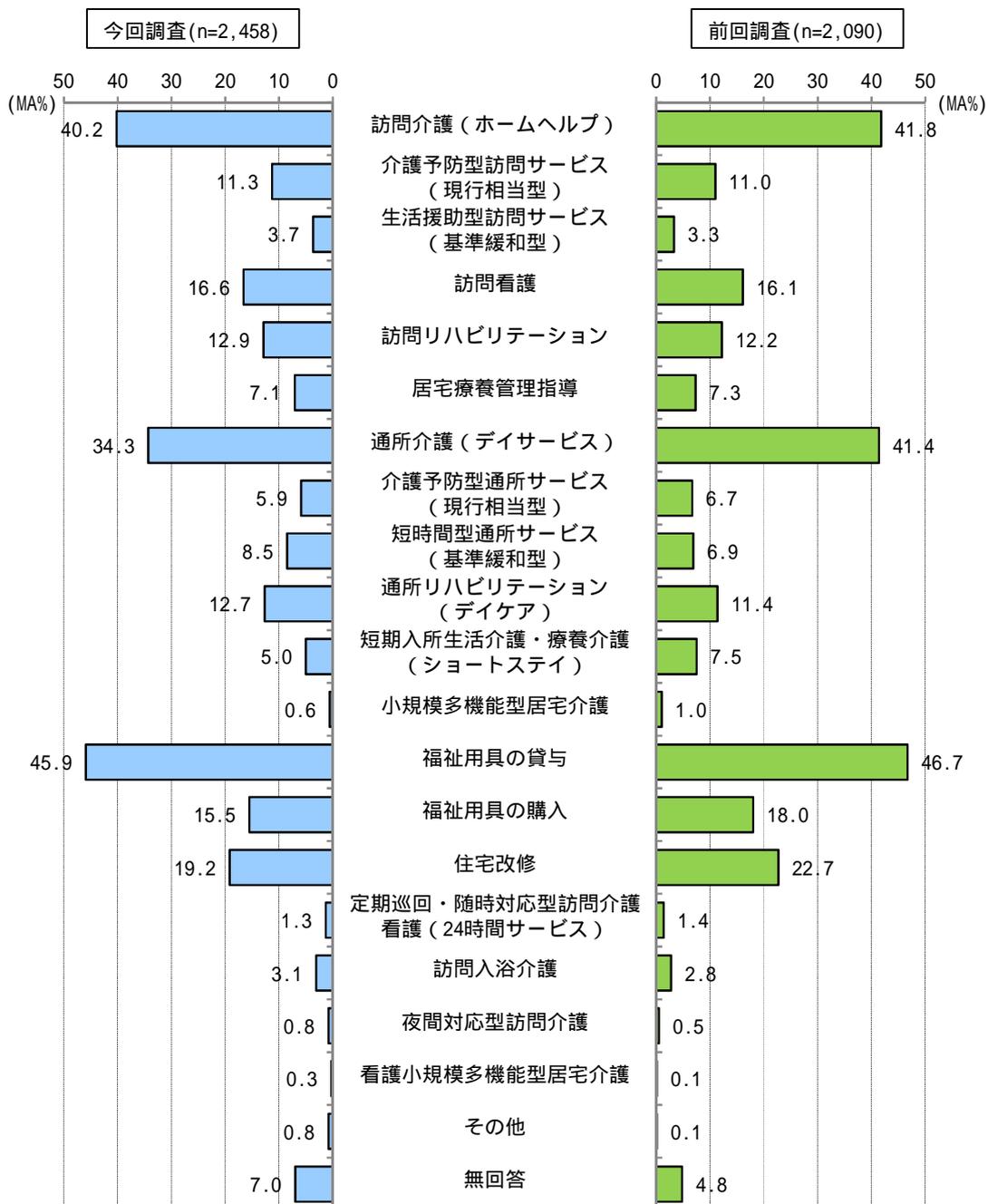
問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスについてあてはまる番号すべてに をつけてください。(はいくつでも)

現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスについては、「福祉用具の貸与」が45.9%で最も多く、次いで「訪問介護(ホームヘルプ)」が40.2%、「通所介護(デイサービス)」が34.3%となっている。

前回調査と比較すると、「通所介護(デイサービス)」の割合が7.1ポイント低くなっている。(図10-2)

【図10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス(経年比較)】

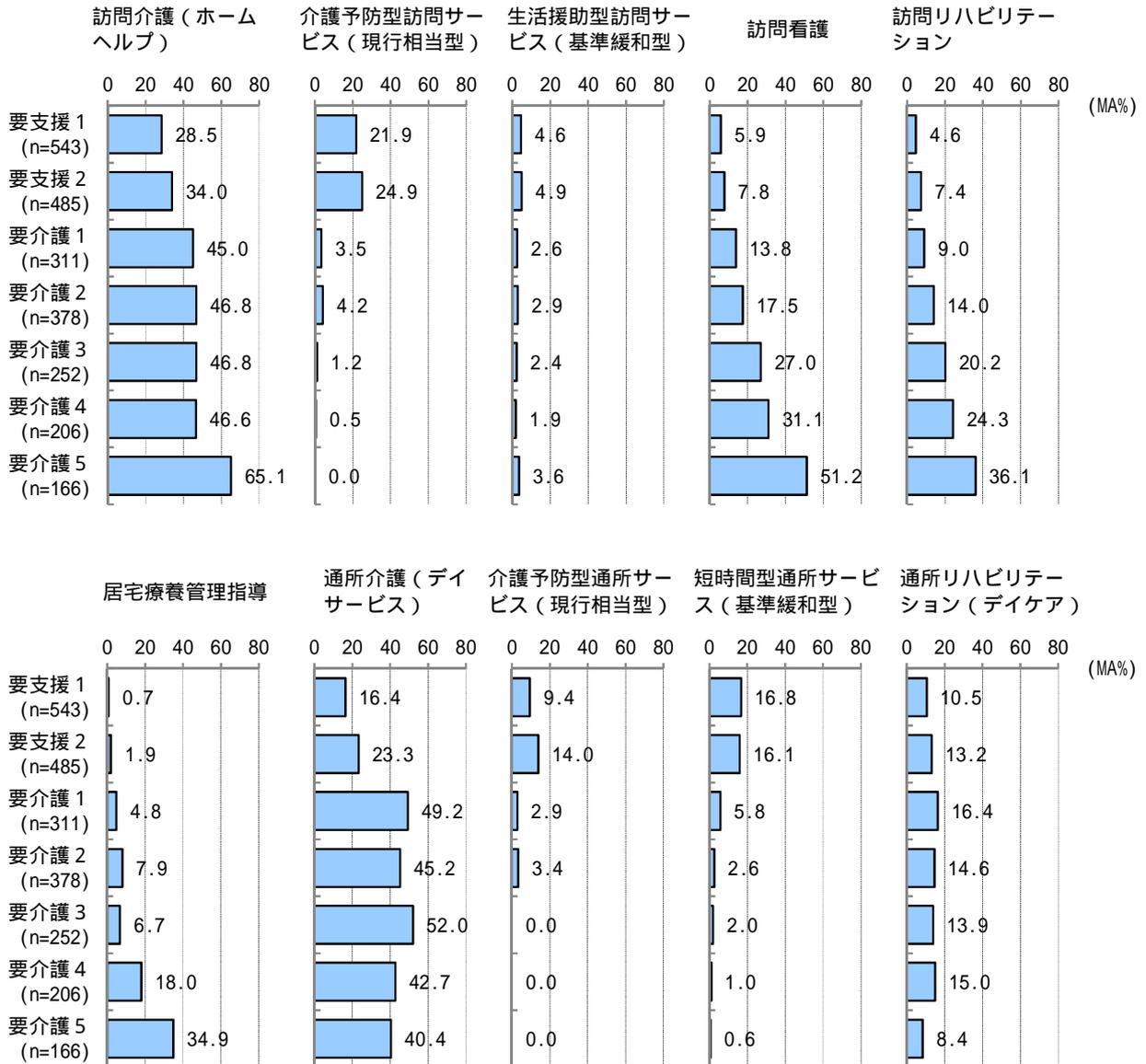


【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、要支援1は「訪問介護（ホームヘルプ）」が28.5%、要介護1は「通所介護（デイサービス）」が49.2%で、それぞれ最も多くなっている。それ以外の要介護度では「福祉用具の貸与」が最も多くなっている。

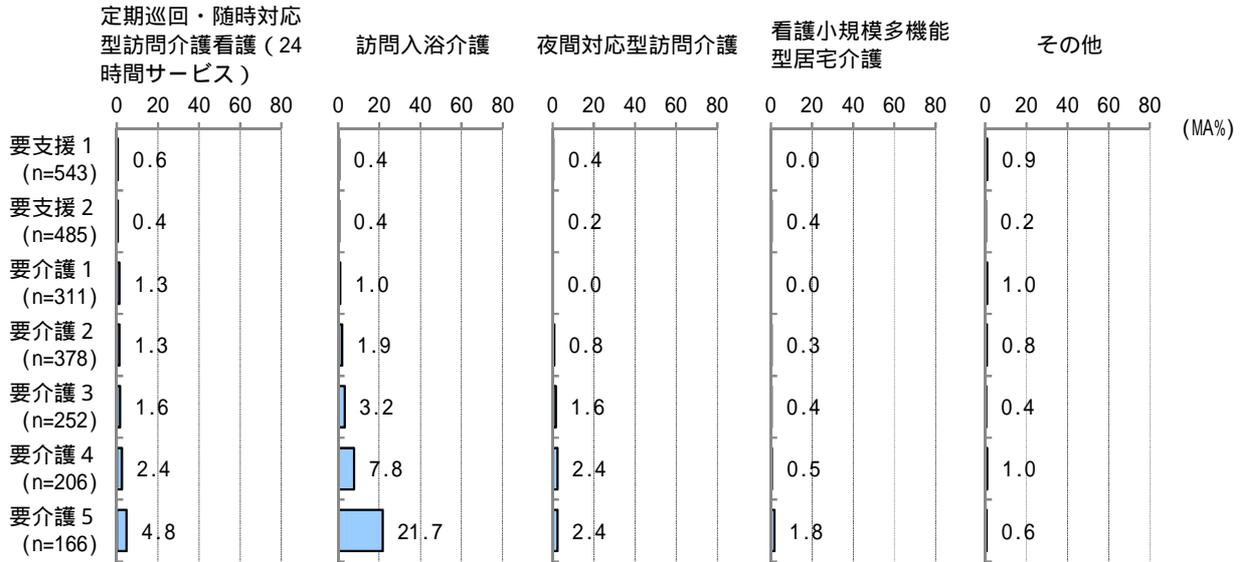
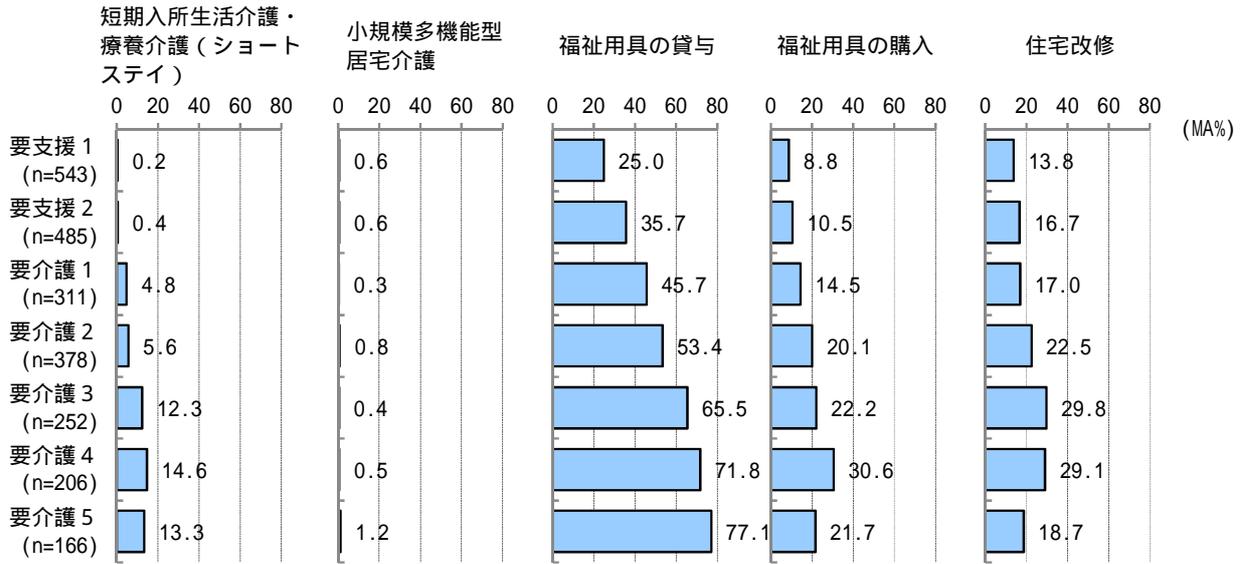
また、重度になるほど「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「居宅療養管理指導」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「福祉用具の貸与」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）」「訪問入浴介護」の割合は高くなっている。（図10-2-a）

【図10-2-a 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス】



【介護保険サービス利用者調査】

【図10-2-a 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス】

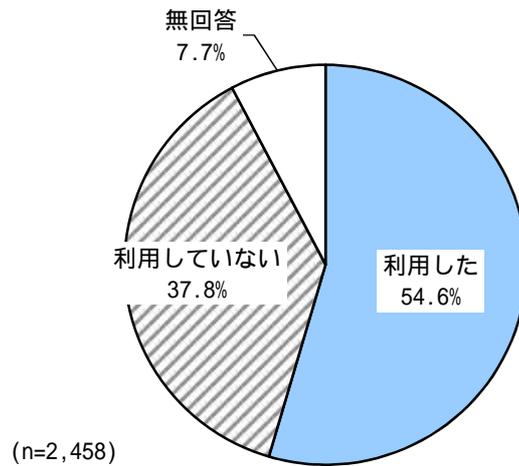


問10-3 令和4年8月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

令和4年8月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービス及び介護予防サービスを利用しましたか。(はひとつ)

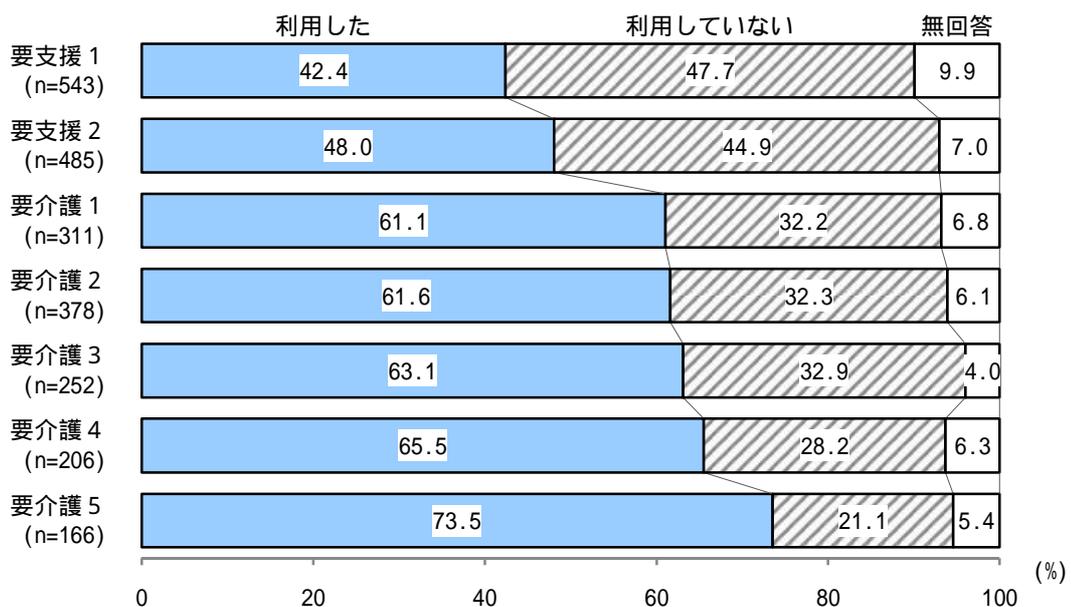
令和4年8月の1か月の間に介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況については、「利用した」が54.6%で、「利用していない」が37.8%となっている。(図10-3)

【図10-3 令和4年8月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況】



要介護度別で見ると、要支援2以上では「利用していない」より「利用した」の割合が多くなっており、介護度が高くなるほど割合が高くなっている。(図10-3-a)

【図10-3-a 令和4年8月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況(要介護度別)】



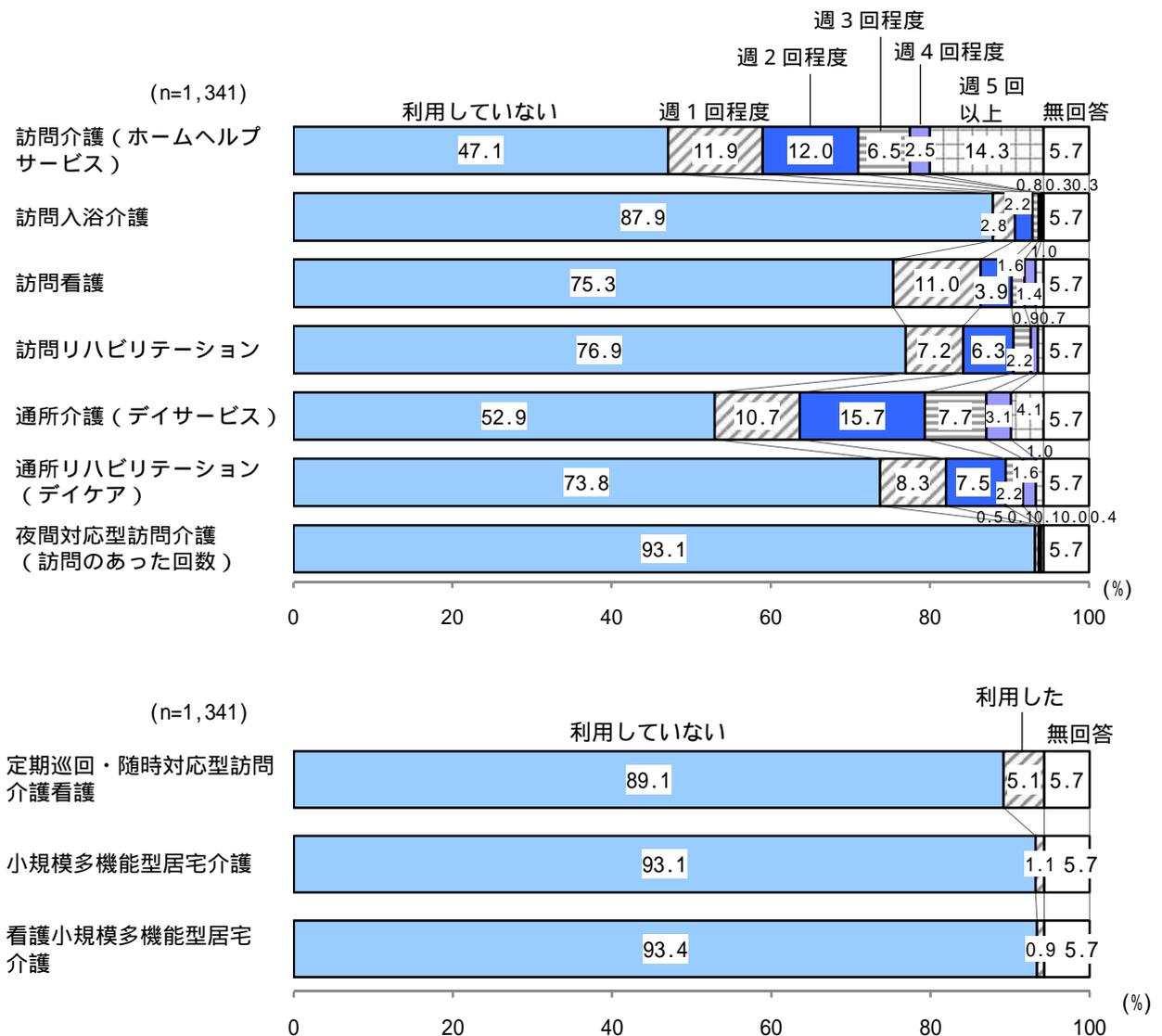
問10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

問10-3で「1 利用した」と回答された方におうかがいします。
 以下の介護保険サービス及び介護予防サービスについて、令和4年8月の1か月間の利用状況をご回答ください。
 対象の介護保険サービス及び介護予防サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回)」および「1 利用していない」を選択してください。(それぞれ はひとつ)

令和4年8月の1か月の間に介護保険サービス及び介護予防サービスを利用したと回答した人に、そのサービスの利用状況についてたずねた。

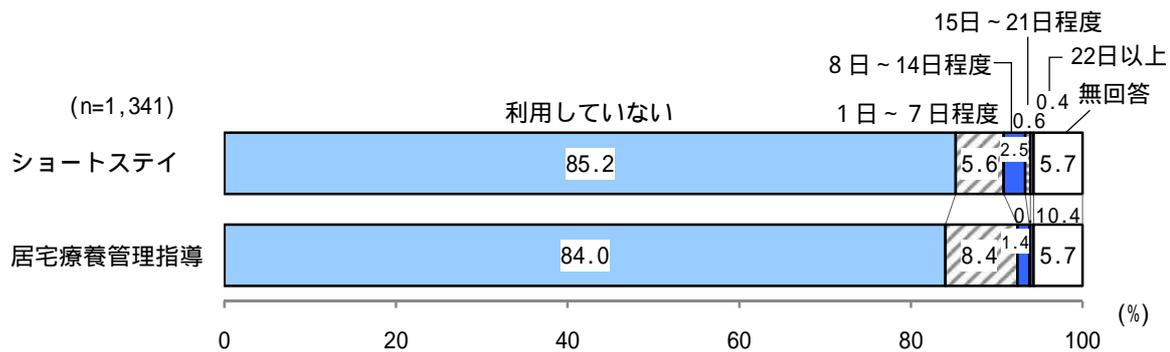
週1回以上利用しているサービスでは“ 訪問介護(ホームヘルプサービス)”が47.2%で最も多く、次いで“ 通所介護(デイサービス)”が41.3%となっている。(図10-4)

【図10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況】



【介護保険サービス利用者調査】

【図10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況】



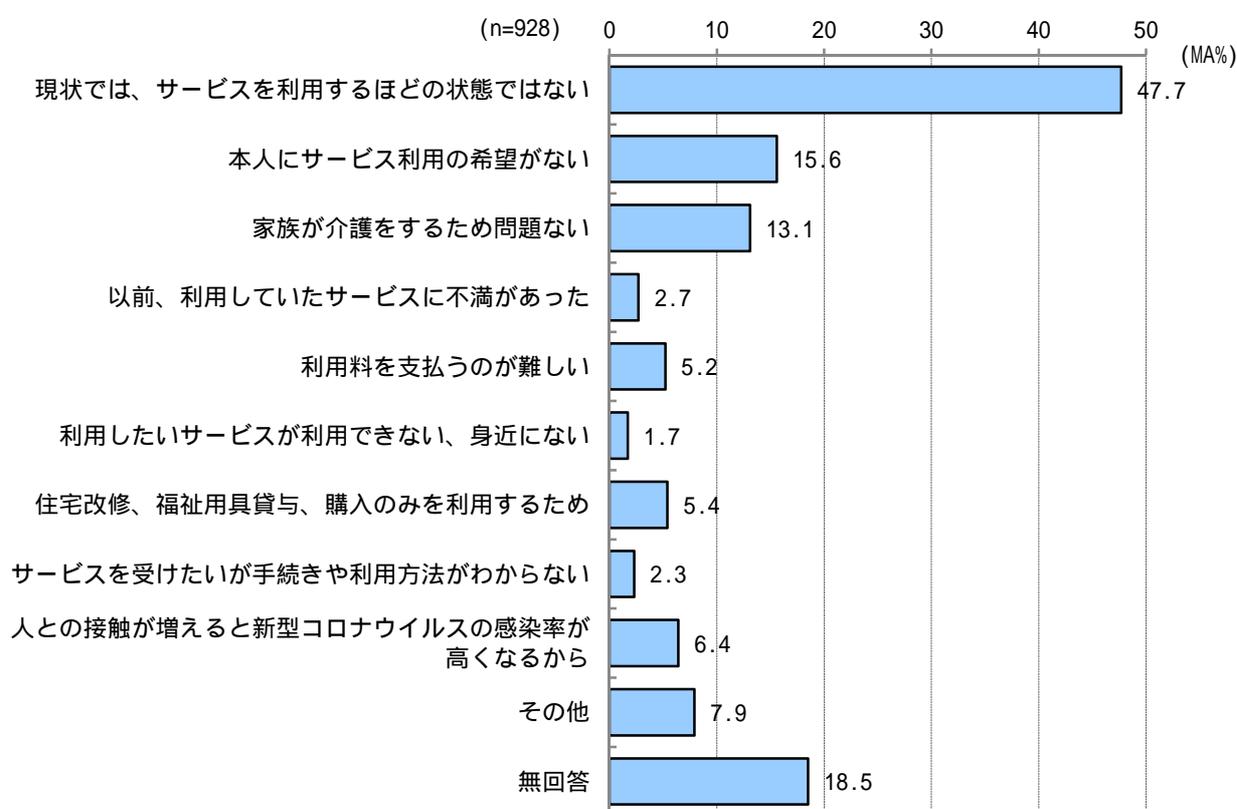
問10-5 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由

問10-3で「2 利用していない」と回答された方におうかがいします。

あなたが（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由は何ですか。（はいいくつでも）

介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していないと回答した人に、その理由をたずねると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.7%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が15.6%、「家族が介護をするため問題ない」が13.1%となっている。（図10-5）

【図10-5 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由】

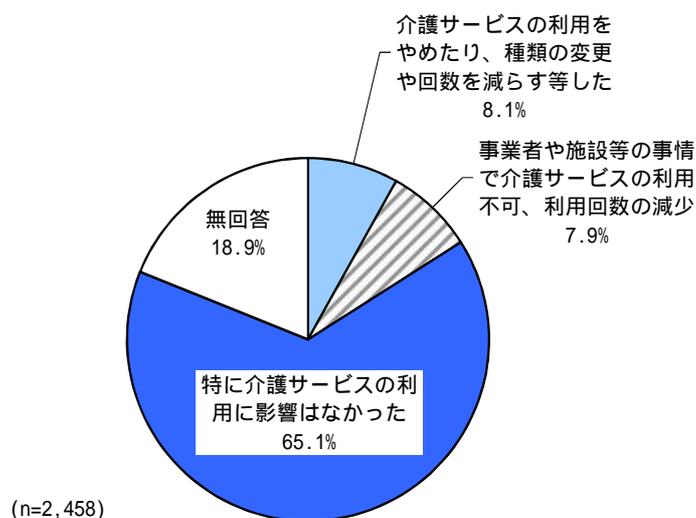


問11 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で介護サービスの利用に変化はありましたか。(はひとつ)

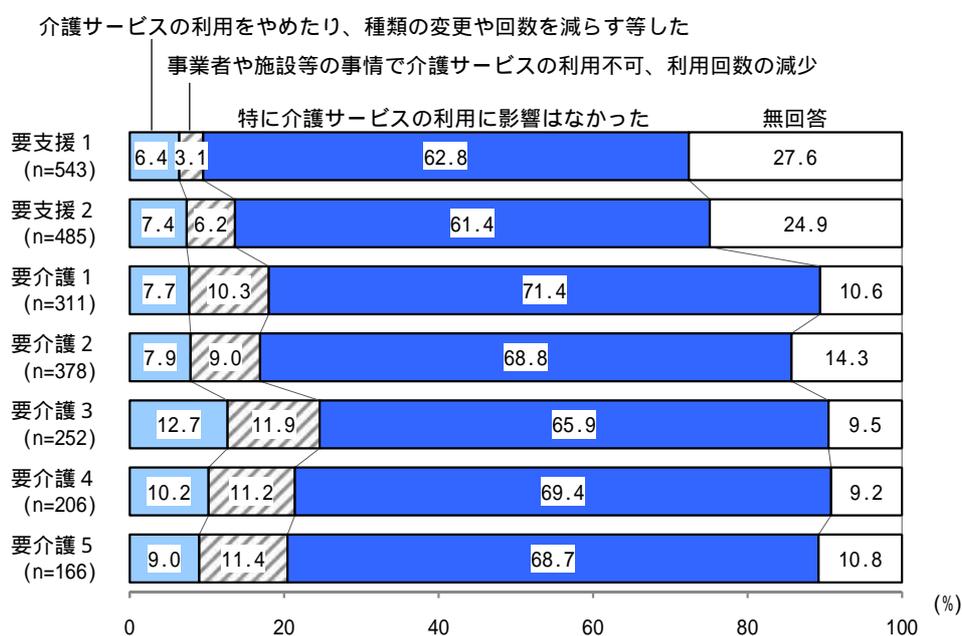
新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化については、「特に介護サービスの利用に影響はなかった」が65.1%で最も多く、次いで「介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らす等した」が8.1%、「事業者や施設等の事情で介護サービスの利用不可、利用回数の減少」が7.9%となっている。(図11)

【図11 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化】



要介護度別でみると、「介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らす等した」、「事業者や施設等の事情で介護サービスの利用不可、利用回数の減少」の割合はいずれも要介護3が最も高くなっている。(図11-a)

【図11-a 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化(要介護度別)】



問11-1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用をやめた、もしくは回数を減らした介護サービス

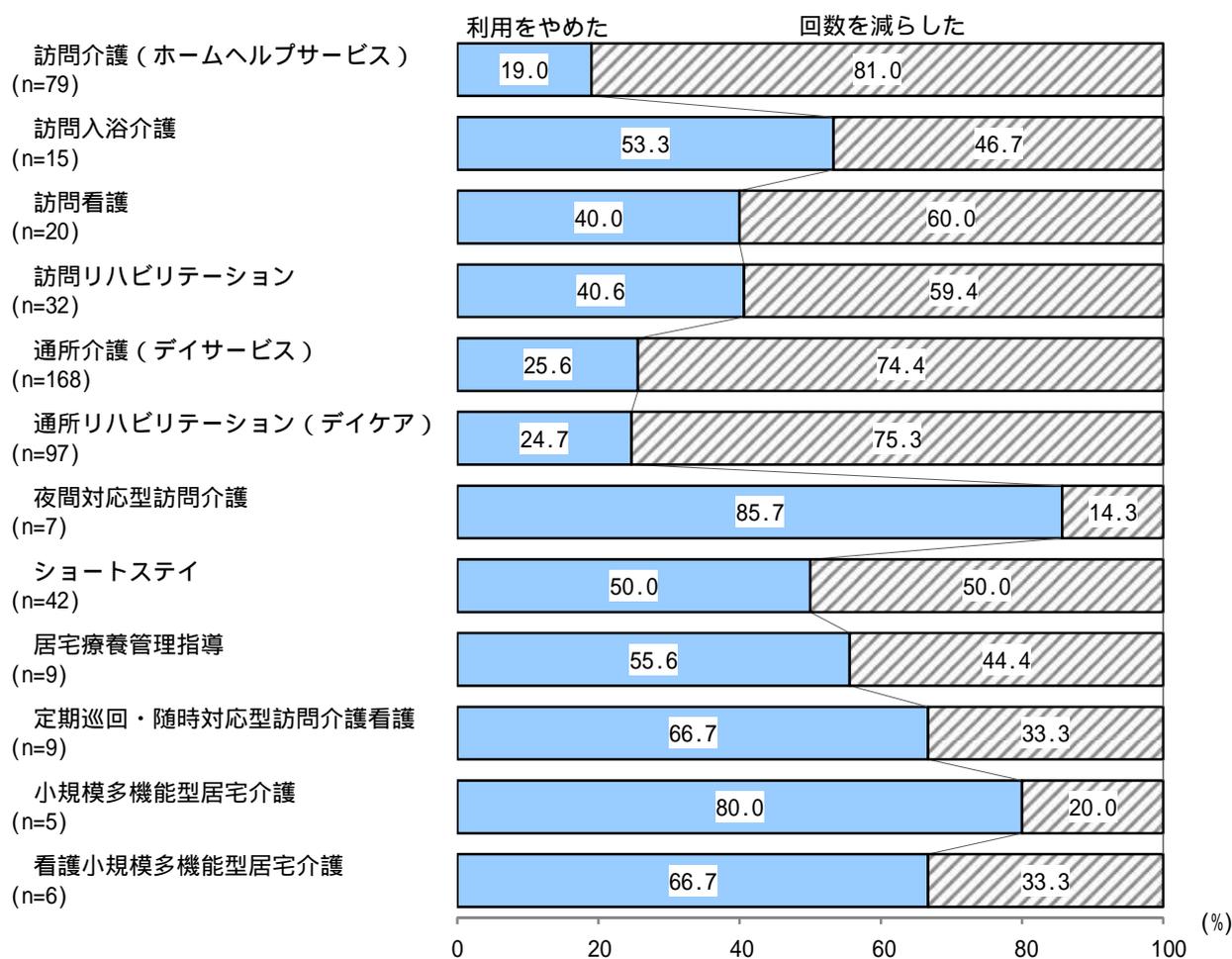
問11で「1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした」「2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った」と回答された方におうかがいします。
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により利用をやめた、もしくは、回数を減らした介護サービスの種類をお答えください。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービスの利用に変化があったと回答した人に、利用をやめた、もしくは回数を減らしたサービスの種類をたずねた。

「利用をやめた」サービスは“ 夜間対応型訪問介護 ”が85.7%（6件）が最も高く、次いで“ 小規模多機能型居宅介護 ”が80.0%（4件）となっている。

「回数を減らした」サービスは“ 訪問介護（ホームヘルプサービス）”が81.0%（64件）で最も高く、次いで“ 通所リハビリテーション（デイケア）”が75.3%（73件）となっている。（図11-1）

【図11-1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用をやめた、もしくは回数を減らした介護サービス】



無回答を除いて算出した。

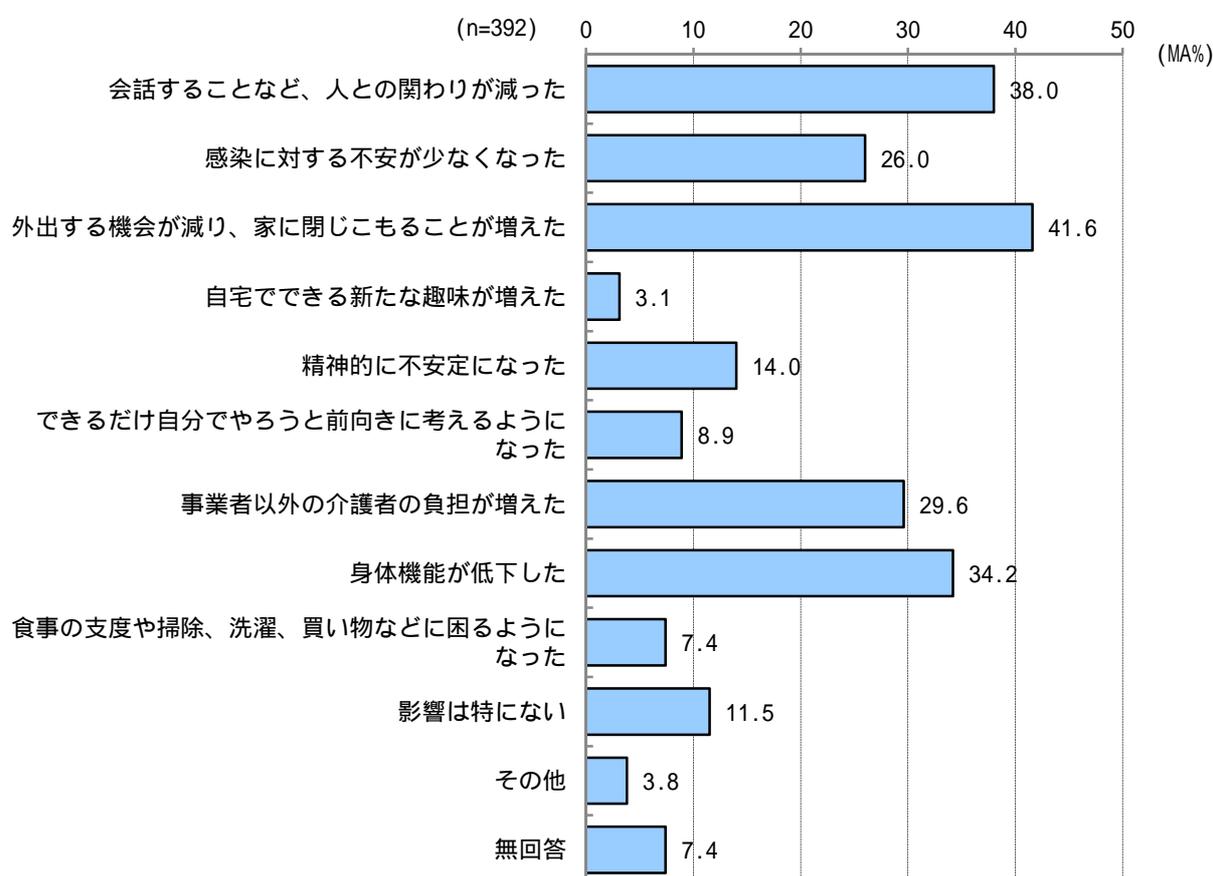
問11-2 介護サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響

問11で「1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした」「2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った」と回答された方におうかがいします。

介護保険サービス及び介護予防サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことでどのような影響がありましたか。(はいくつでも)

介護保険サービス及び介護予防サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響については、「外出する機会が減り、家に閉じこもることが増えた」が41.6%で最も多く、次いで「会話することなど、人との関わりが減った」が38.0%、「身体機能が低下した」が34.2%となっている。(図11-2)

【図11-2 介護サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響】

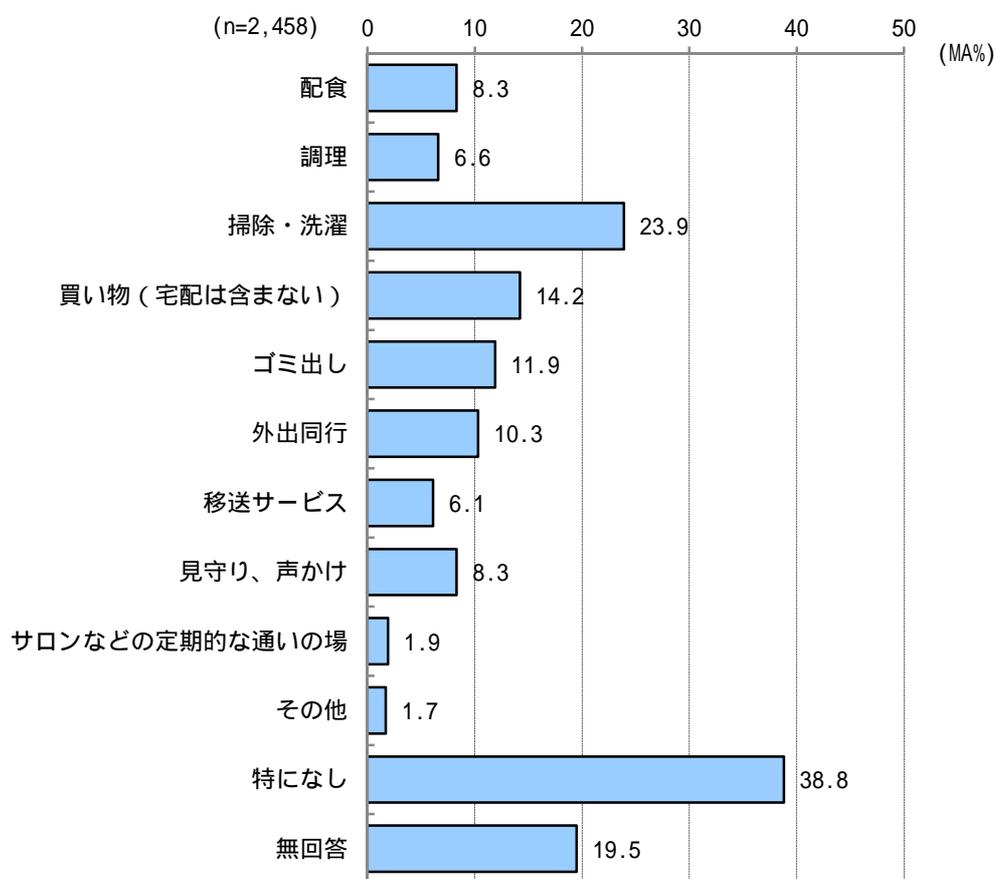


問12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス及び介護予防サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(はいくつでも)

現在利用している、介護サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービスについては、「掃除・洗濯」が23.9%で最も多く、次いで「買い物(宅配は含まない)」が14.2%、「ゴミ出し」が11.9%となっている。(図12)

【図12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス】

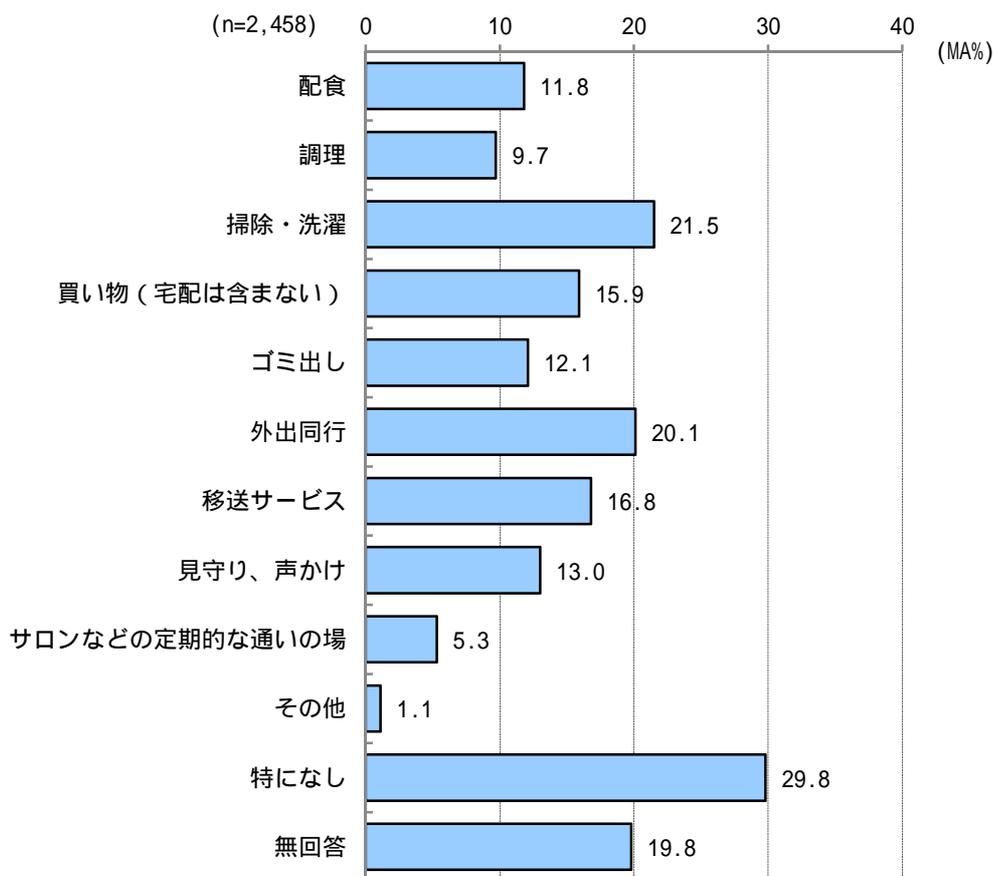


問13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（はいいくつでも）

今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が29.8%で最も多いが、必要と感じる支援・サービスでは「掃除・洗濯」が21.5%で最も多く、次いで「外出同行」が20.1%、「移送サービス」が16.8%となっている。（図13）

【図13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス】



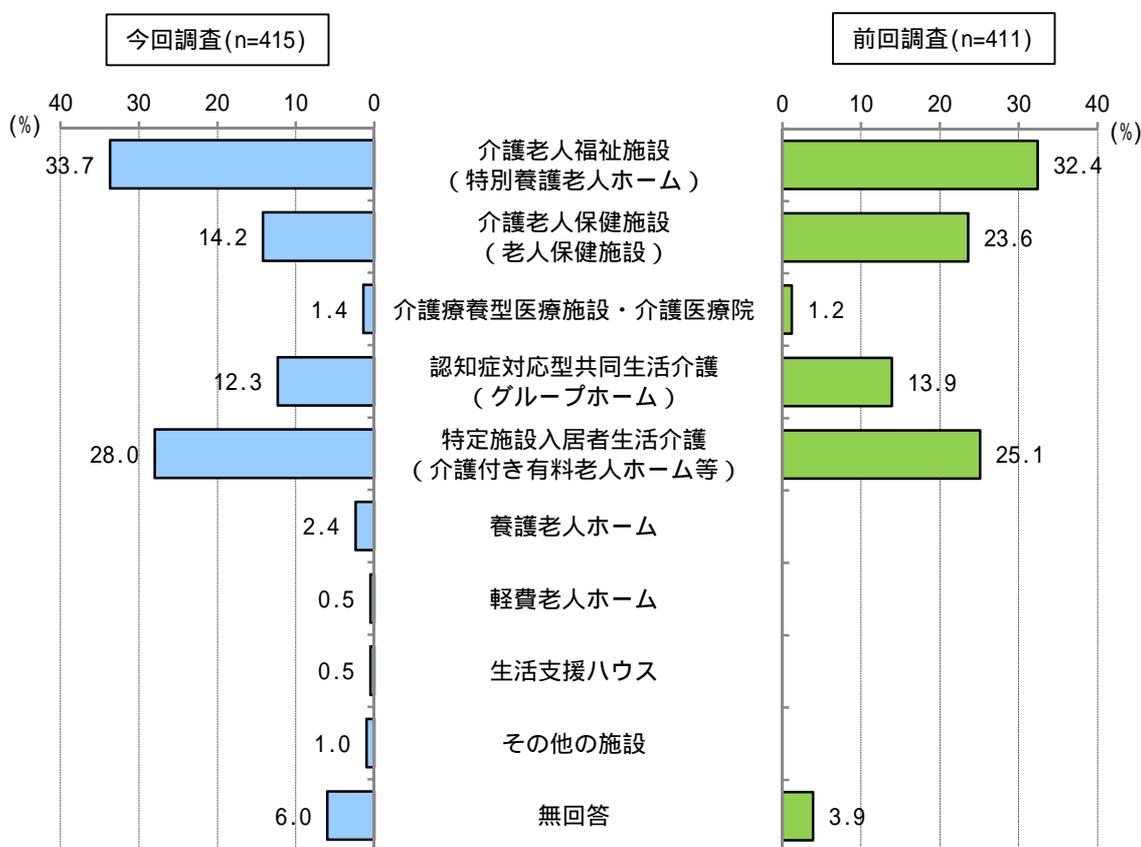
問14 入所（入居）している施設

あなたが現在入所（入居）している施設について、あてはまる番号に をつけてください。
（ はひとつ）

施設等に入所（入居）していると回答した人に、その施設をたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が33.7%で最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が28.0%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が14.2%となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人保健施設（老人保健施設）」の割合が9.4ポイント低くなっている。（図14）

【図14 入所（入居）している施設（経年比較）】

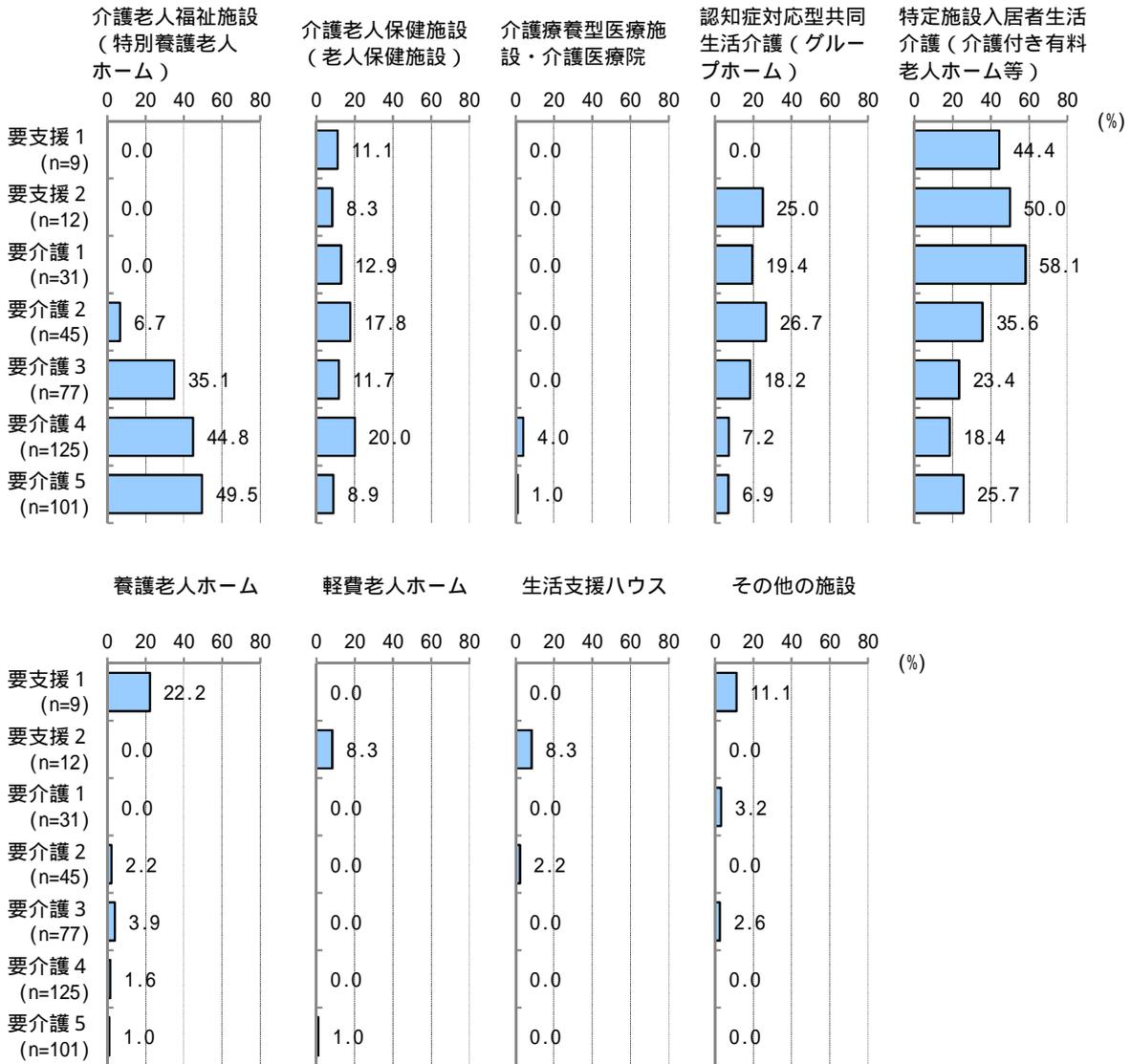


「養護老人ホーム」「軽費老人ホーム」「生活支援ハウス」「その他の施設」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護3～5では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く、要支援1・2、要介護1・2では「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が最も多くなっている。（図14-a）

【図14-a 入所（入居）している施設（要介護度別）】



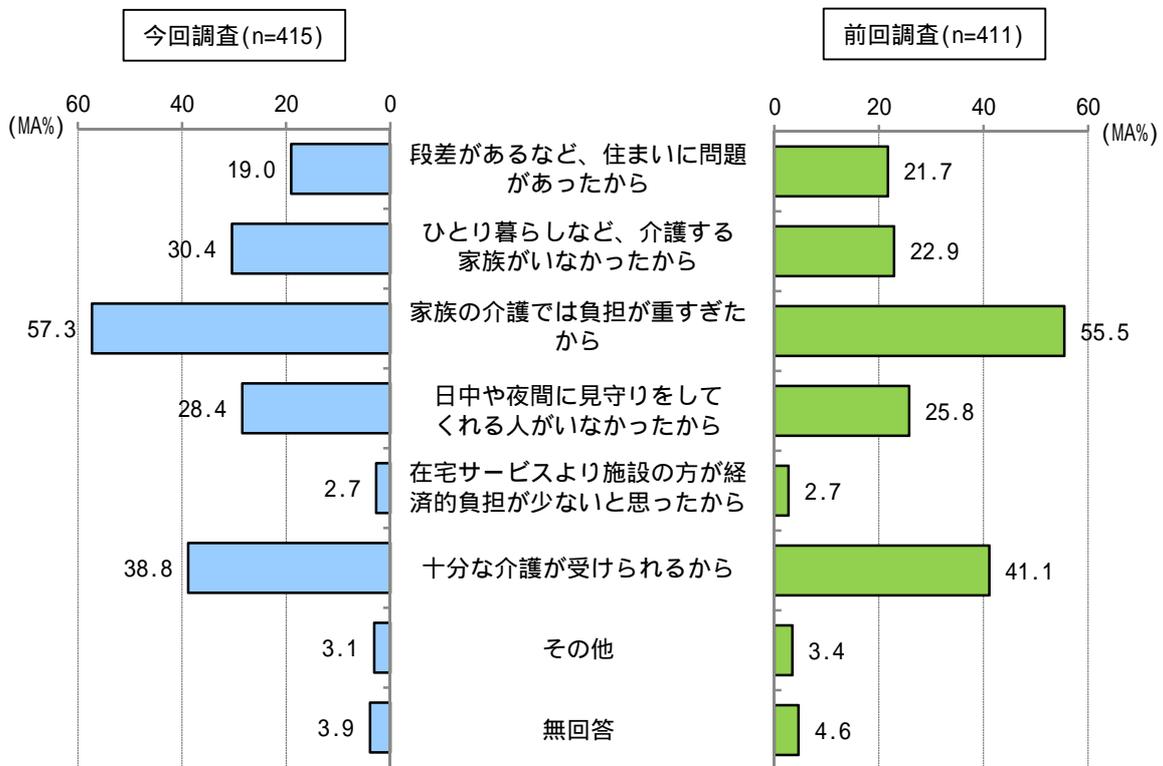
問14-1 入所（入居）を希望した理由

あなたが、施設等の入所（入居）を希望した理由は何ですか。（はいくつでも）

施設等に入所（入居）していると回答した人に、入所（入居）を希望した理由をたずねると、「家族の介護では負担が重すぎたから」が57.3%で最も多く、次いで「十分な介護が受けられるから」が38.8%、「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」が30.4%となっている。

前回調査と比較すると、「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」の割合が7.5ポイント高くなっている。（図14-1）

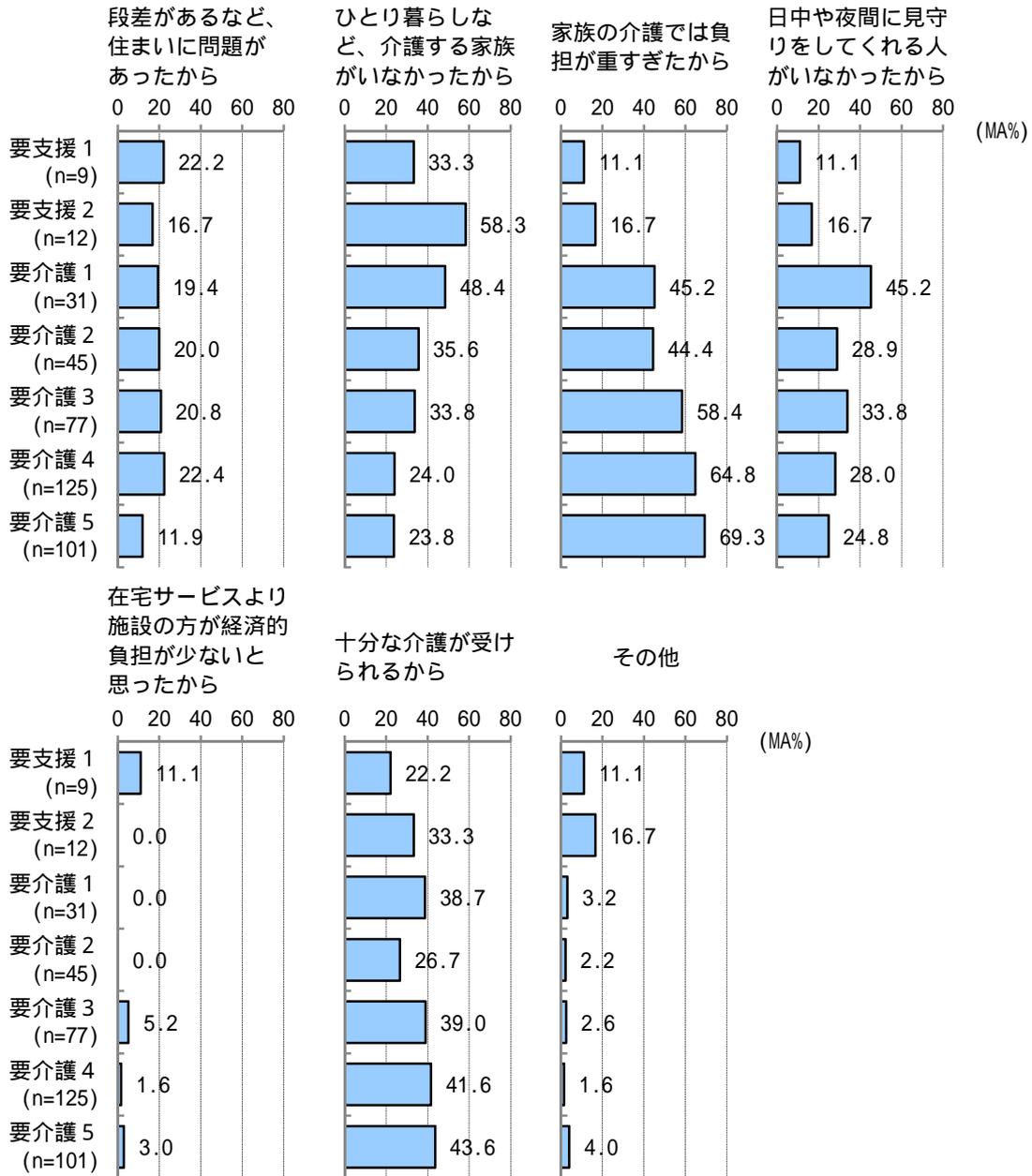
【図14-1 入所（入居）を希望した理由（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、要支援1・2、要介護1では「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」が最も多く、要介護2以上では「家族の介護では負担が重すぎたから」が最も多くなっている。(図14-1-a)

【図14-1-a 入所(入居)を希望した理由(要介護度別)】



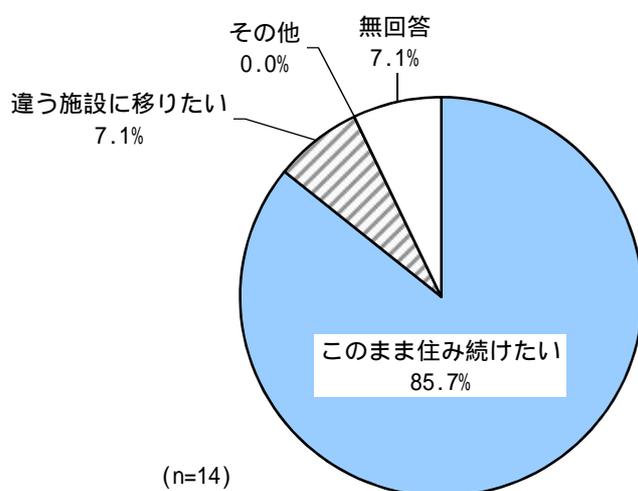
問14-2 入所施設での定住意向

問14で「6 養護老人ホーム」「7 軽費老人ホーム」「8 生活支援ハウス」と回答された方におうかがいします。

あなたが入所されている施設にこのまま住み続けたいと思いますか。(はひとつ)

現在、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウスに入居（入所）していると回答した人(14人)に、このまま住み続けたいかをたずねると、「このまま住み続けたい」が85.7% (12人)で最も多く、次いで「違う施設に移りたい」が7.1%(1人)となっている。(図14-2)

【図14-2 入所施設での定住意向】



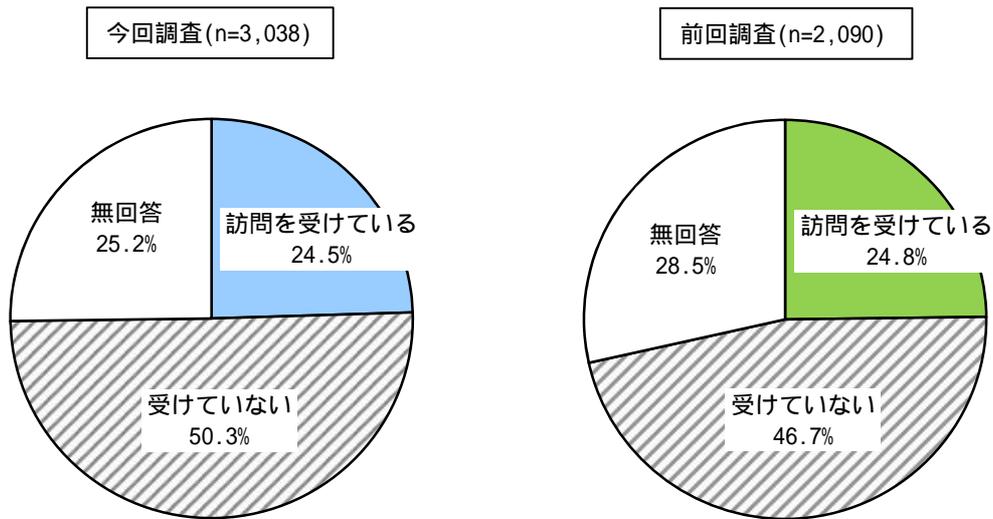
問15 医療従事者などの訪問有無

あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(はひとつ)

現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「訪問を受けている」が24.5%、「受けていない」が50.3%となっている。

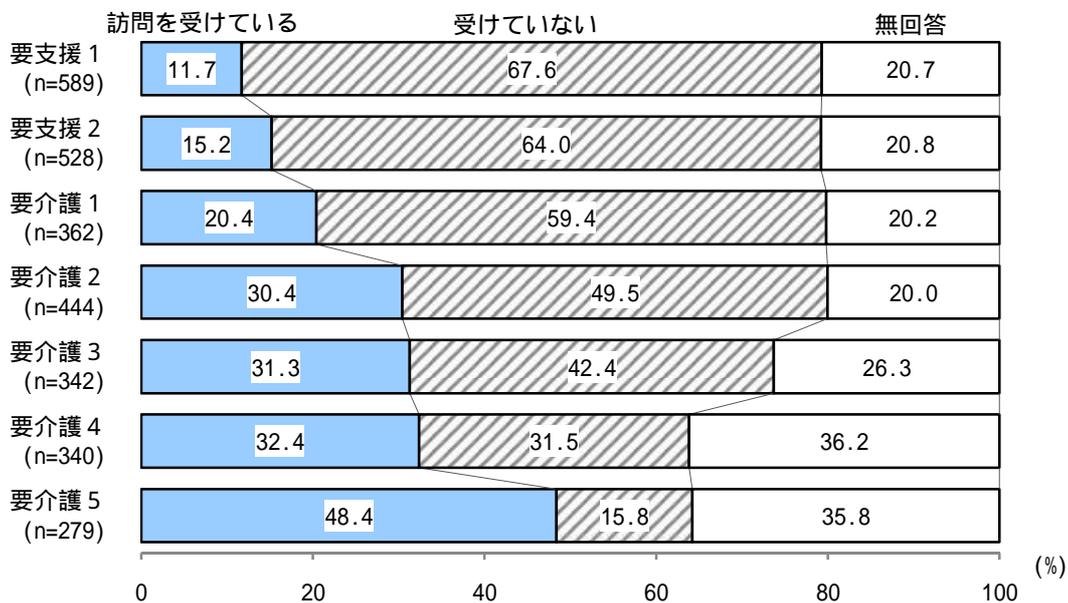
前回調査と比較すると、「受けていない」の割合が3.6ポイント高くなっている。(図15)

【図15 医療従事者などの訪問有無(経年比較)】



要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1～3は「受けていない」の割合が多くなっているが、重度になるほど「訪問を受けている」の割合が高くなっており、要介護5では48.4%となっている。(図15-a)

【図15-a 医療従事者などの訪問有無(要介護度別)】



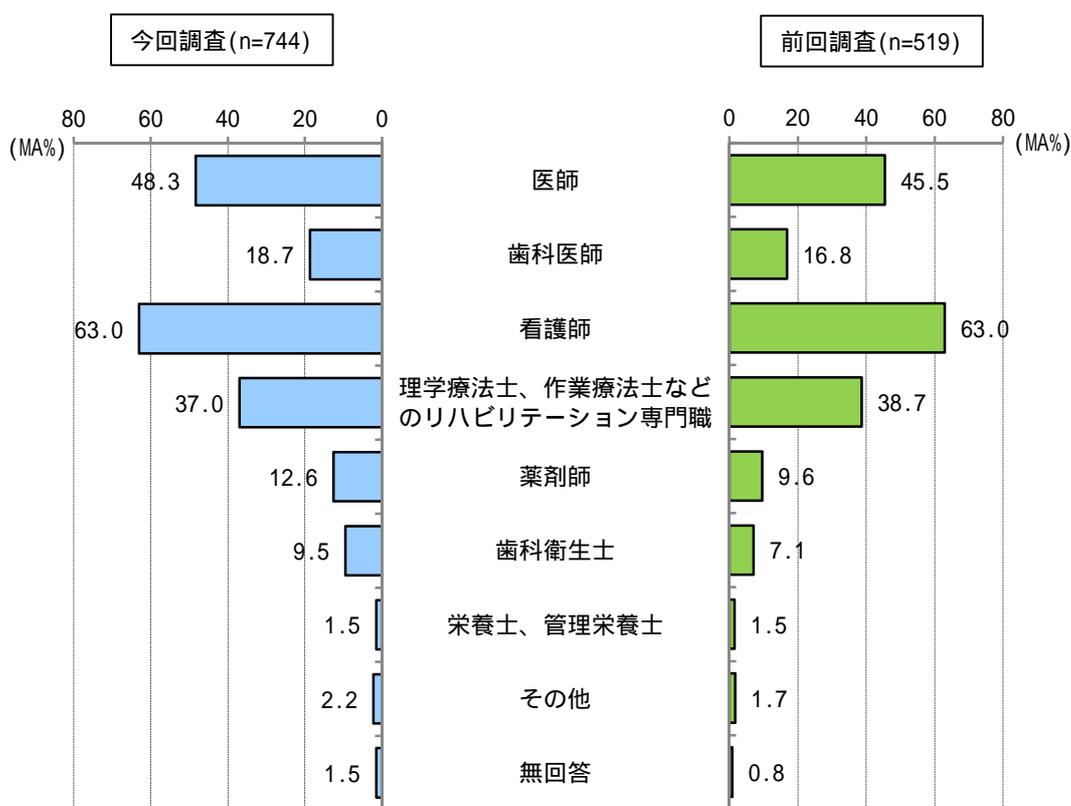
問15-1 訪問されている医療従事者

問15で「1 はい」と回答された方におうかがいします。
訪問されている方は誰ですか。(はいいくつでも)

医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「看護師」が63.0%で最も多く、次いで「医師」が48.3%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」が37.0%となっている。

前回調査と比較すると、「医師」の割合が2.8ポイント、「薬剤師」の割合が3.0ポイントそれぞれ高くなっている。(図15-1)

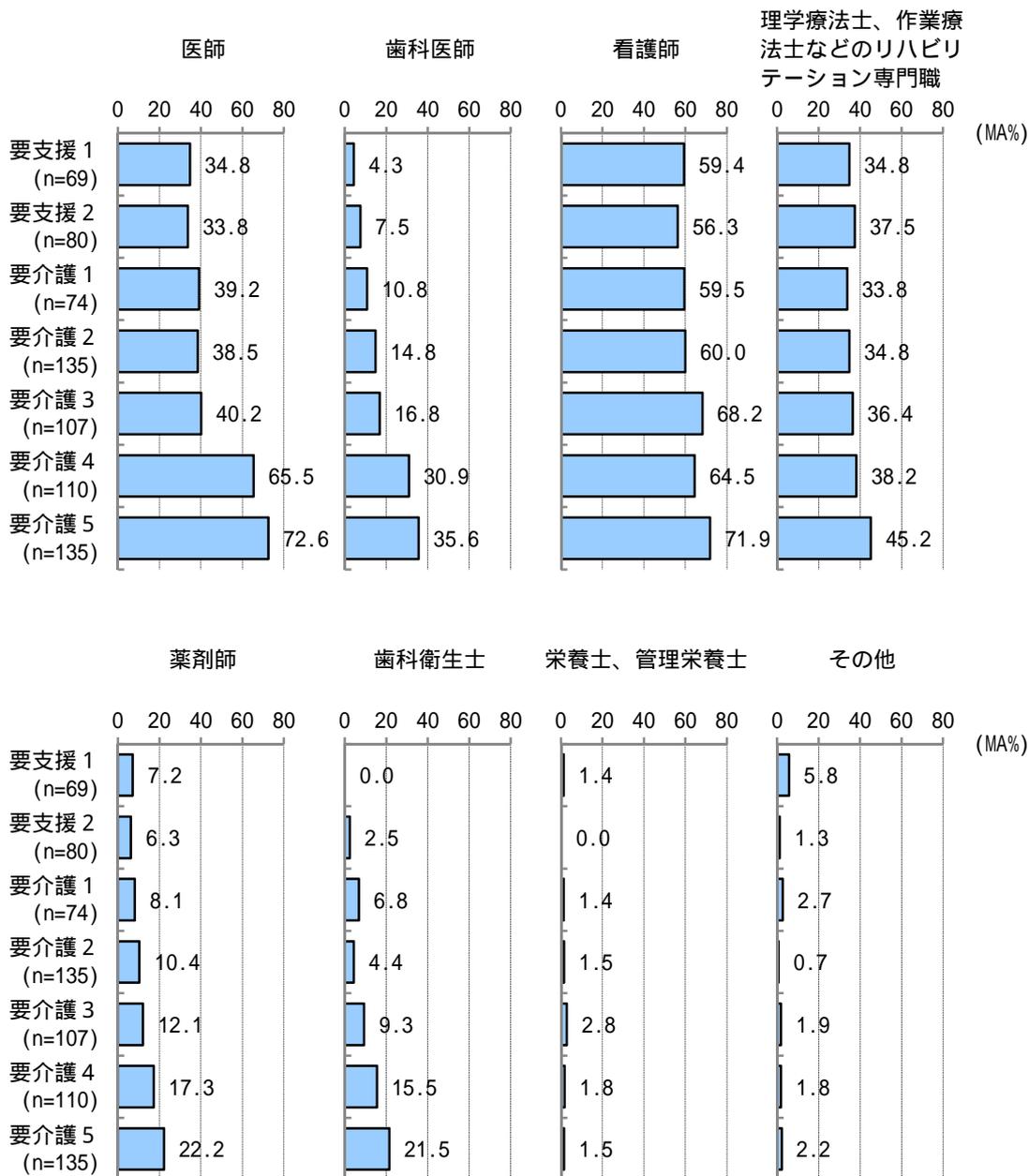
【図15-1 訪問されている医療従事者（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護1～3は「看護師」が最も多く、5～6割台となっている。要介護4・5は「医師」が最も多く、「栄養士、管理栄養士」を除くいずれの項目も要介護5で最も高い割合となっている。(図15-1-a)

【図15-1-a 訪問されている医療従事者(要介護度別)】



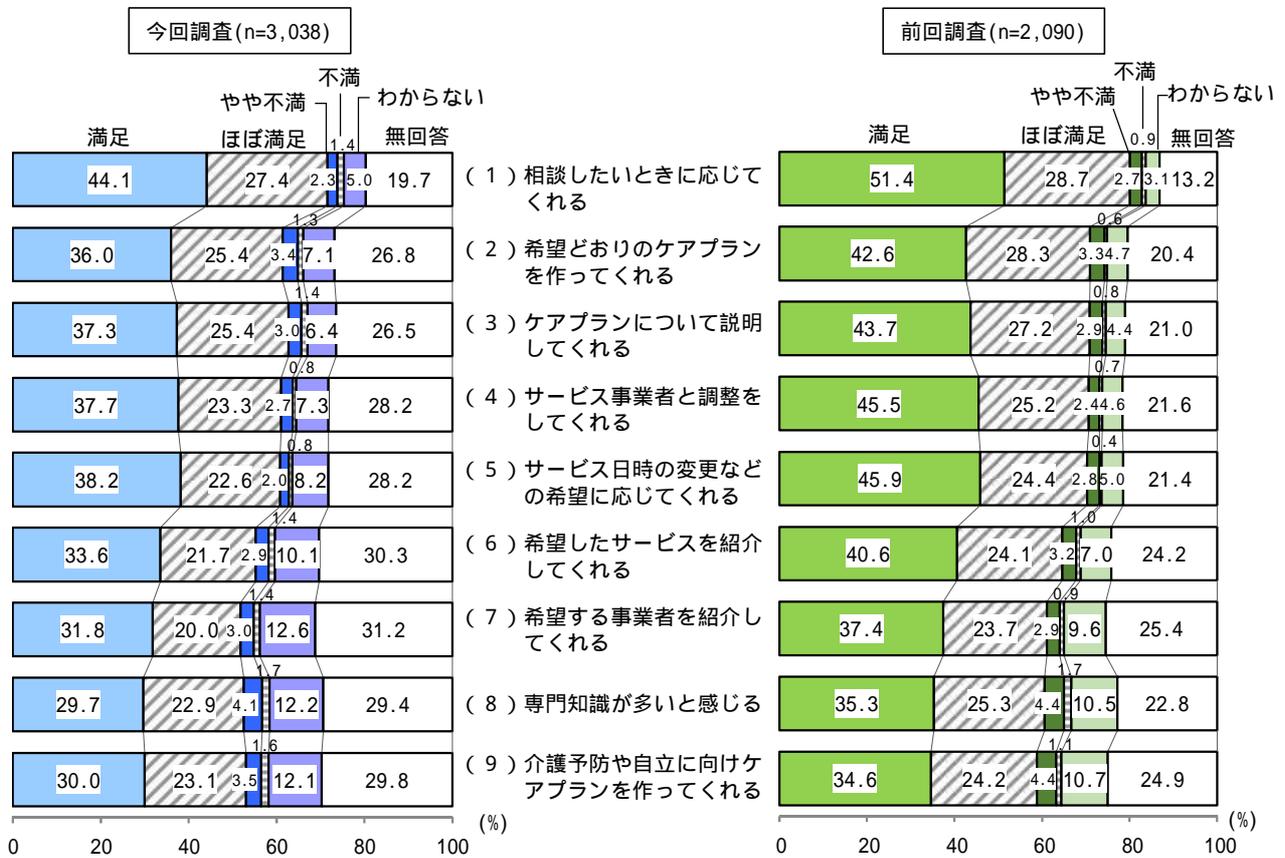
問16 介護支援専門員の満足度

現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、次の(1)～(9)の項目ごとの満足度をお答えください。（それぞれ はひとつ）

現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度については、いずれの項目も「満足」が最も多く、なかでも“(1)相談したいときに応じてくれる”が44.1%と高くなっている。また「満足」と「ほぼ満足」をあわせた『満足』割合では、“(1)相談したいときに応じてくれる”が71.5%、“(3)ケアプランについて説明してくれる”が62.7%となっている。

前回調査と比べると、いずれの項目も「満足」「ほぼ満足」の割合が低くなっており、『満足』割合が低下している。（図16）

【図16 介護支援専門員の満足度（経年比較）】



問16-1 担当の介護支援専門員についての意見・要望（自由記述）

担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。

392人の意見が挙がっている。

【主な意見】

- ・とてもよくしてくれている。
- ・もっと訪問してほしい。
- ・担当者がよく変わる。
- ・いつも忙しそうである。もう少し会話をしてほしい。用件だけ言って帰られることがほとんどである。
- ・コロナで十分に話ができていない、本人とも面談できていない。
- ・入院などした場合の医療機関との連携を強めてほしい。

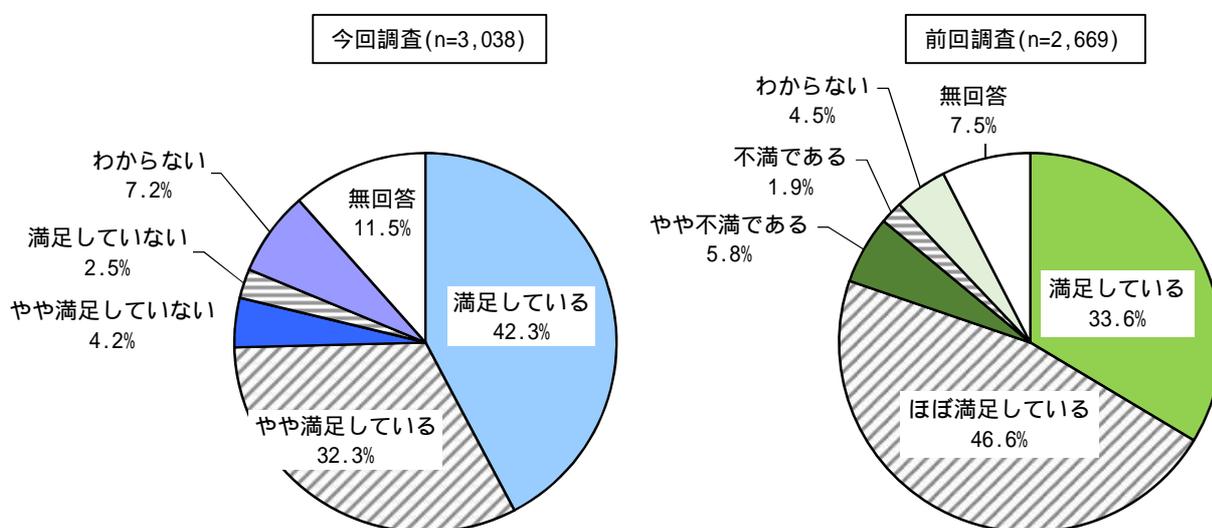
問17 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度についてお答えください。(はひとつ)

介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度については、「満足している」が42.3%で最も多く、次いで「やや満足している」が32.3%となっており、両者を合わせた『満足』の割合は74.6%を占めている。

前回調査と比較すると、「満足している」「ほぼ満足している」が多い傾向は変わらない。(図17)

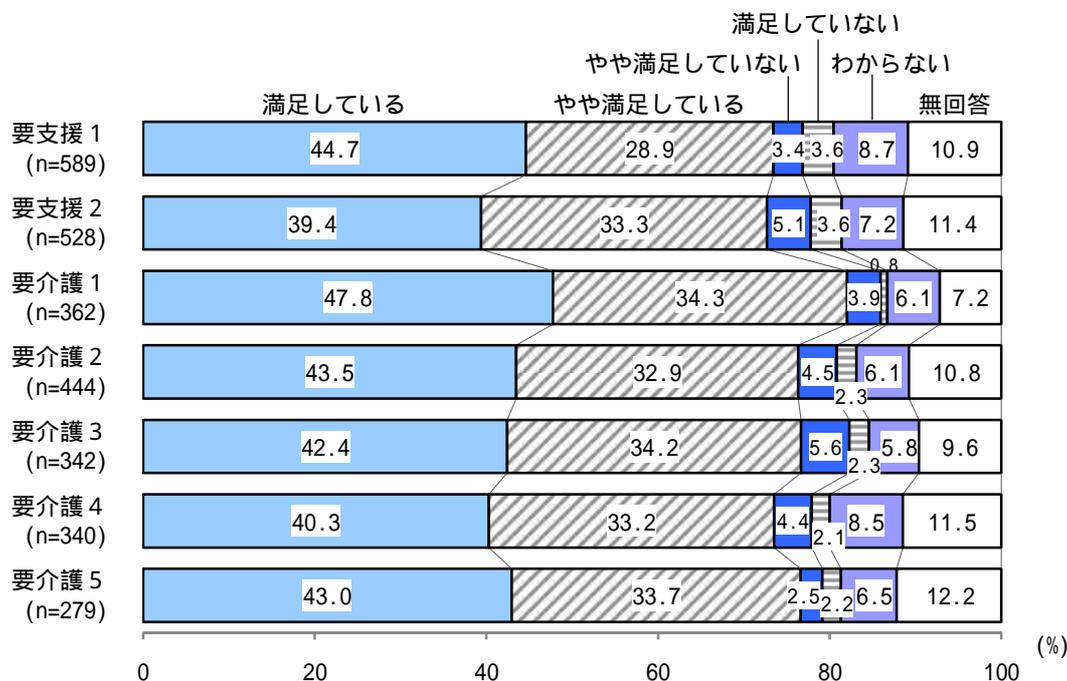
【図17 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（経年比較）】



前回調査の「ほぼ満足している」「やや不満である」「不満である」は、今回調査では「やや満足している」「やや満足していない」「満足していない」に変更している。

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「満足している」が最も多く、『満足』の割合は7～8割台を占めている。(図17-a)

【図17-a 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度(要介護度別)】



問17-1 介護保険サービス及び介護予防サービスについての意見・要望(自由記述)

介護保険サービス及び介護予防サービスについて、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。

261人の意見が挙がっている。

【主な意見】

- ・様々な制限があり、希望どおりのサービスが受けにくい。
- ・どのようなサービスがあるのか、わからない。
- ・リハビリをもっと受けたい。
- ・病院の付き添い、外出支援。
- ・経済的な負担が大きい。
- ・面会ができない。

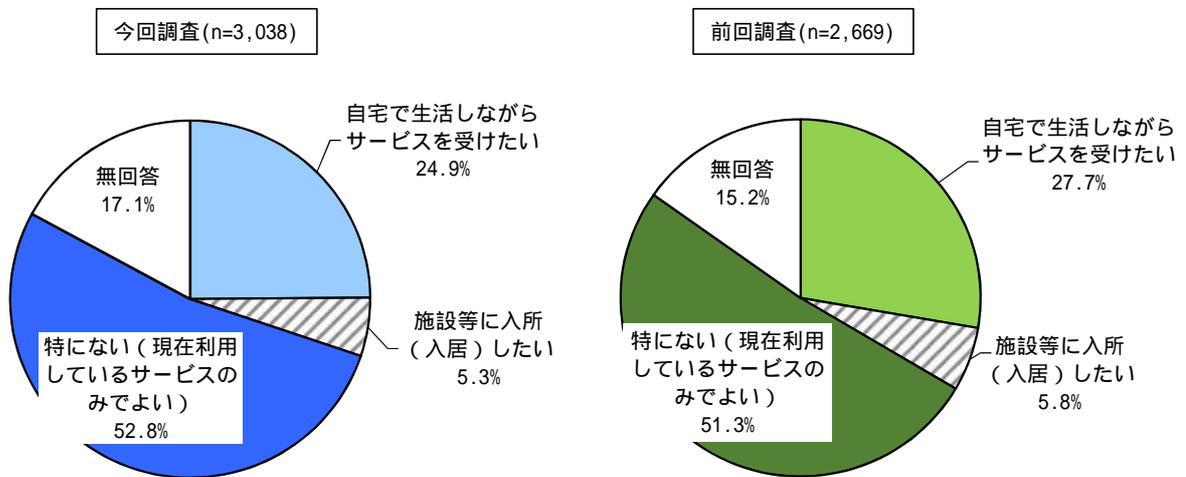
問18 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(はひとつ)

ここ1年以内に利用したい介護サービスは、「特にない(現在利用しているサービスのみでよい)」が52.8%で最も多く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が24.9%となっている。

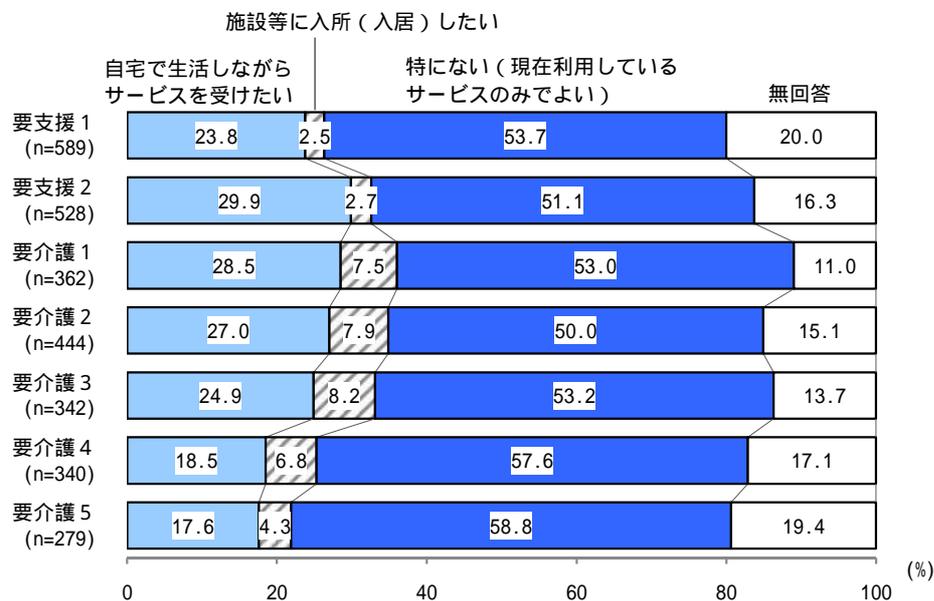
前回調査と比較すると、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は2.8ポイント低くなっている。(図18)

【図18 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向(経年比較)】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「特にない(現在利用しているサービスのみでよい)」が最も多くなっている。一方、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」は要支援2が29.9%で最も高く、以降、重度になるほど割合が低くなっている。(図18-a)

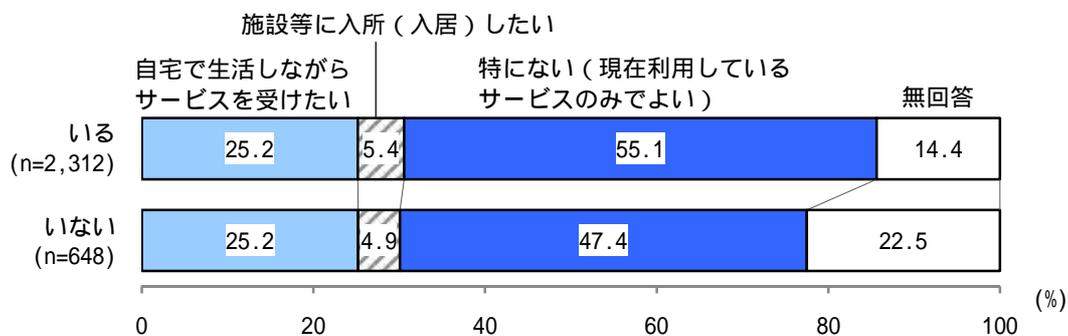
【図18-a 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向(要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

介護者の有無別で見ると、いる・いないにかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が最も多く、介護者がいる人は55.1%、いない人は47.4%で、いる人のほうが7.7ポイント高くなっている。一方、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」と「施設等に入所（入居）したい」の割合は、介護者の有無に大きな差はみられない。（図18-b）

【図18-b 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（介護者の有無別）】

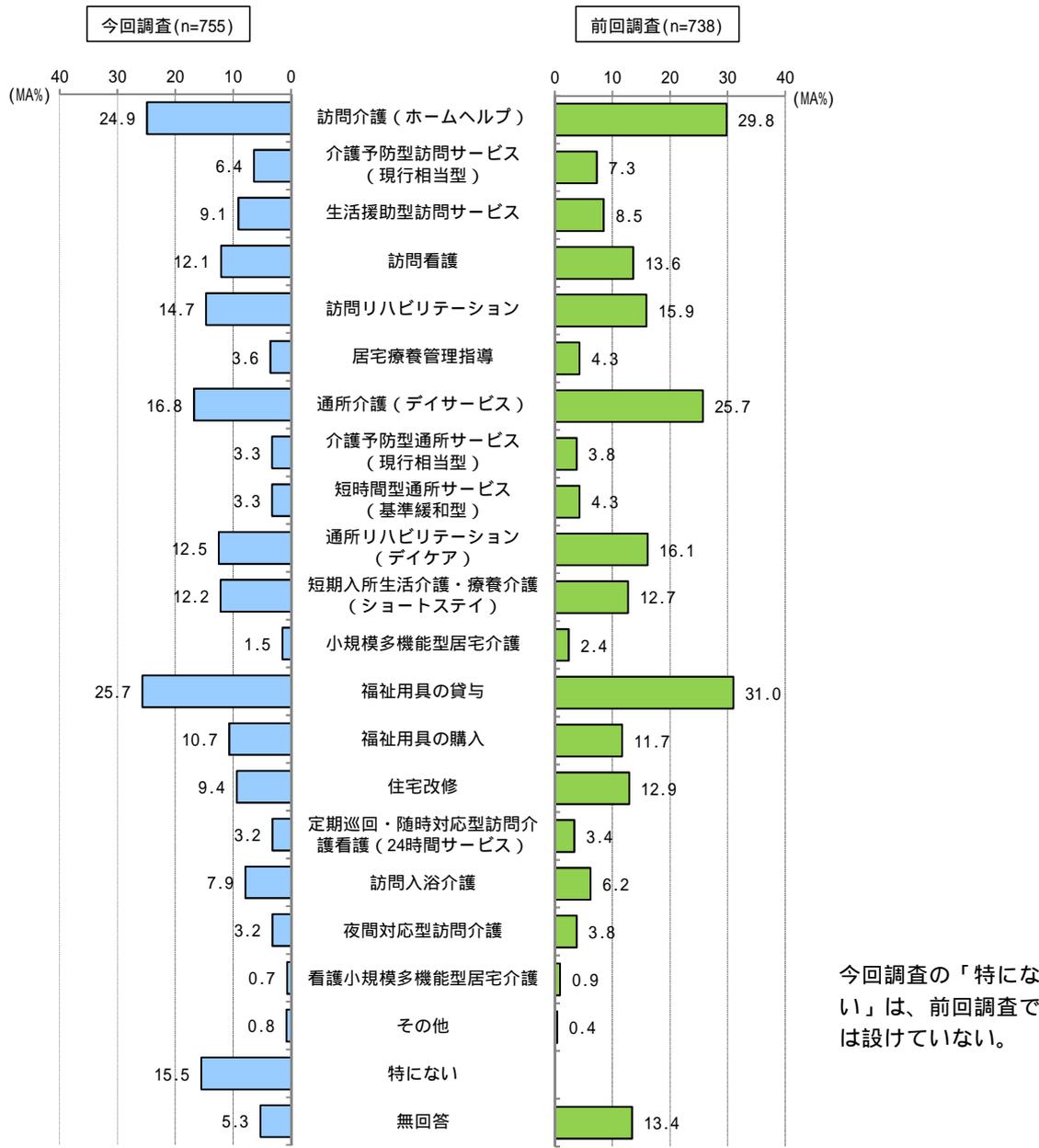


問18-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向

この質問は、問18で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。
 あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスについて、あてはまる番号すべてにをつけてください。(はいいくつでも)

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、現在利用していない居宅サービスで利用したいサービスをたずねると、「福祉用具の貸与」が25.7%で最も多く、次いで「訪問介護(ホームヘルプ)」が24.9%、「通所介護(デイサービス)」が16.8%となっている。
 前回調査と比較すると、「通所介護(デイサービス)」の割合は8.9ポイント低くなっている。
 (図18-1)

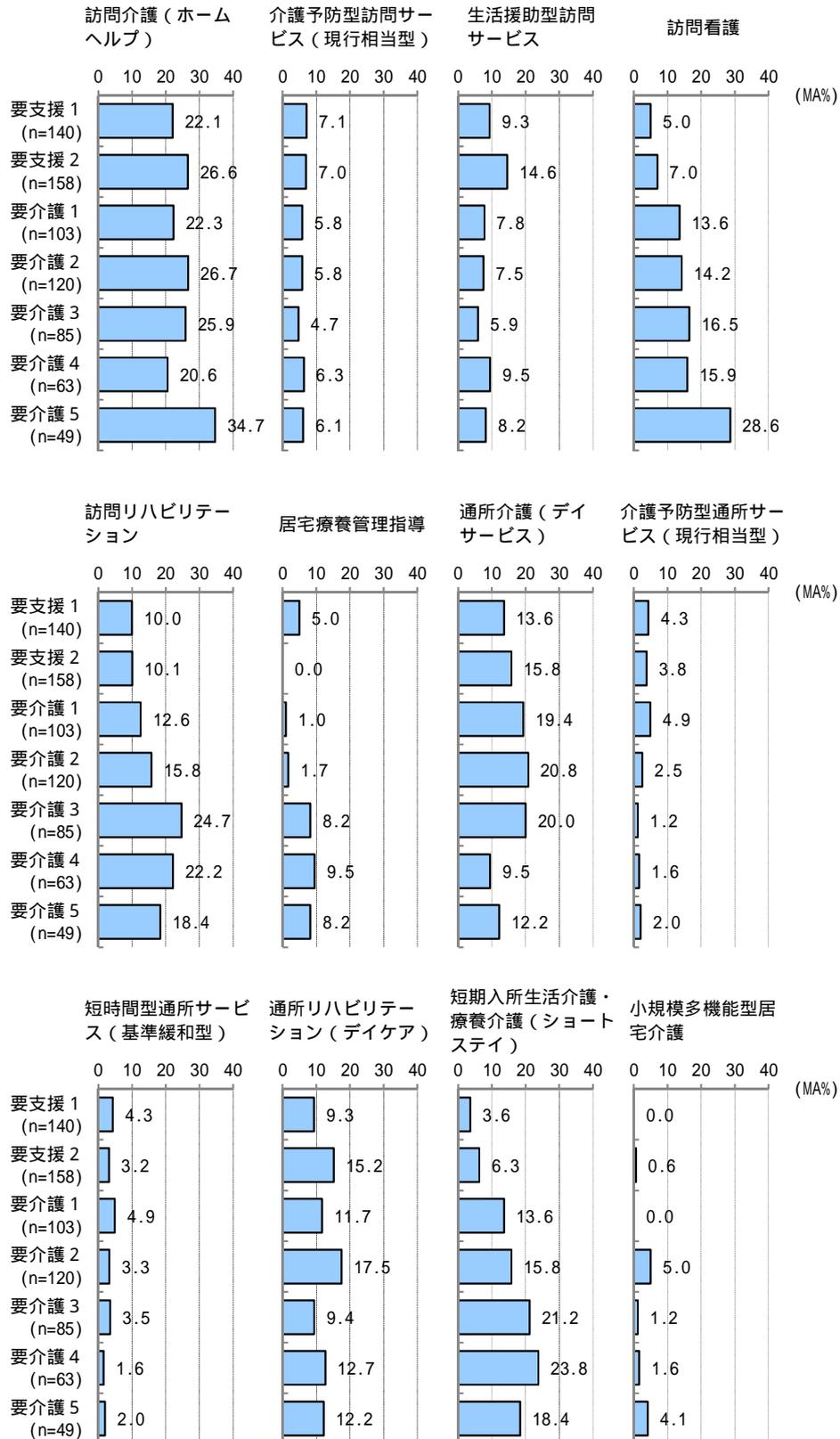
【図18-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向(経年比較)】



【介護保険サービス利用者調査】

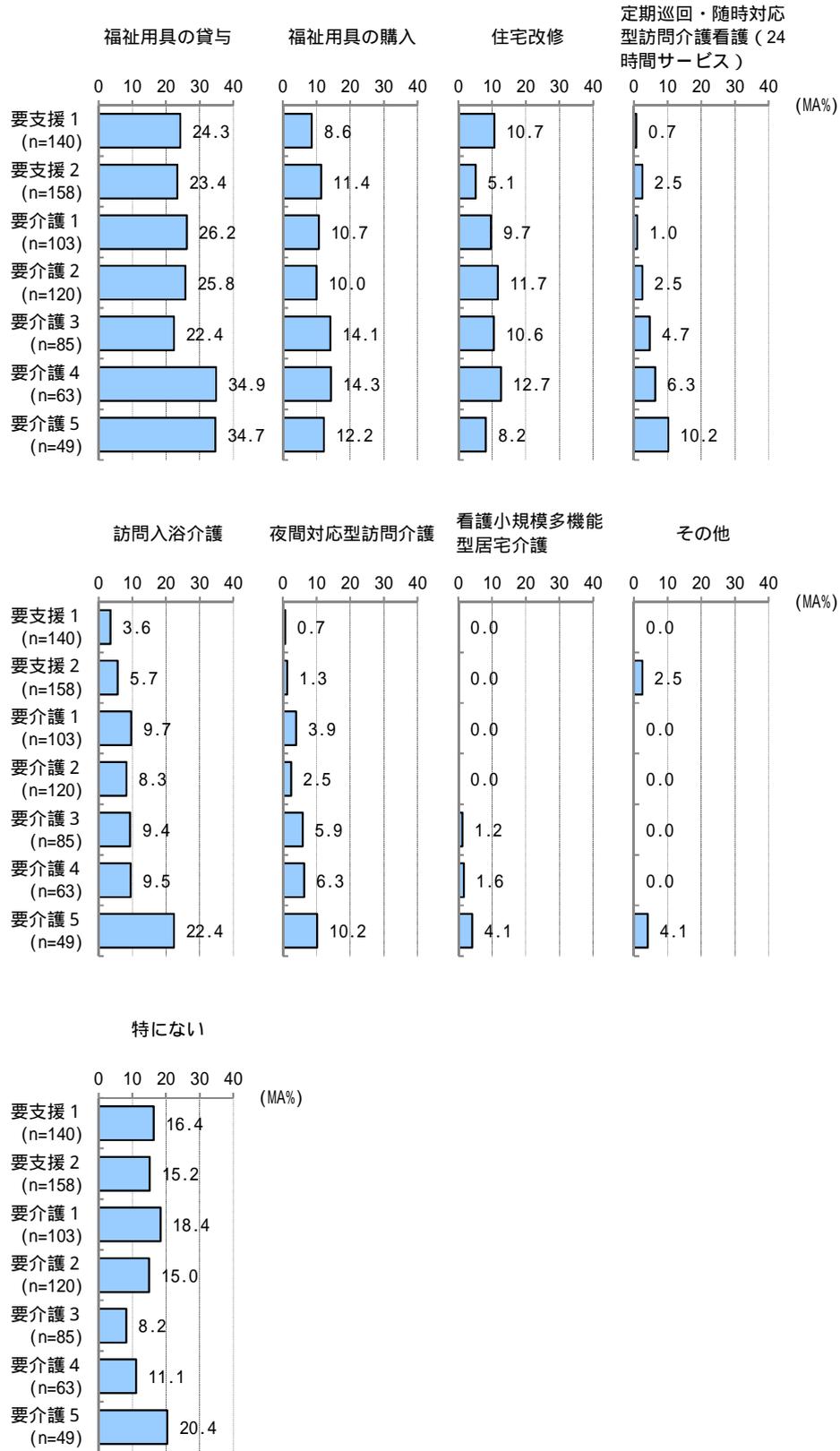
要介護度別でみると、要支援1と要介護1・4は「福祉用具の貸与」、要支援2と要介護2・3は「訪問介護（ホームヘルプ）」が最も多くなっている。要介護5は「訪問介護（ホームヘルプ）」と「福祉用具の貸与」が同率の34.7%で最も多くなっている。（図18-1-a）

【図18-1-a 現在利用していない居宅サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

【図18-1-a 現在利用していない居宅サービスの利用意向（要介護度別）】



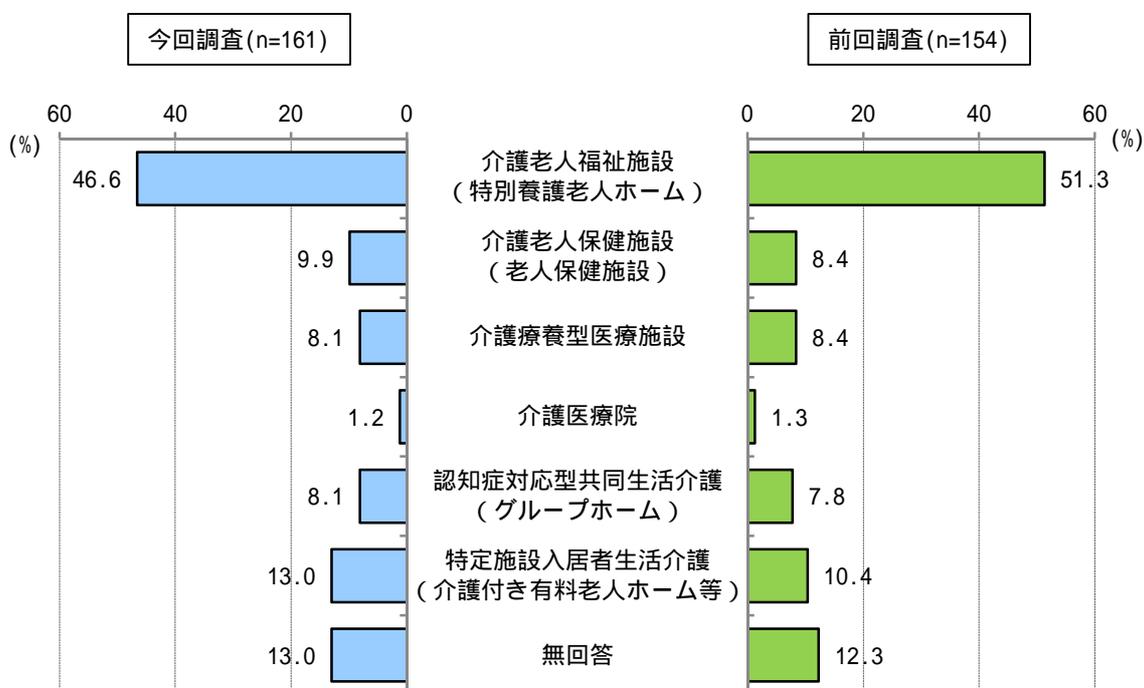
問18-2 現在利用していない施設サービスの利用意向

この質問は、問18で「2 施設等に入所（入居）したい」と回答された方のみお答えください。あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。（ はひとつ）

施設等に入所（入居）したいと回答した人に、現在利用していない施設サービスで利用したいサービスをたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が46.6%、「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）」が13.0%となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が4.7ポイント低くなっている。（図18-2）

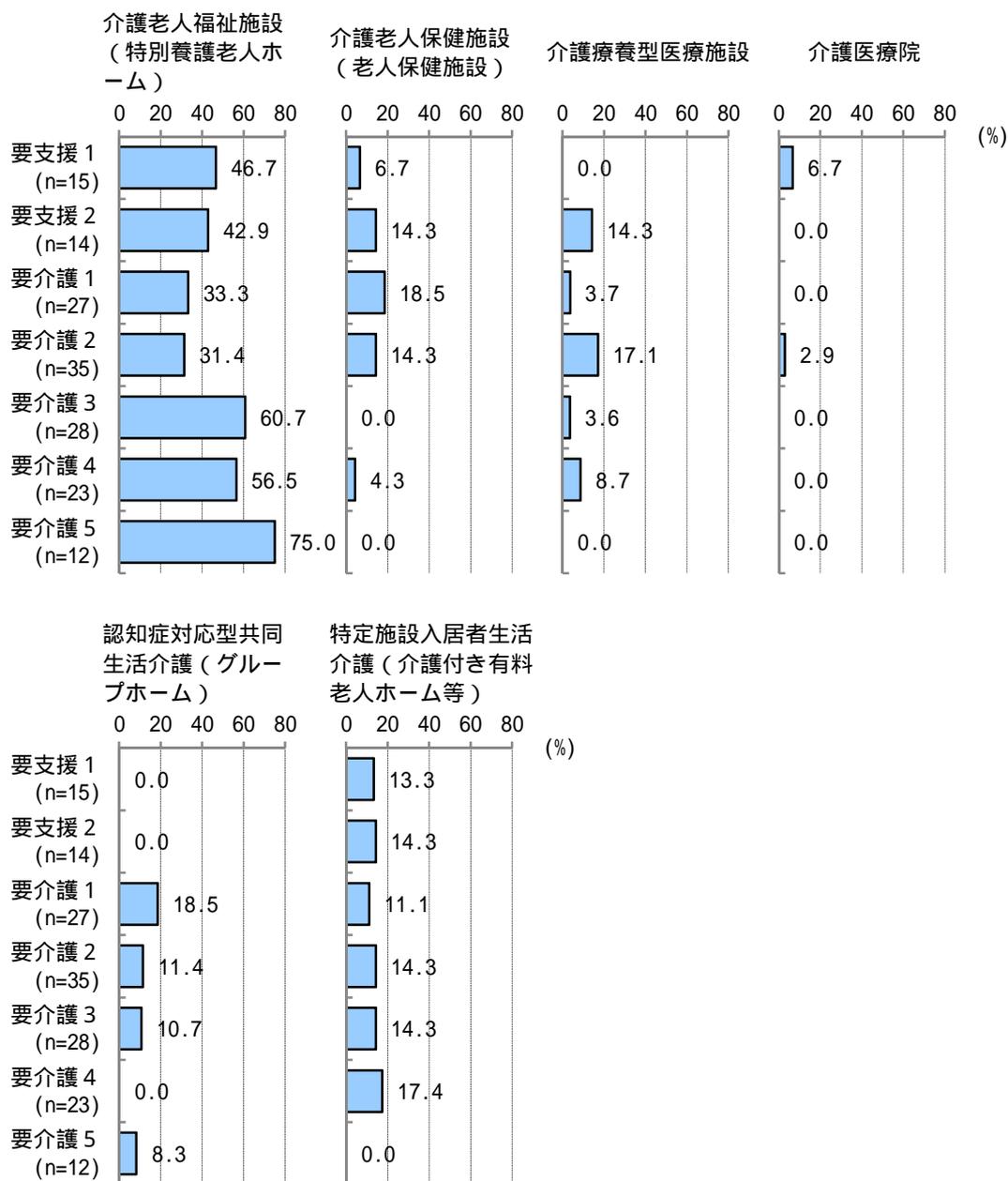
【図18-2 現在利用していない施設サービスの利用意向（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、要介護度にかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く、特に、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所基準となる要介護3～5では5～7割台となっている。（図18-2-a）

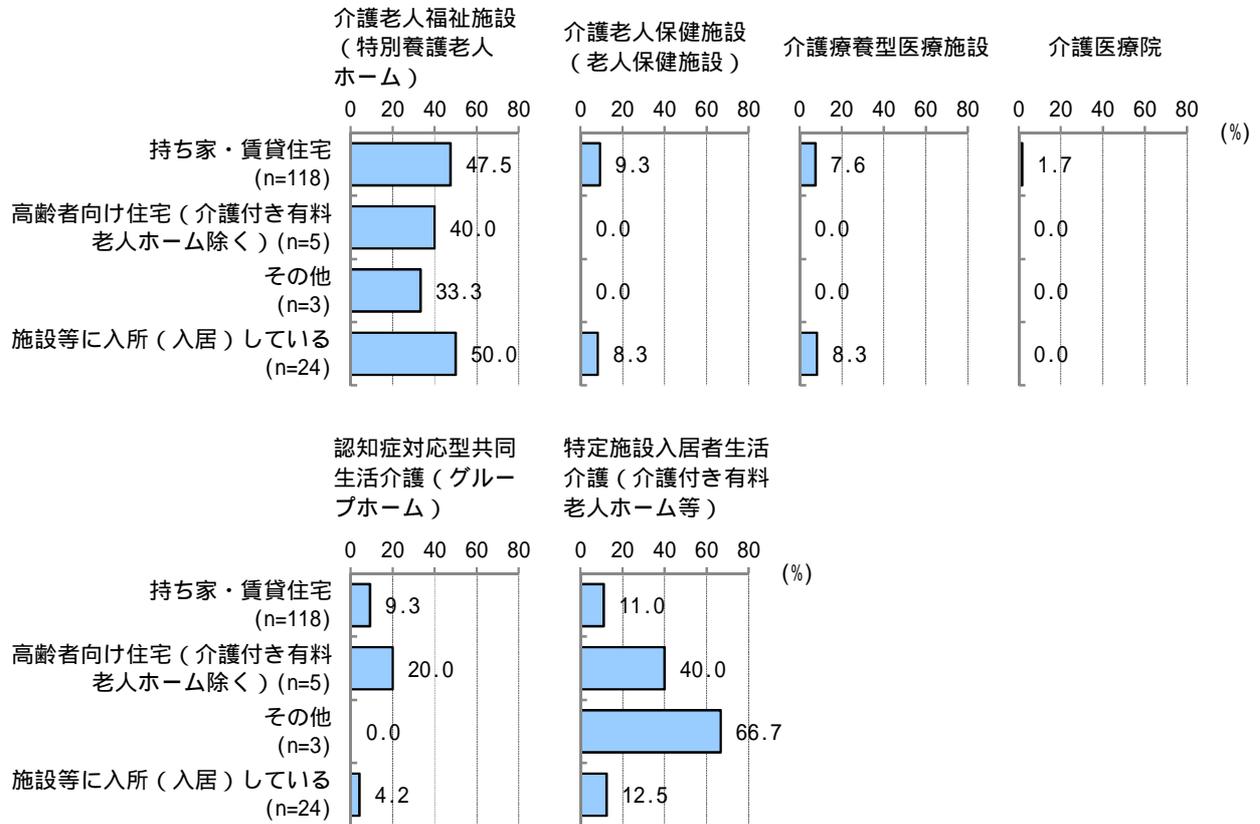
【図18-2-a 現在利用していない施設サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

現在の住まい別でみると、住まいにかかわらず「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が最も多くなっており、本人の持ち家・賃貸住宅に住んでいる人は47.5%、施設等に入所(入居)している人は50.0%となっている。(図18-2-b)

【図18-2-b 現在利用していない施設サービスの利用意向(現在の住まい別)】



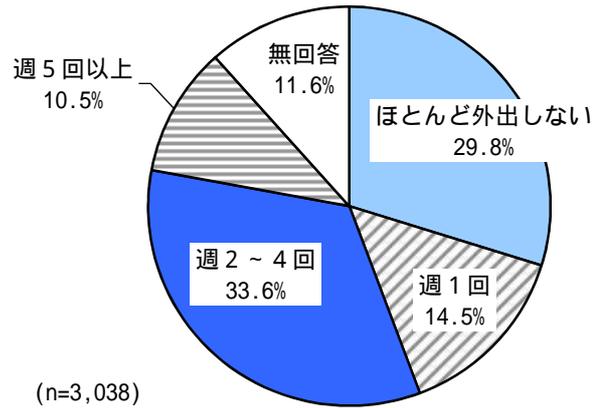
(5) 外出の状況

問19 外出頻度

週に1回以上は外出していますか。(はひとつ)

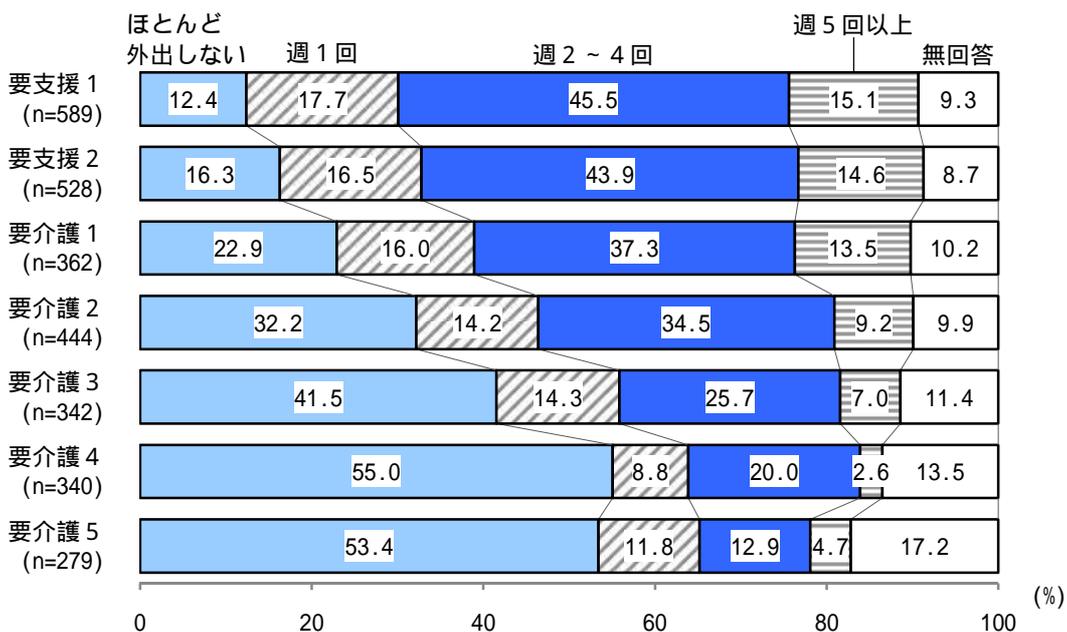
外出頻度については、「週2～4回」が33.6%で最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が29.8%、「週1回」が14.5%となっている。(図19)

【図19 外出頻度】



要介護度別でみると、「ほとんど外出しない」は重度になるほど割合が高くなり、要介護4・5では5割台を占めている。「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」はいずれも要支援1で最も高い割合となっている。(図19-a)

【図19-a 外出頻度(要介護度別)】

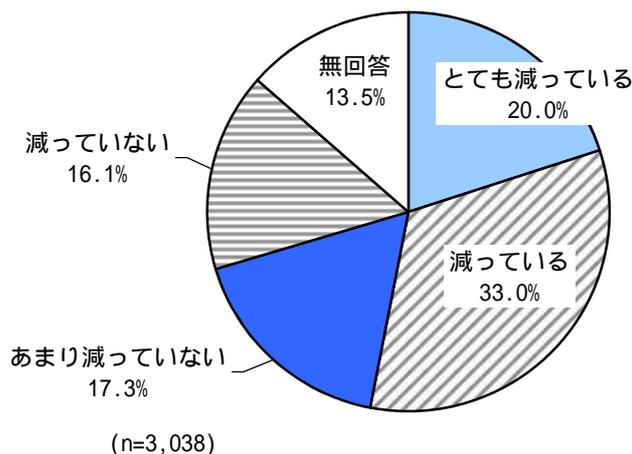


問20 昨年と比べた外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(はひとつ)

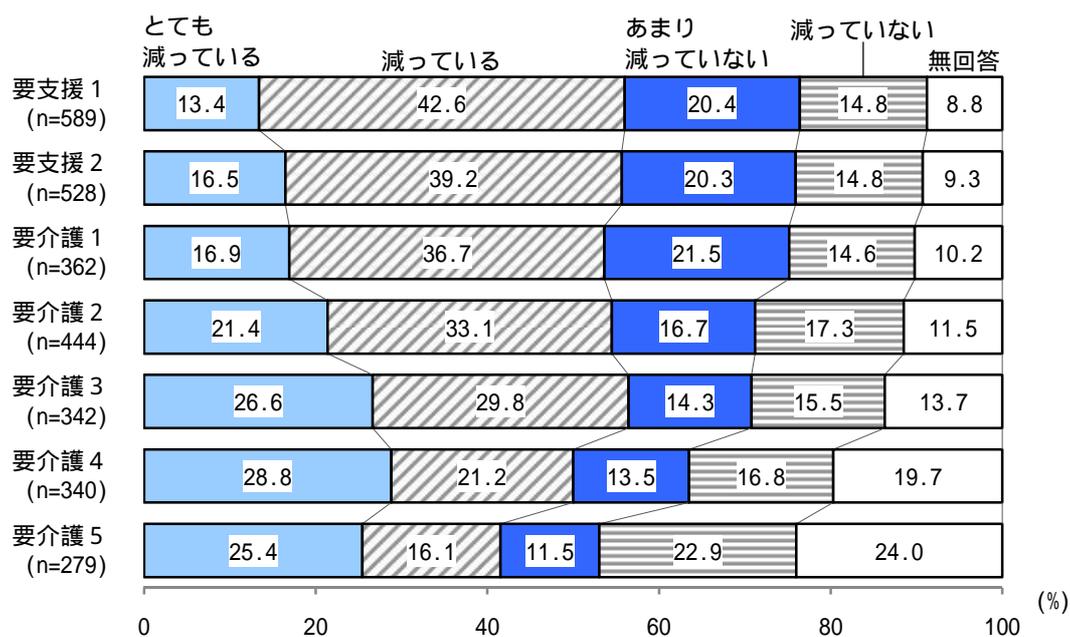
昨年と比べた外出の回数については、「減っている」が33.0%で最も多く、次いで「とても減っている」が20.0%で、両者をあわせた『減っている』割合は53.0%となっている。(図20)

【図20 昨年と比べた外出の回数】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1～3では「減っている」が最も多く、『減っている』割合は5割台となっている。(図20-a)

【図20-a 昨年と比べた外出の回数(要介護度別)】

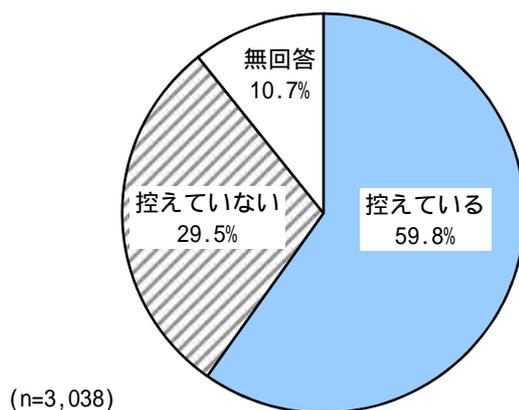


問21 外出を控えること

外出を控えていますか。(はひとつ)

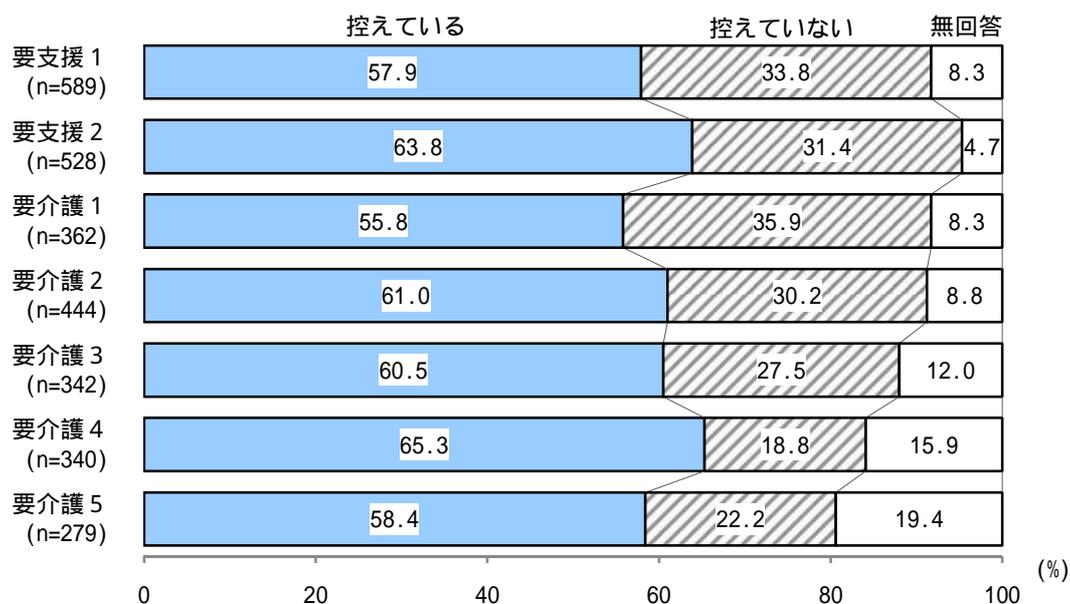
外出を控えているかについては、「控えている」が59.8%で、「控えていない」は29.5%となっている。(図21)

【図21 外出を控えること】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「控えている」が過半数を占めている。(図21-a)

【図21-a 外出を控えること (要介護度別)】



問21-1 外出を控えている理由

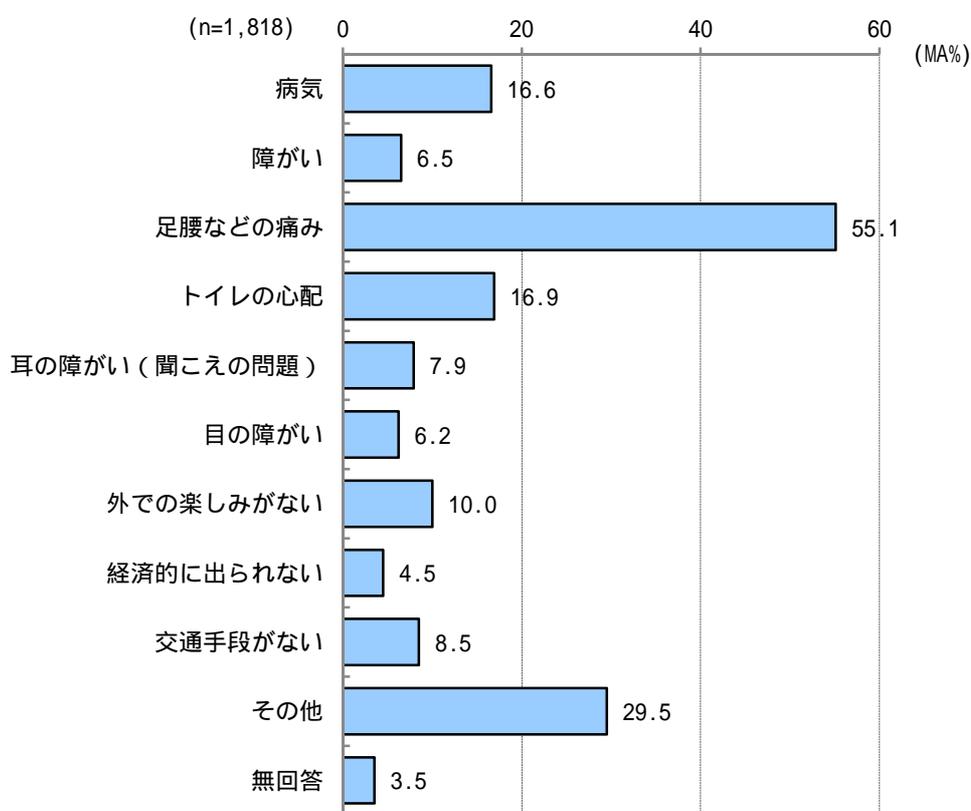
問21で「1 はい」(外出を控えている)と回答された方におうかがいします。
 外出を控えている理由は、次のどれですか。(はいいくつでも)

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、「足腰などの痛み」が55.1%で最も多く、次いで「トイレの心配」が16.9%、「病気」が16.6%となっている。

「その他」(29.5%)では、新型コロナウイルス感染症に関する理由が多く、“感染予防のため”や“感染が怖いから”、“入居施設が外出制限をしているため”などが挙がっている。

(図21-1)

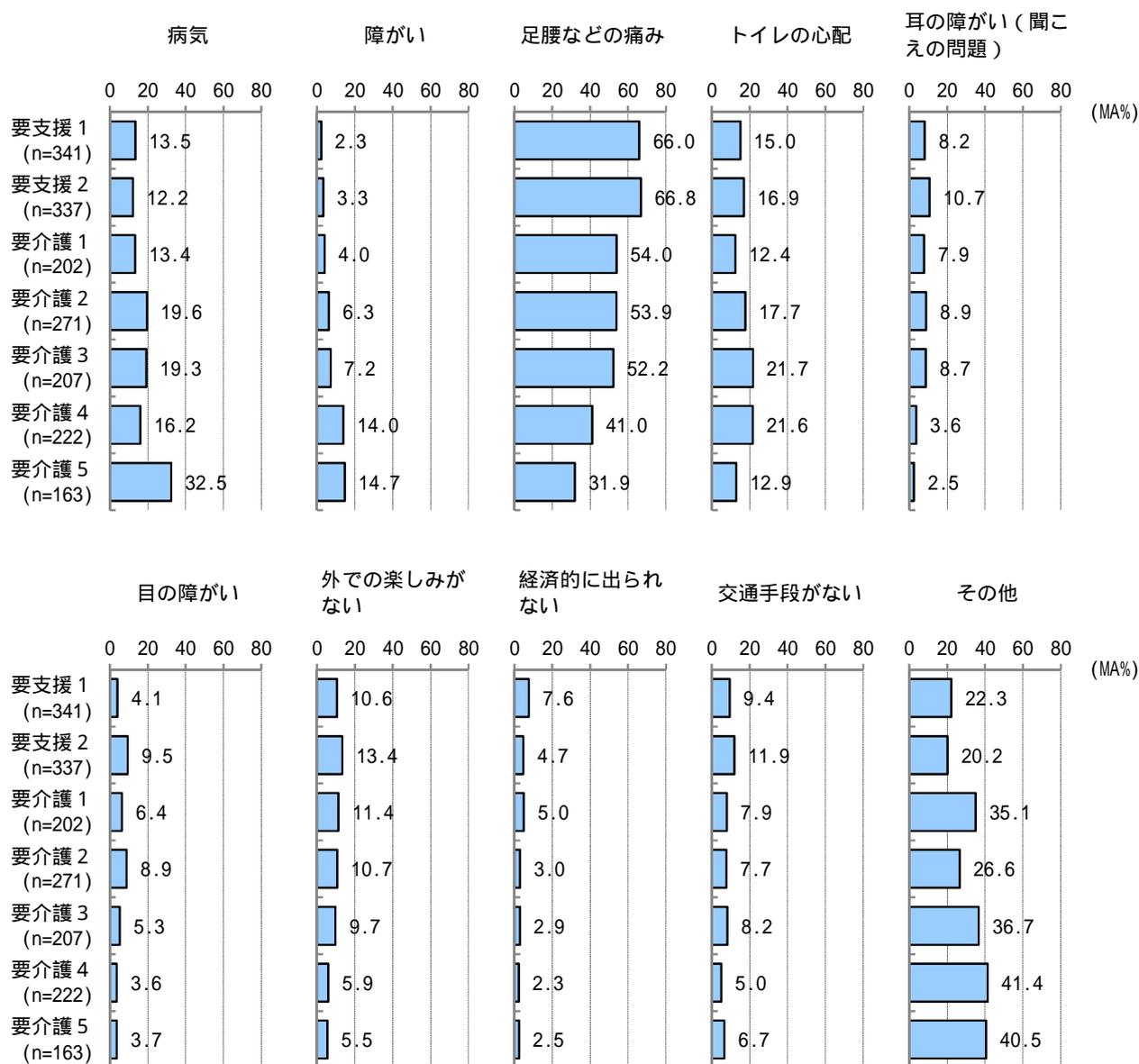
【図21-1 外出を控えている理由】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護5は「病気」が32.5%で最も多く、要支援1・2、要介護1～4では「足腰などの痛み」が4～6割台を占め最も多くなっている。(図21-1-a)

【図21-1-a 外出を控えている理由(要介護度別)】



(6) 介護予防・重度化防止の取り組み

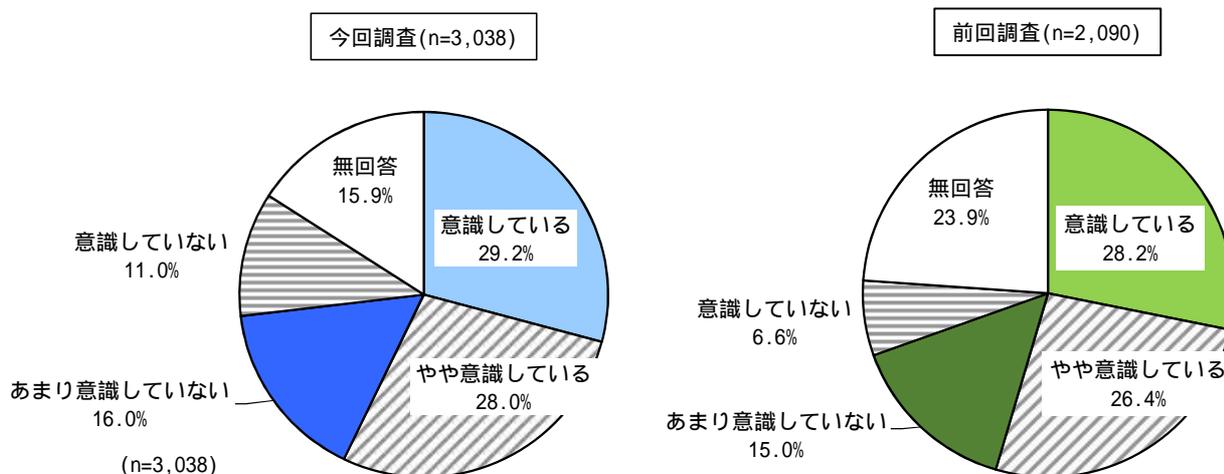
問22 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(はひとつ)

介護予防に対する意識の程度については、「意識している」が29.2%で最も多く、次いで「やや意識している」が28.0%となっており、両者を合わせると57.2%の人が介護予防に対して意識をしている。

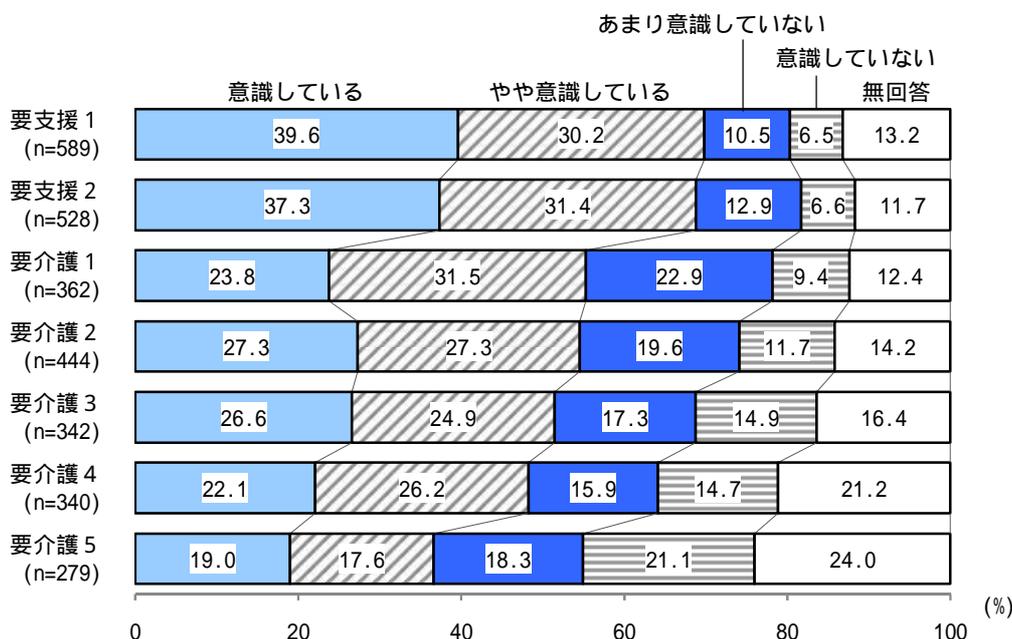
前回調査と比較すると、介護予防を意識している割合は2.6ポイント高くなっている。(図22)

【図22 介護予防に対する意識の程度（経年比較）】



要介護度別で見ると、介護予防に対して意識をしている割合は要支援1で最も高く、要支援1・2で6割台と高い。介護予防に対して意識している割合は重度になるほど低くなる傾向にある。(図22-a)

【図22-a 介護予防に対する意識の程度（要介護度別）】



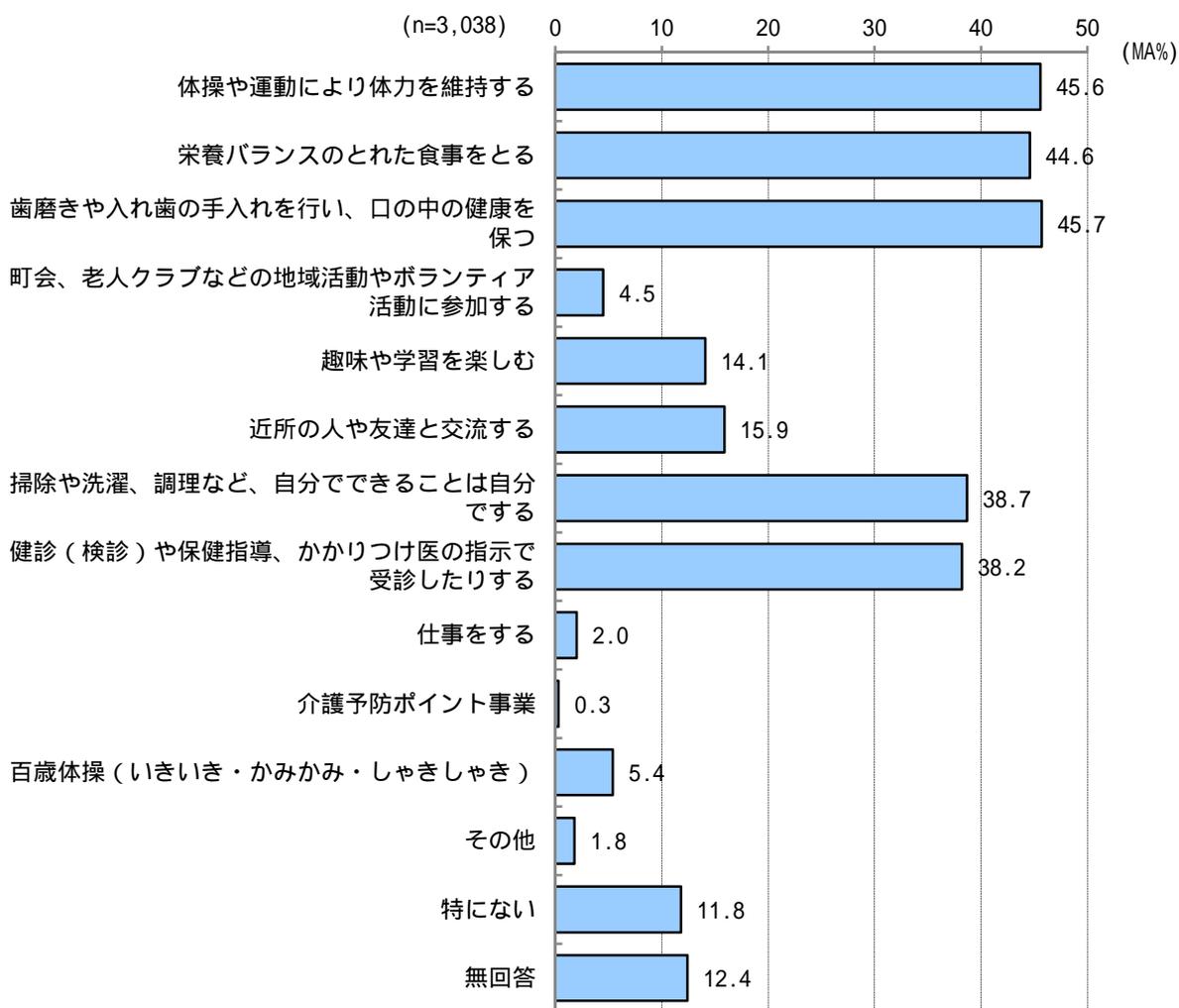
問23 介護予防の取り組み状況

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに をつけてください。(はいいくつでも)

取り組んでいること

介護予防として取り組んでいることについては、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が45.7%で最も多く、次いで「体操や運動により体力を維持する」が45.6%、「栄養バランスのとれた食事をとる」が44.6%となっている。(図23)

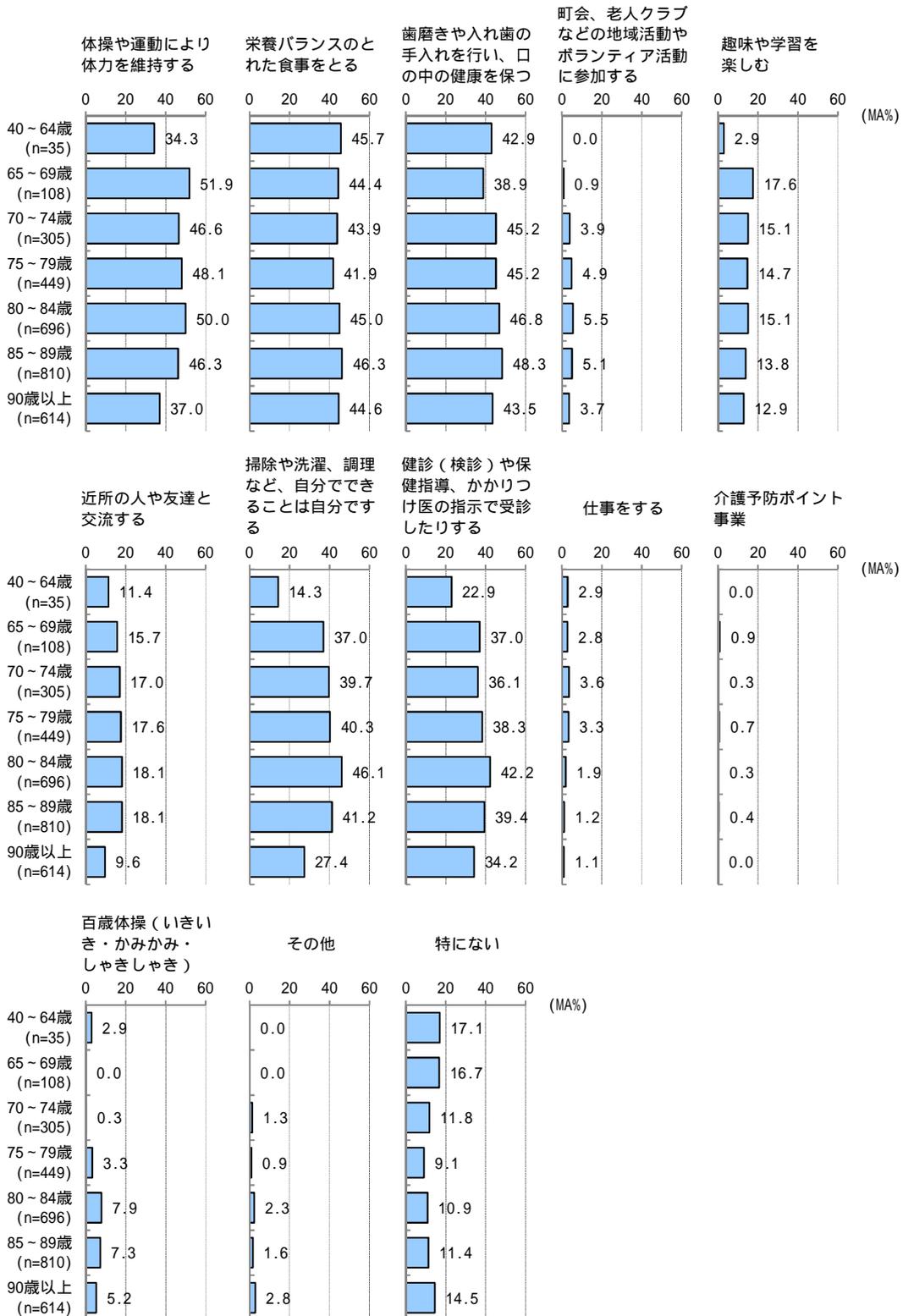
【図23 介護予防の取り組み状況 取り組んでいること】



【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別で見ると、40～64歳と90歳以上では「栄養バランスのとれた食事をする」が最も多く、85～89歳では「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が最も多くなっている。また、65～84歳の年代では「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっている。(図23 -a)

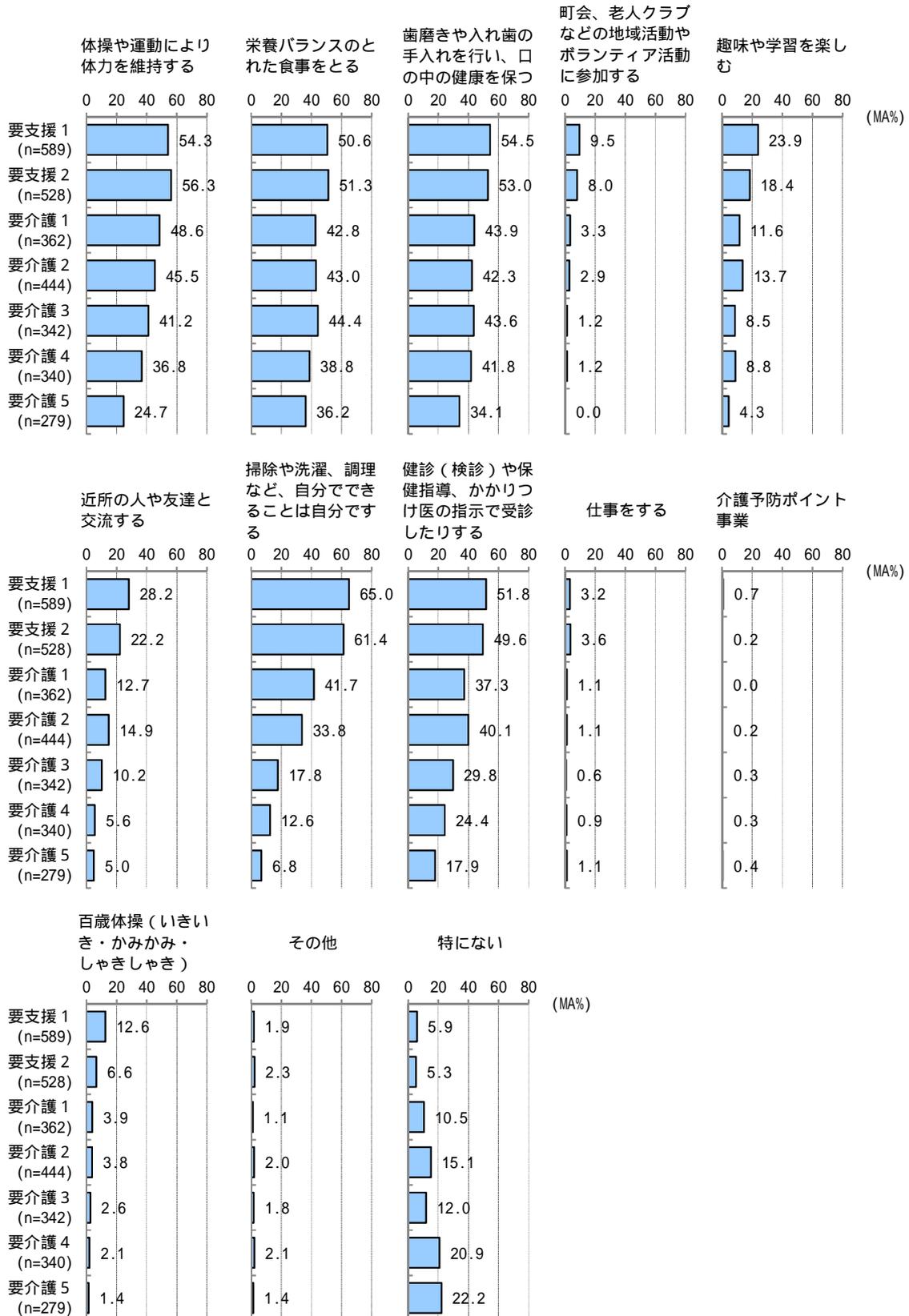
【図23 -a 介護予防の取り組み状況 取り組んでいること(本人の年齢別)】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、いずれの項目も概ね重度になるほど割合が低くなっている。(図23 -b)

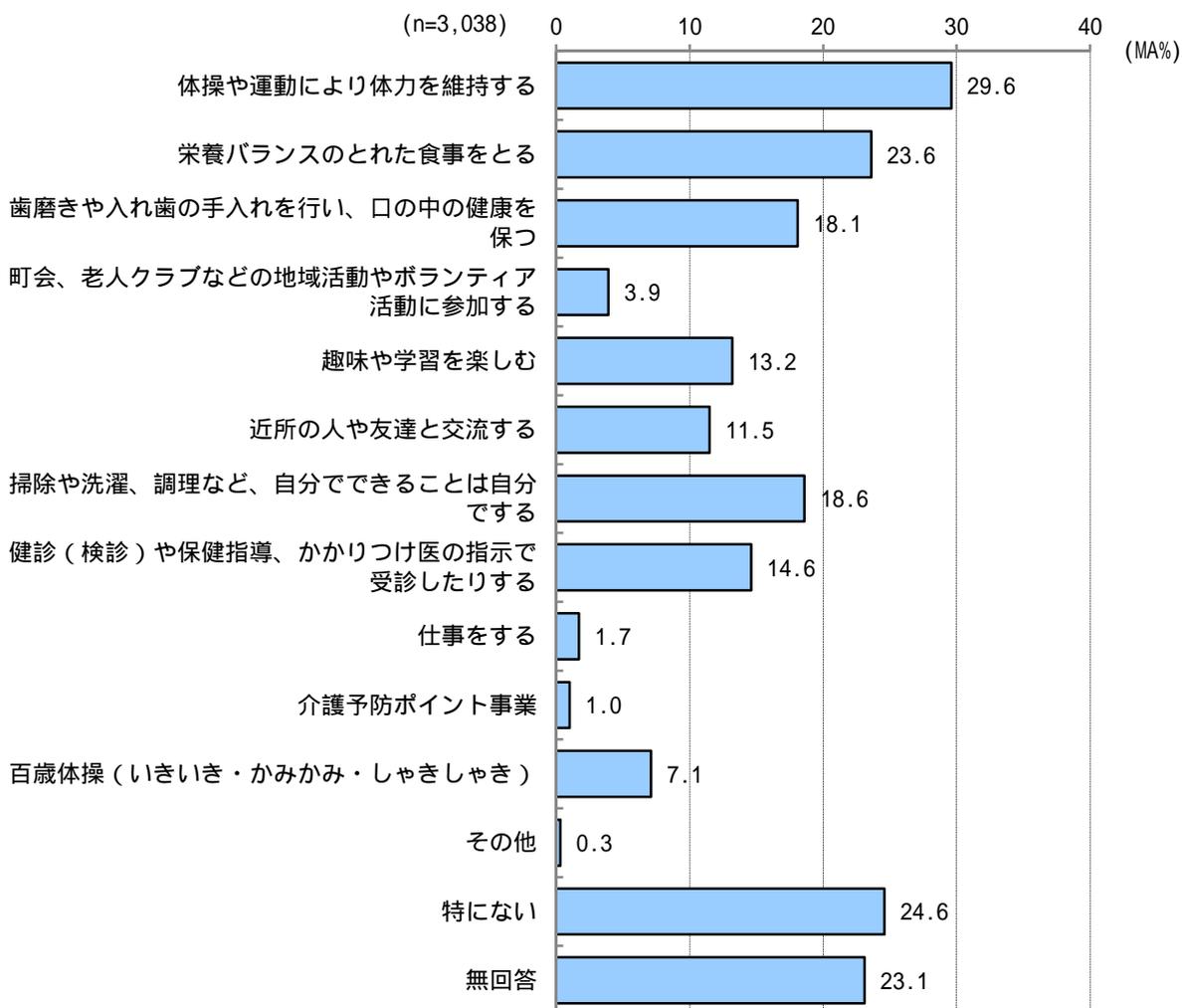
【図23 -b 介護予防の取り組み状況 取り組んでいること(要介護度別)】



取り組んでみたいこと

介護予防として取り組んでみたいことについては、「体操や運動により体力を維持する」が29.6%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が23.6%、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が18.6%となっている。(図23)

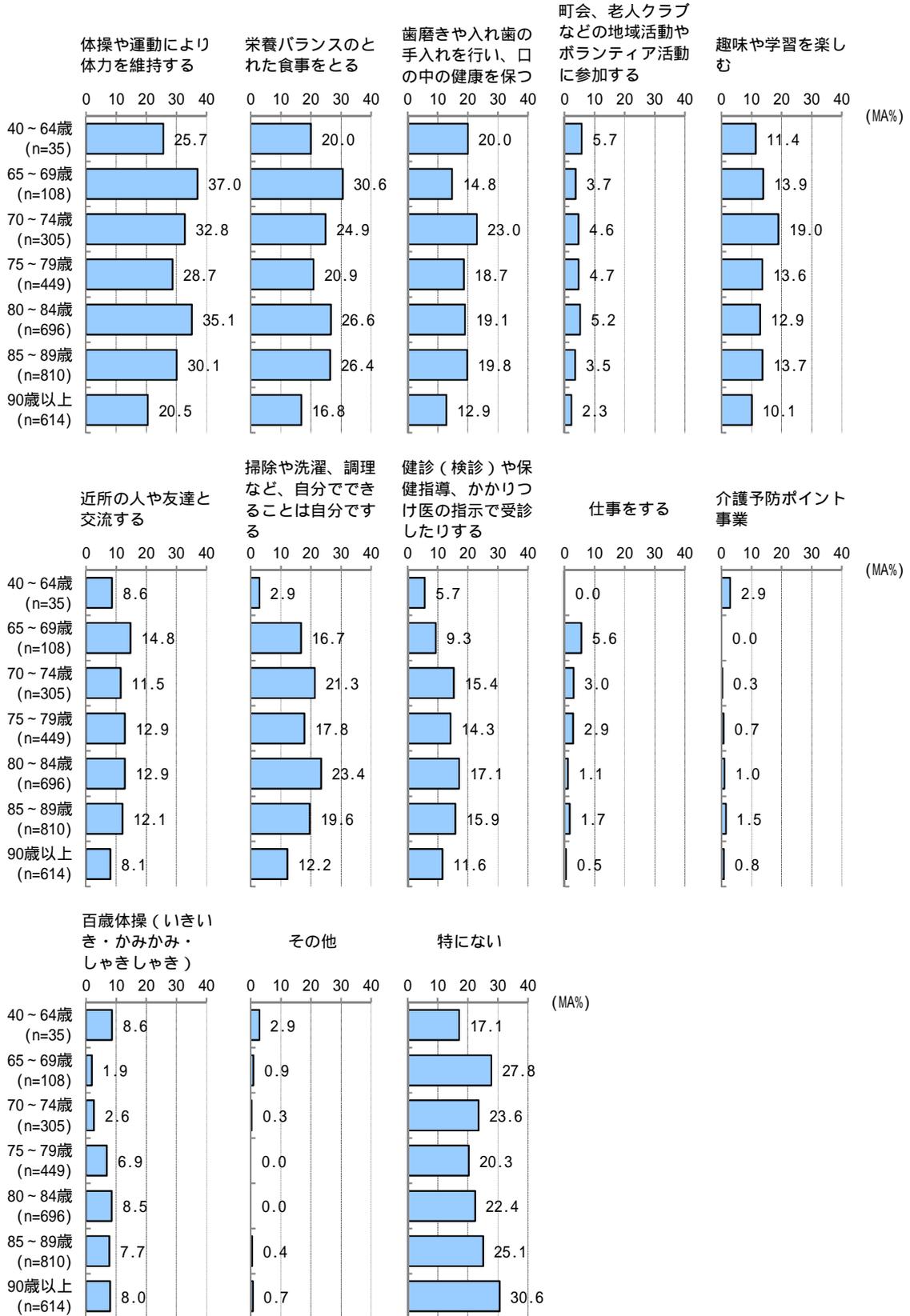
【図23 介護予防の取り組み状況 取り組んでみたいこと】



【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別でみると、年齢にかかわらず「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっている。一方、「特にない」は90歳以上が30.6%で最も高い割合となっている。(図23-a)

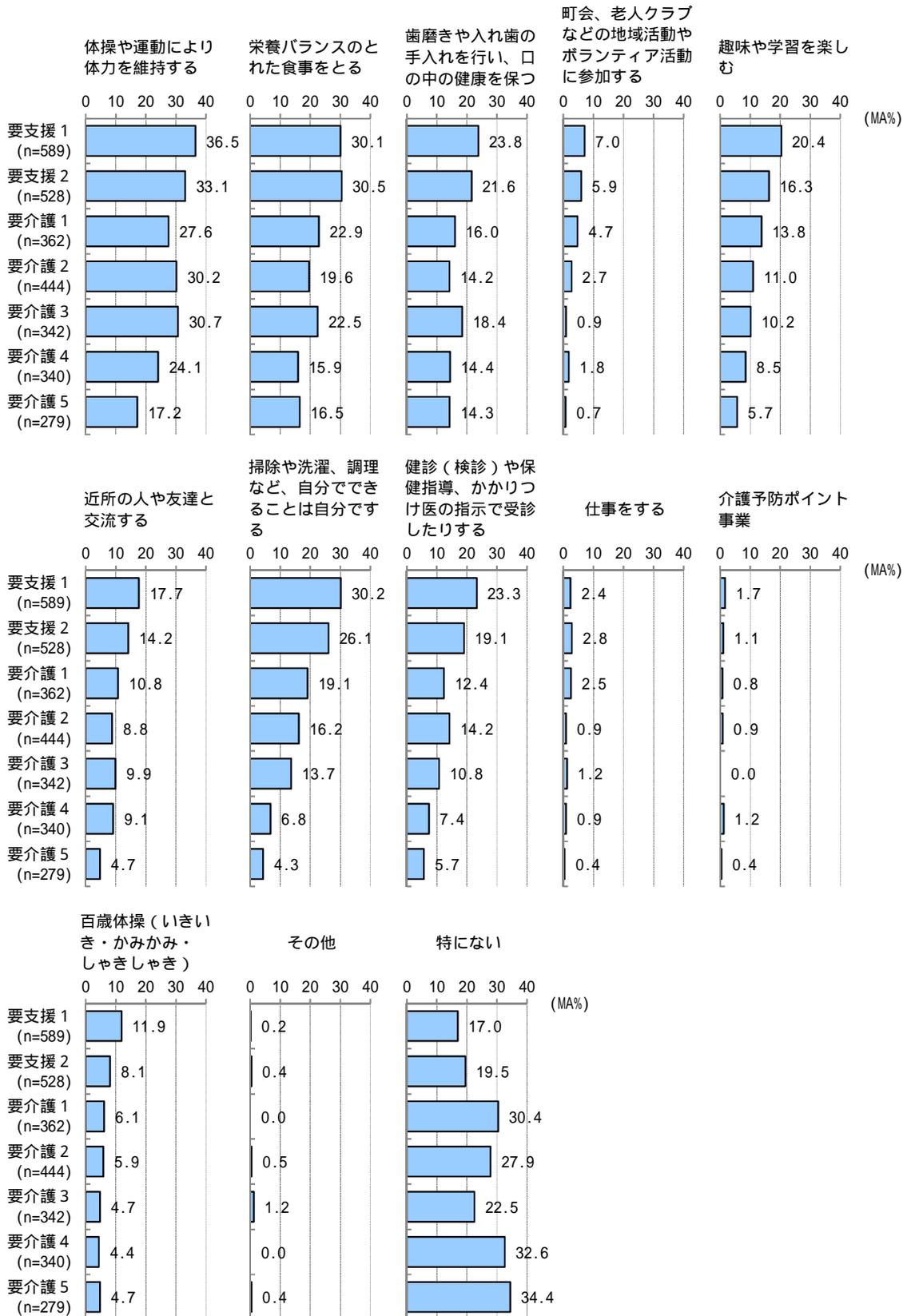
【図23 -a 介護予防の取り組み状況 取り組んでみたいこと(本人の年齢別)】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっている。一方、「特にない」は要介護1・4・5では3割台と高くなっている。(図23 -b)

【図23 -b 介護予防の取り組み状況 取り組んでみたいこと(要介護度別)】



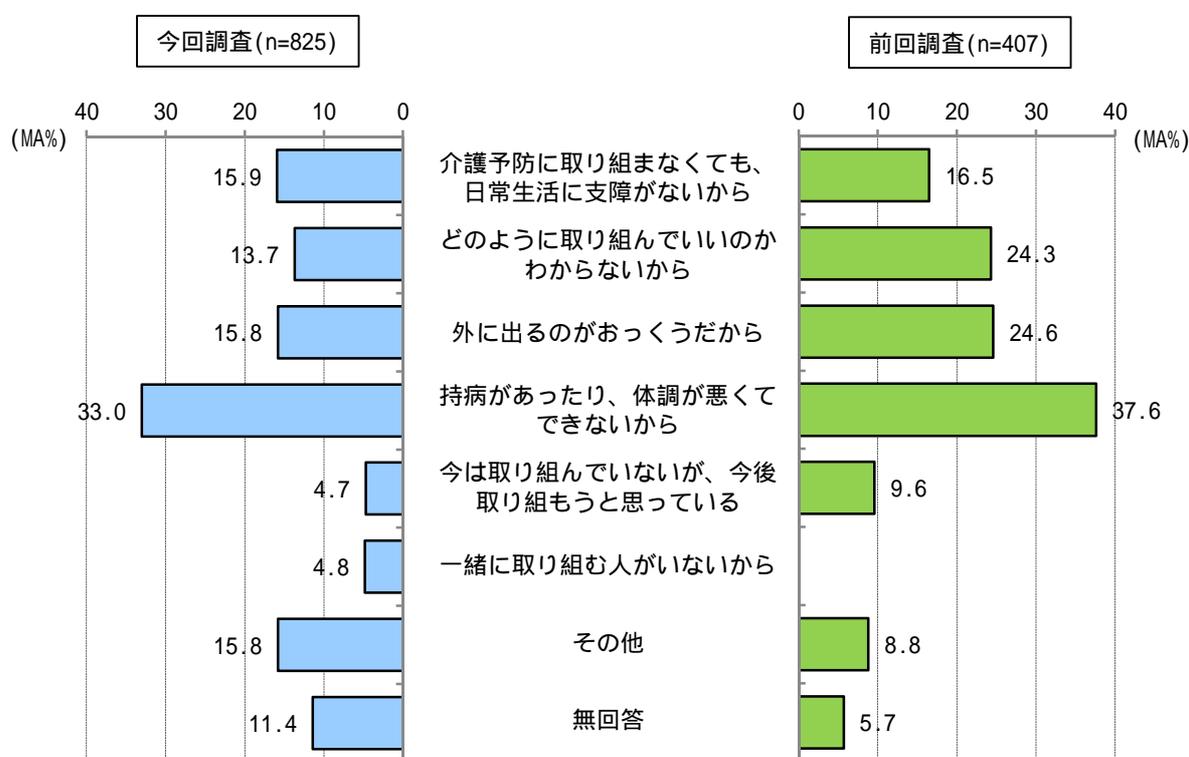
問23-1 介護予防の取り組みに意向がない理由

問23の または で「13 特にない」と回答された方におうかがいします。
 あなたが、介護予防について、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(はいくつでも)

介護予防に、取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が33.0%で最も多く、次いで「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が15.9%、「外に出るのがおっくうだから」が15.8%となっている。

前回調査と比較すると、「どのように取り組んでいいのかわからないから」の割合が10.6ポイント低くなっている。(図23-1)

【図23-1 介護予防の取り組みに意向がない理由（経年比較）】

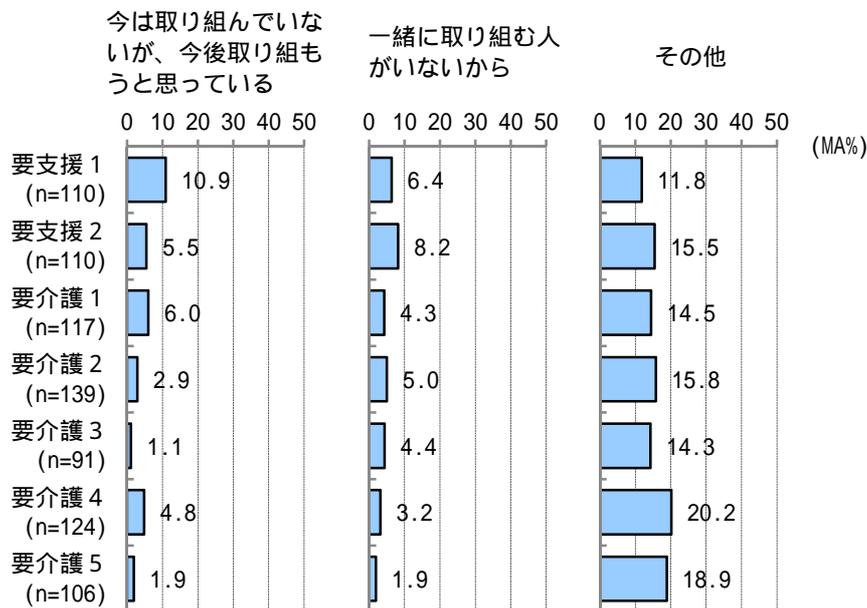
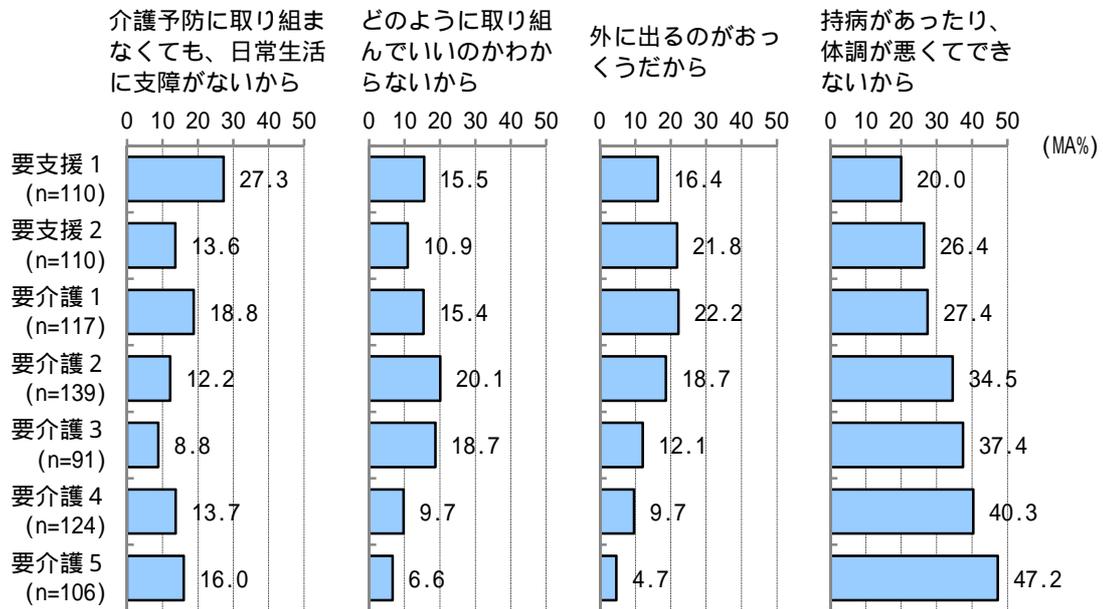


「一緒に取り組む人がいないから」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要支援1では「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が最も多いが、要支援2、要介護1～5では「持病があったり、体調が悪くてできないから」が最も多く、重度になるほど割合が高くなっている。(図23-1-a)

【図23-1-a 介護予防の取り組みに意向がない理由(要介護度別)】



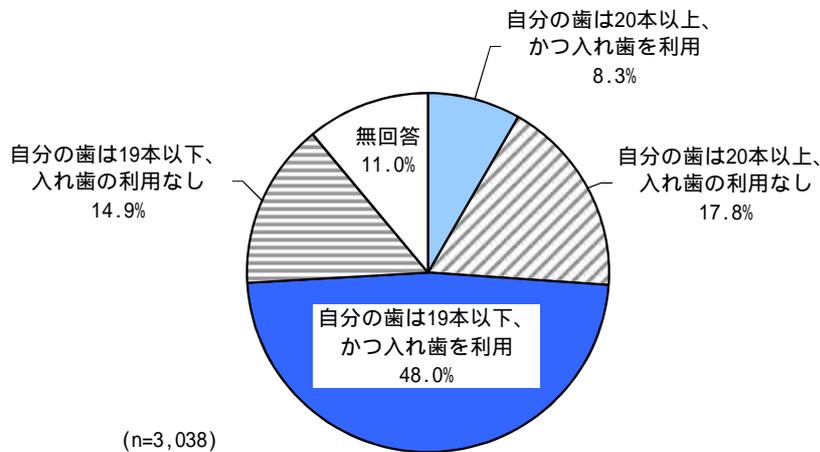
(7) 健康状態

問24 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(はひとつ)

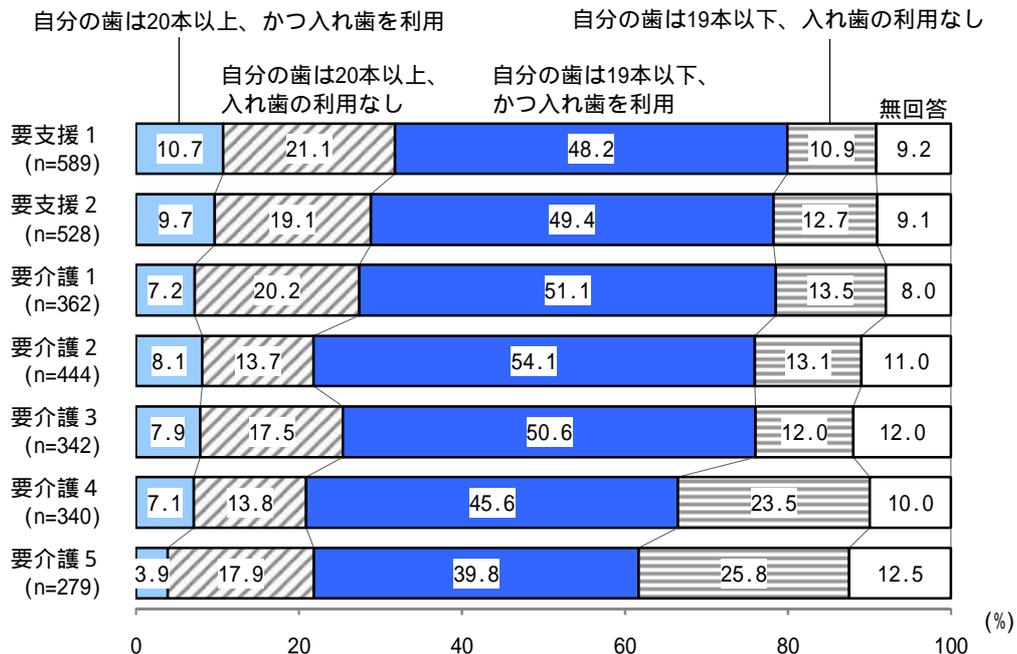
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が48.0%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が17.8%で、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(8.3%)をあわせた『入れ歯を利用』の割合は56.3%となっている。(図24)

【図24 歯の数と入れ歯の利用状況】



要介護度別でみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」はいずれも要支援1が最も高くなっている。(図24-a)

【図24-a 歯の数と入れ歯の利用状況 (要介護度別)】

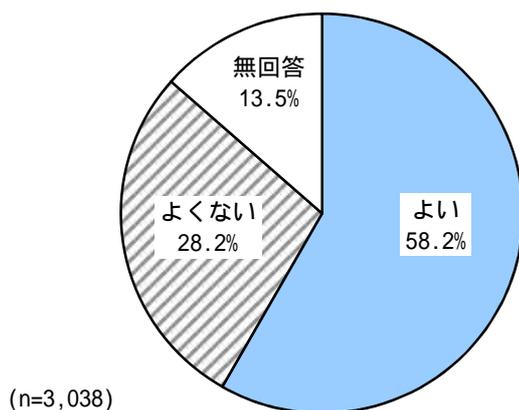


問24-1 かみ合わせ

かみ合わせはよいですか。(はひとつ)

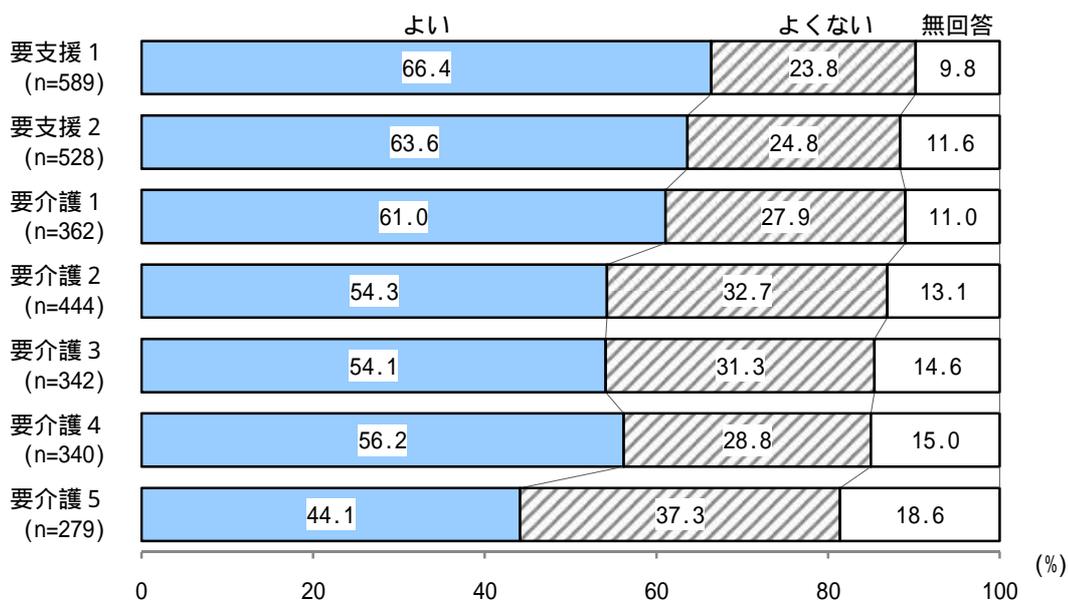
かみ合わせはよいかについては、「よい」が58.2%、「よくない」が28.2%となっている。
(図24-1)

【図24-1 かみ合わせ】



要介護度別で見ると、「よい」の割合は重度になるほど低くなる傾向にあり、要介護5が44.1%で最も低くなっている。(図24-1-a)

【図24-1-a かみ合わせ(要介護度別)】

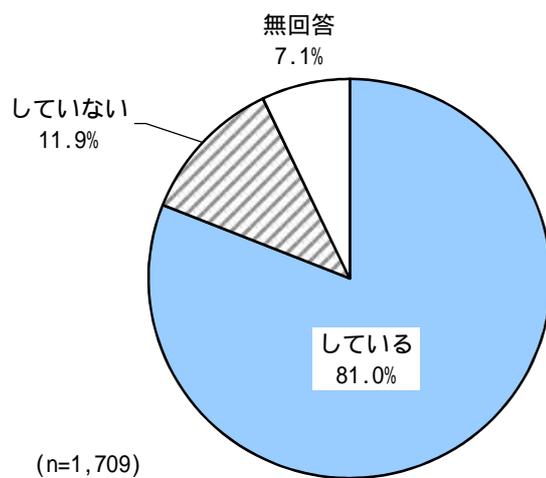


問24-2 入れ歯の手入れ

問24で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします。
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(はひとつ)

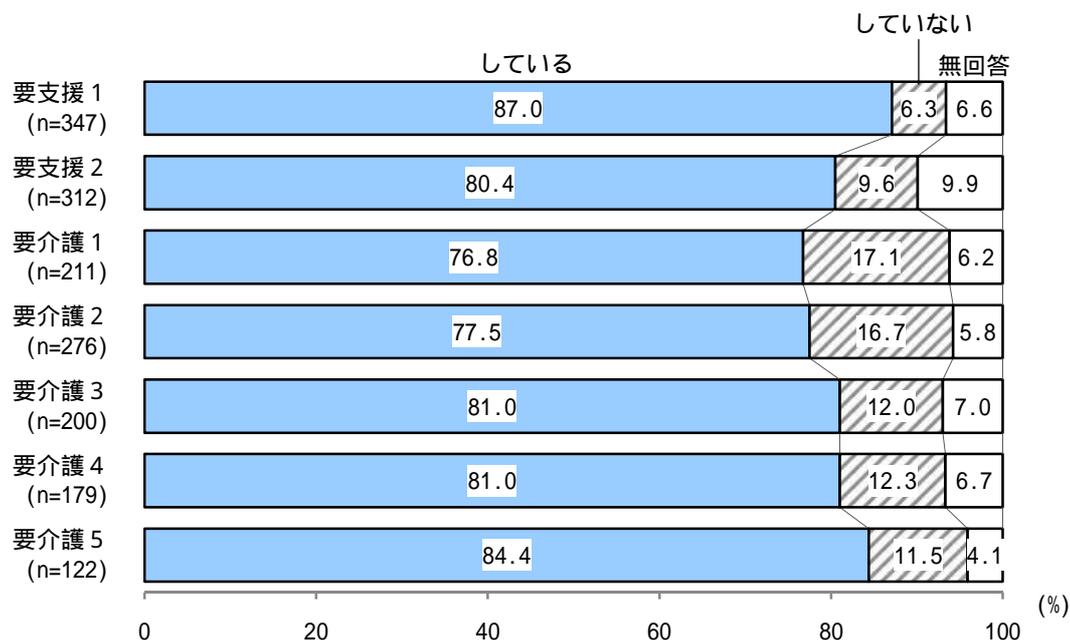
入れ歯を利用していると回答した人に、入れ歯の手入れをしているかについてたずねると、「している」が81.0%で、「していない」が11.9%となっている。(図24-2)

【図24-2 入れ歯の手入れ】



要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「している」が8割前後を占めており、要支援1が87.0%で最も高く、次いで要介護5が84.4%となっている。(図24-2-a)

【図24-2-a 入れ歯の手入れ(要介護度別)】

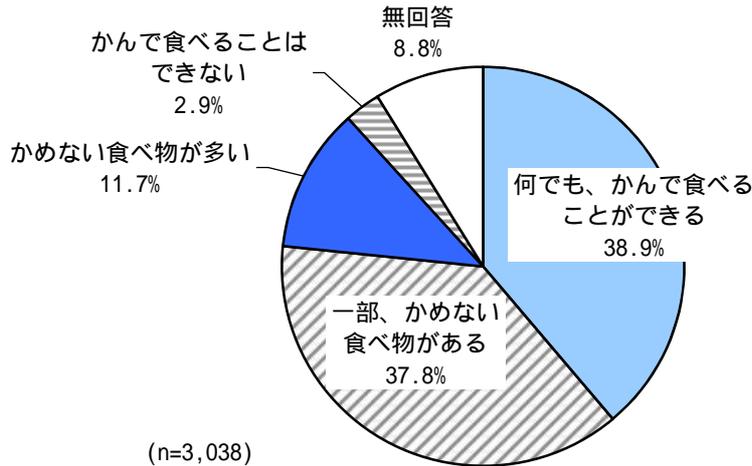


問25 かねで食べることの可否

あなたがかねで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(はひとつ)

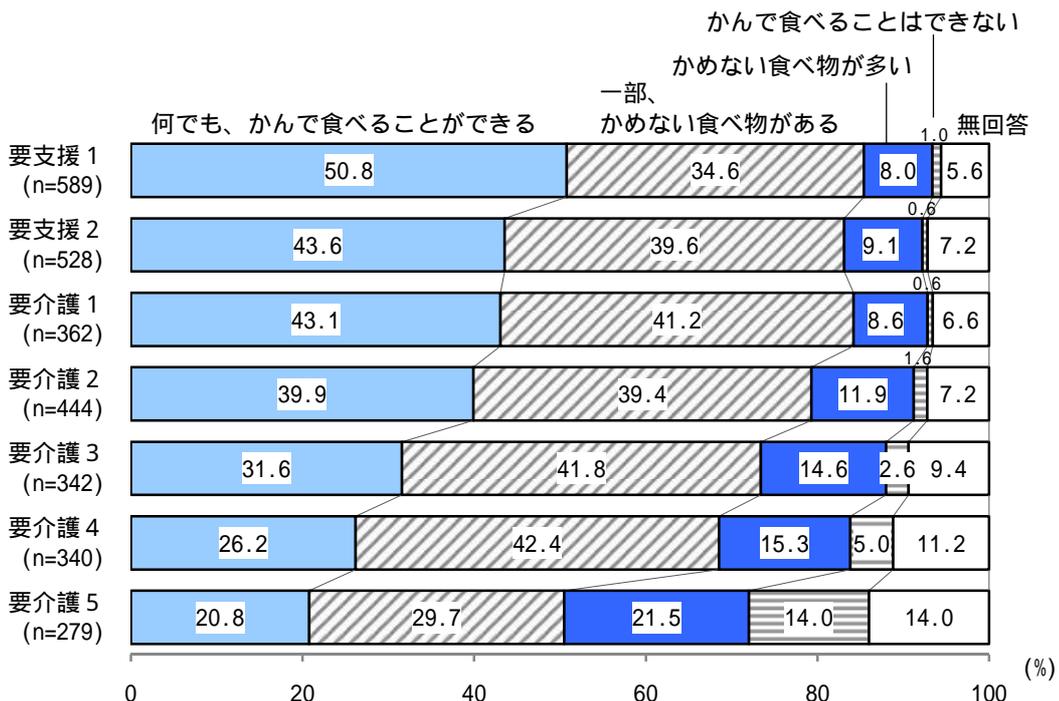
かねで食べる時の状態については、「何でも、かねで食べることができる」が38.9%で最も多く、次いで「一部、かめない食べ物がある」が37.8%、「かめない食べ物が多い」が11.7%となっている。(図25)

【図25 かねで食べることの可否】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1・2では「何でも、かねで食べることができる」が最も多くなっているが、要介護3以上では「一部、かめない食べ物がある」が最も多くなっている。(図25-a)

【図25-a かねで食べることの可否 (要介護度別)】

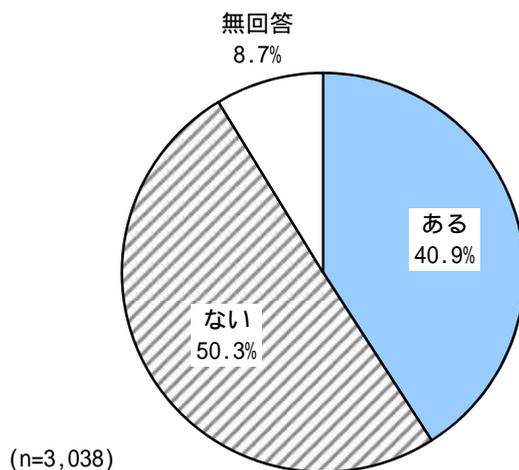


問26 お茶や汁物でむせること

お茶や汁物等でむせることはありますか。(はひとつ)

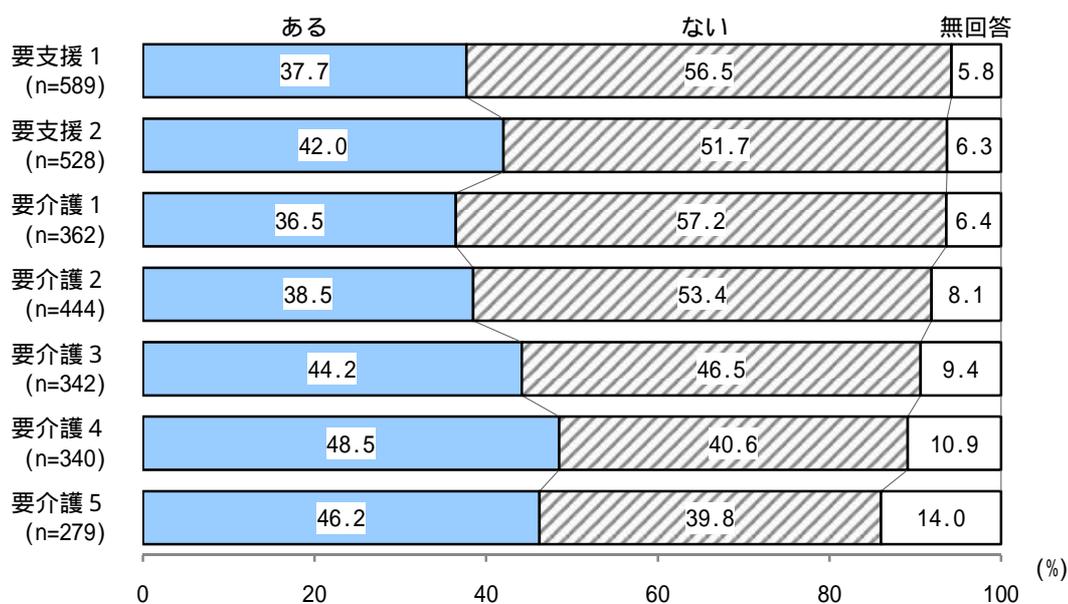
お茶や汁物等でむせることは、「ある」が40.9%、「ない」が50.3%となっている。(図26)

【図26 お茶や汁物でむせること】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1～3では「ない」のほうが多くなっているが、要介護4・5では「ある」のほうが多くなっている。(図26-a)

【図26-a お茶や汁物でむせること(要介護度別)】

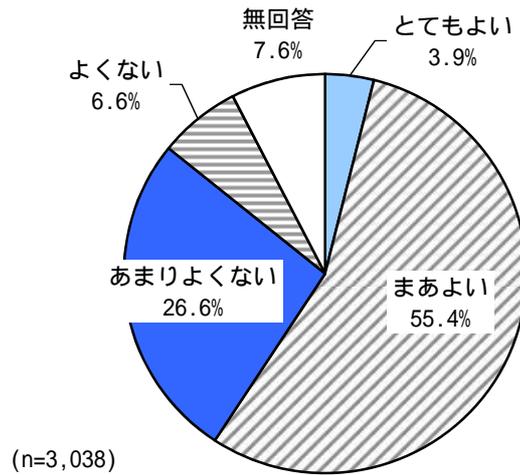


問27 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(はひとつ)

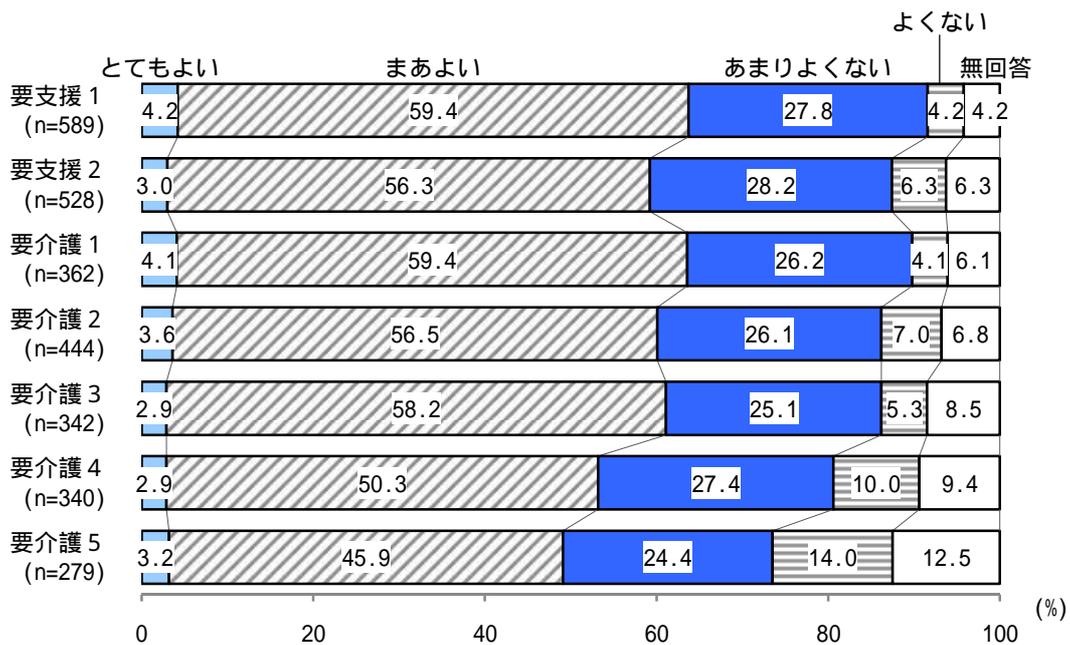
現在の健康状態は、「まあよい」が55.4%で最も多く、次いで「あまりよくない」が26.6%、「よくない」が6.6%となっており、「とてもよい」(3.9%)と「まあよい」をあわせた『よい』割合は59.3%となっている。(図27)

【図27 健康状態】



要介護度別でみると、『よい』割合は要支援1が63.6%で最も高く、次いで要介護1が63.5%となっている。(図27-a)

【図27-a 健康状態 (要介護度別)】



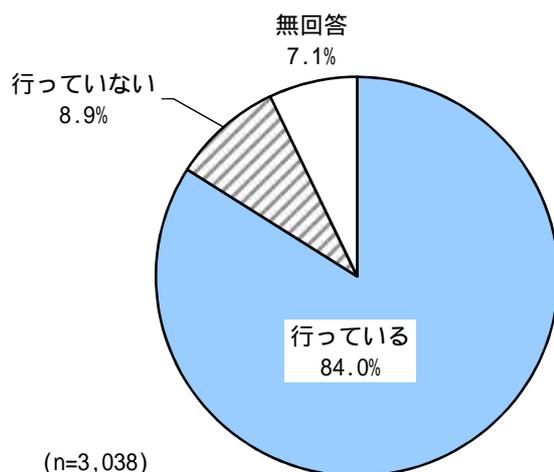
(8) 新型コロナウイルス感染症対策

問28 新型コロナウイルス感染症対策の実施

新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を行っていますか。(はひとつ)

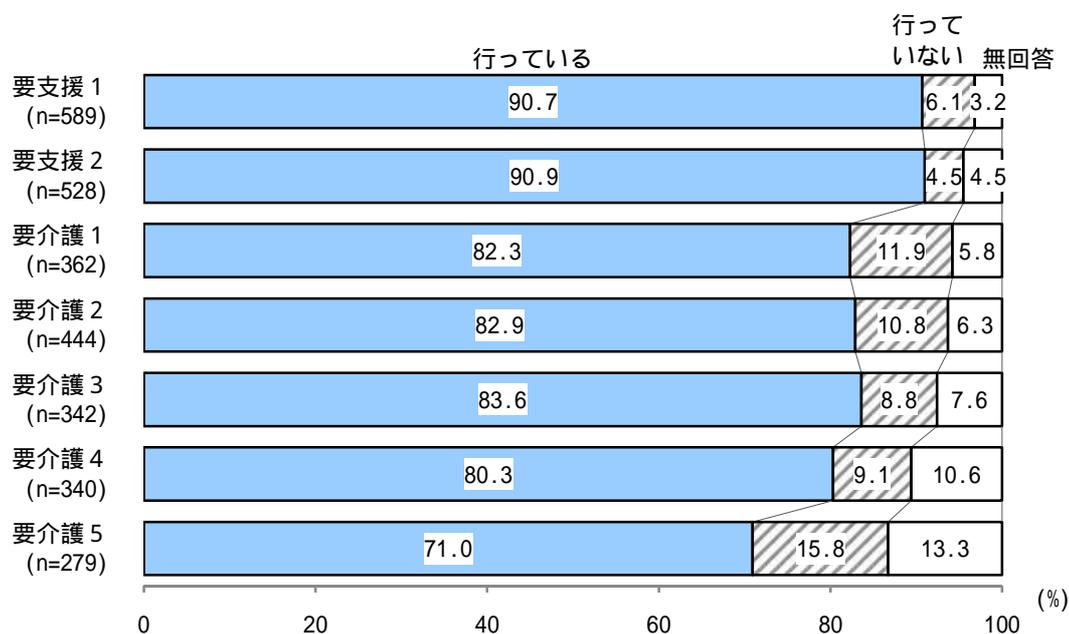
新型コロナウイルス感染症に対する感染対策は、「行っている」が84.0%、「行っていない」が8.9%となっている。(図28)

【図28 新型コロナウイルス感染症対策の実施】



要介護度別でみると、「行っている」は要支援1・2で9割台と高く、要介護5が71.0%で最も低くなっている。(図28-a)

【図28-a 新型コロナウイルス感染症対策の実施(要介護度別)】

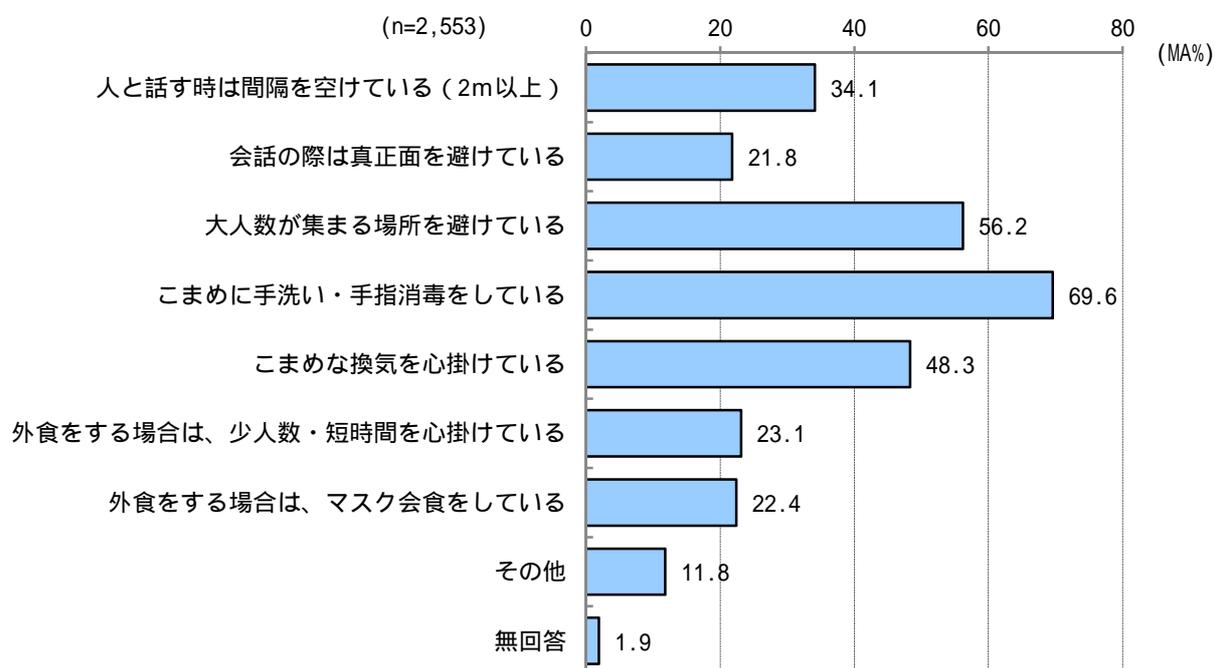


問28-1 行っている感染症対策

問28で「1 行っている」と回答された方におうかがいします。
 あなたが行っている感染対策はどのようなものですか。(はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症対策を行っていると回答した人に、行っている感染症対策についてたずねると、「こまめに手洗い・手指消毒をしている」が69.6%で最も多く、次いで「大人数が集まる場所を避けている」が56.2%、「こまめな換気を心掛けている」が48.3%となっている。(図28-1)

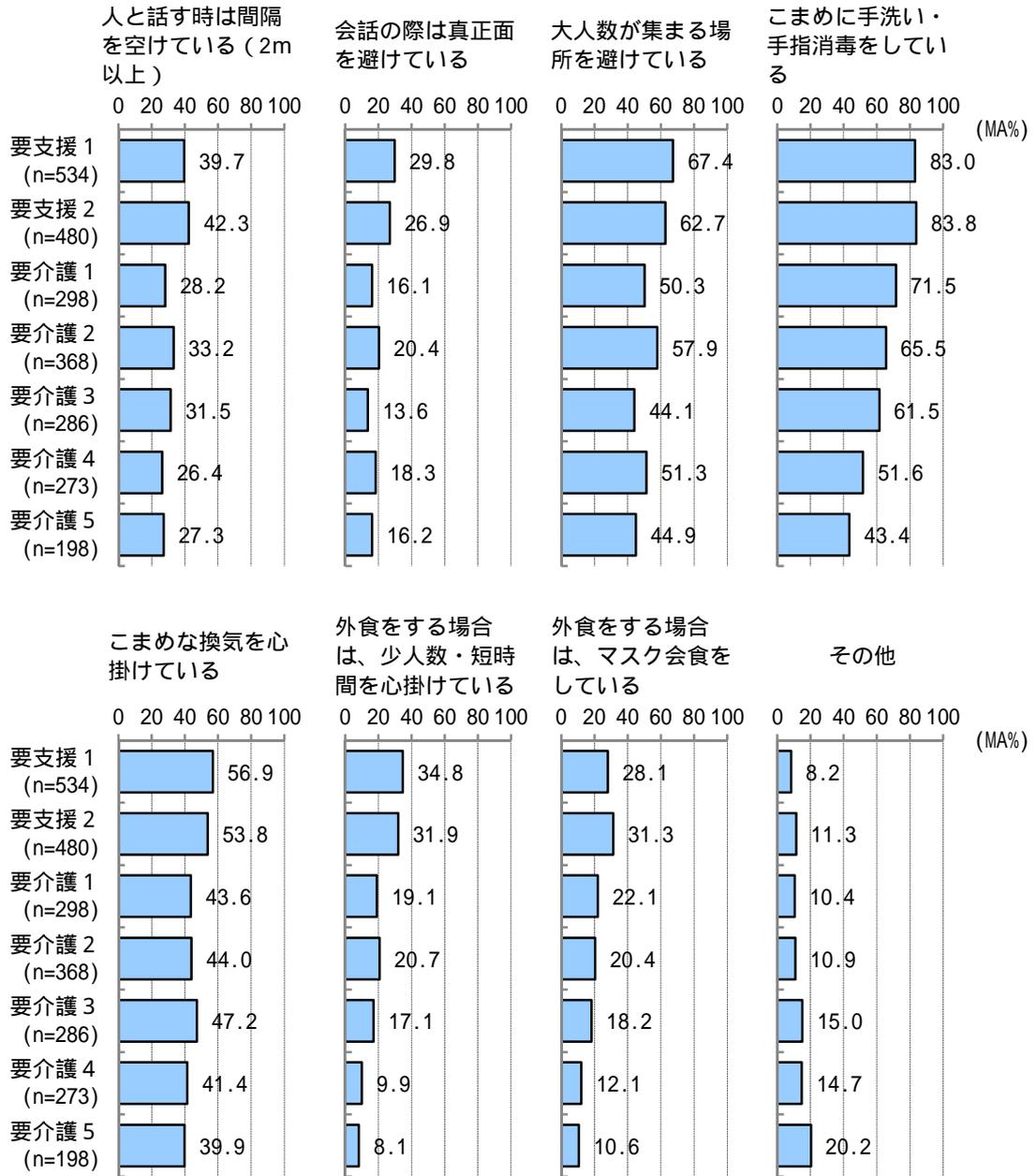
【図28-1 行っている感染症対策】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、いずれの項目も要支援1・2で割合が高く、概ね重度になるほど割合が低くなる傾向にある。(図28-1-a)

【図28-1-a 行っている感染症対策（要介護度別）】

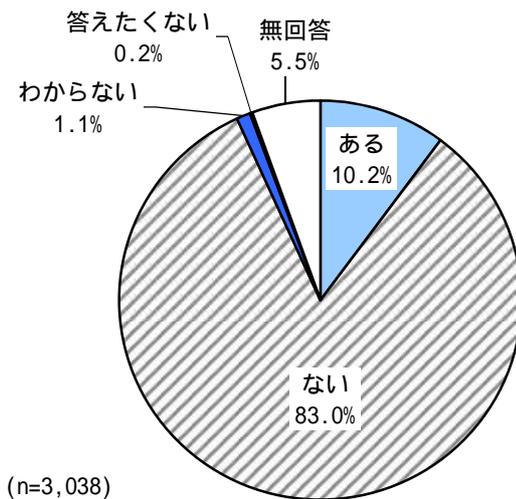


問29 新型コロナウイルス感染症に感染した経験

あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染した経験はありますか。
 (本調査は個人を特定するものではありません)(はひとつ)

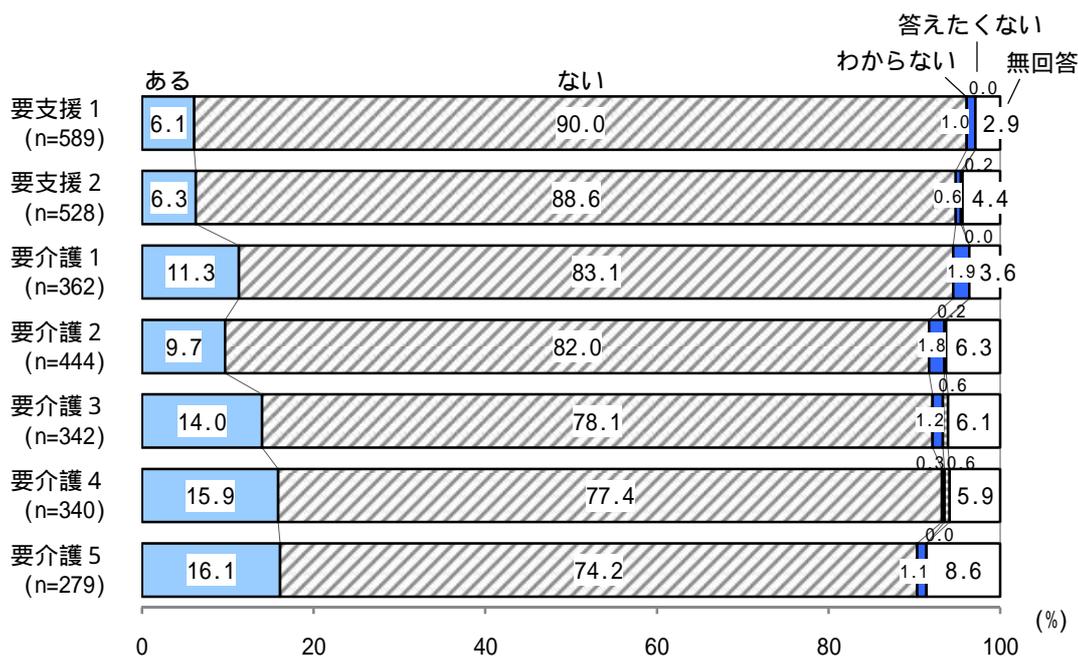
新型コロナウイルス感染症に感染した経験については、「ある」が10.2%、「ない」が83.0%となっている。(図29)

【図29 新型コロナウイルス感染症に感染した経験】



要介護度別でみると、「ある」は要介護5が16.1%で最も高く、次いで要介護4が15.9%となっている。(図29-a)

【図29-a 新型コロナウイルス感染症に感染した経験(要介護度別)】



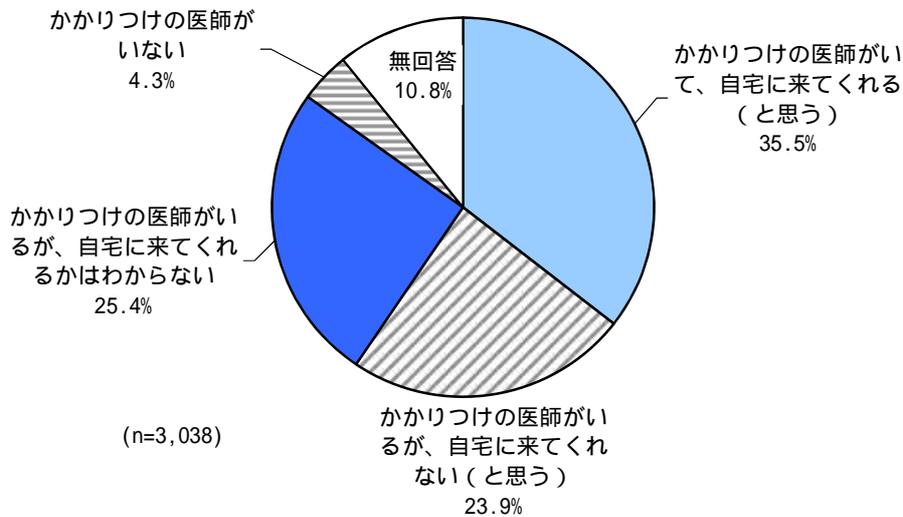
(9) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

問30 かかりつけの医師の訪問診療の有無

かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(はひとつ)

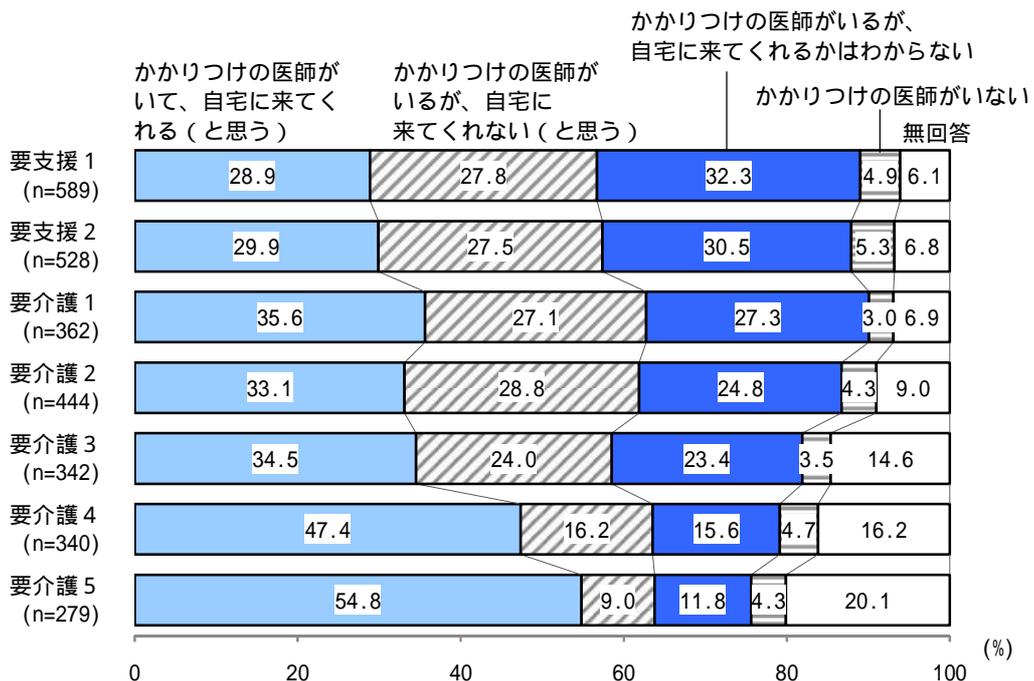
通院できなくなった時のかかりつけの医師の訪問診療については、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」が35.5%で最も多く、次いで「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が25.4%、「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が23.9%となっている。(図30)

【図30 かかりつけの医師の訪問診療の有無】



要介護度別でみると、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」は要介護5が54.8%で最も高く、次いで要介護4が47.4%となっている。(図30-a)

【図30-a かかりつけの医師の訪問診療の有無(要介護度別)】

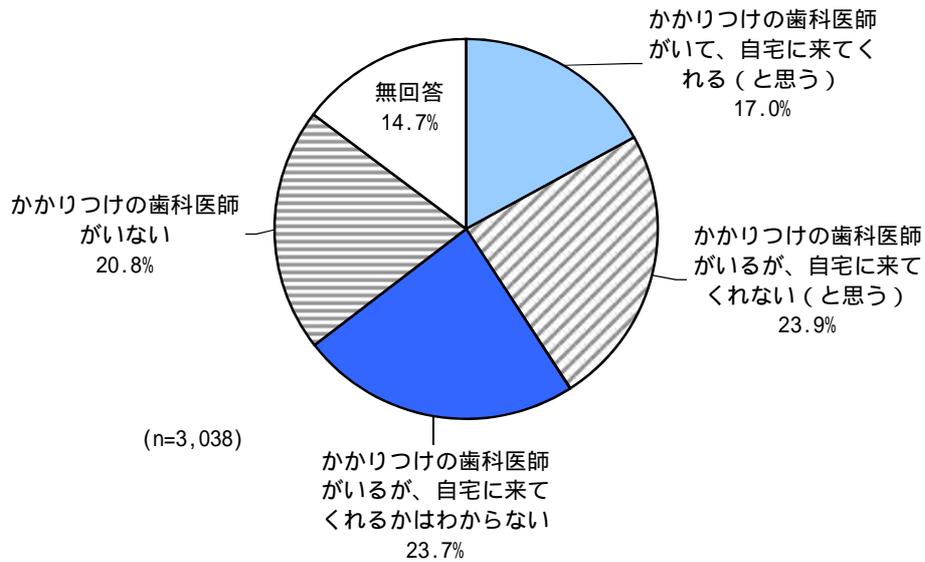


問31 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。
(はひとつ)

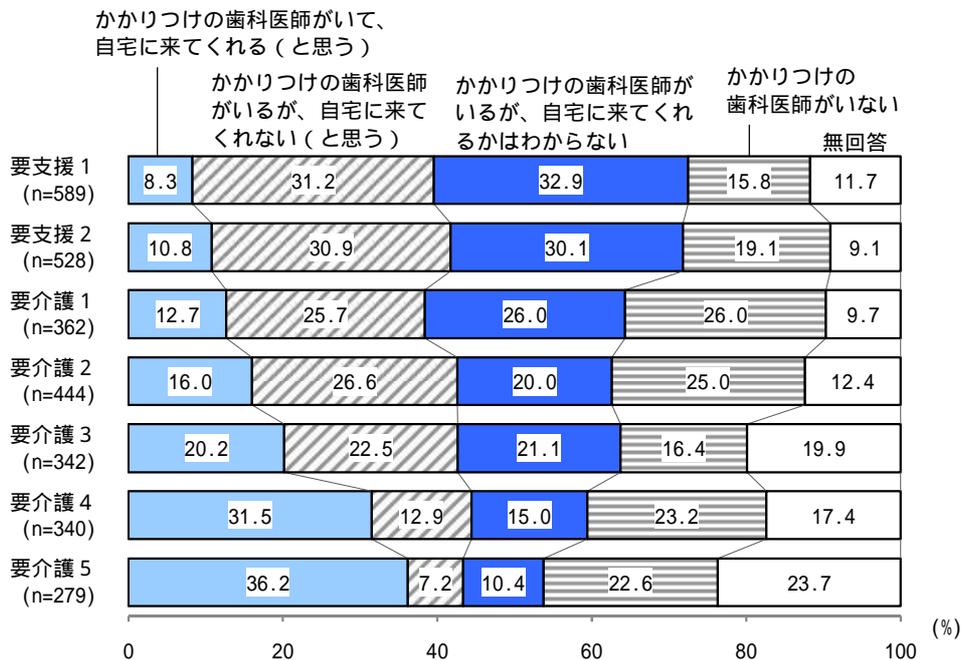
通院できなくなった時のかかりつけの歯科医師の訪問診療については、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が23.9%で最も多く、次いで「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が23.7%、「かかりつけの歯科医師がいない」が20.8%となっている。(図31)

【図31 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無】



要介護度別でみると、「かかりつけの歯科医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」の割合は重度になるほど高くなり、要介護5が36.2%で最も高くなっている。(図31-a)

【図31-a かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無(要介護度別)】

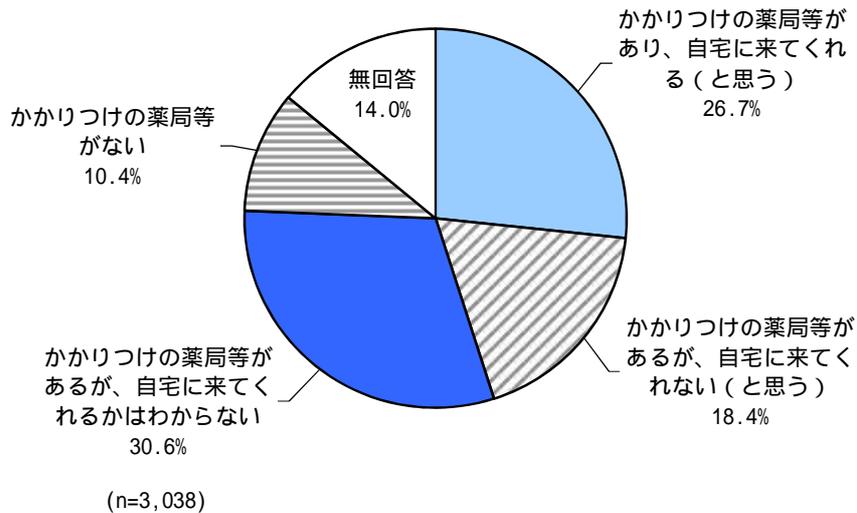


問32 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無

かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(はひとつ)

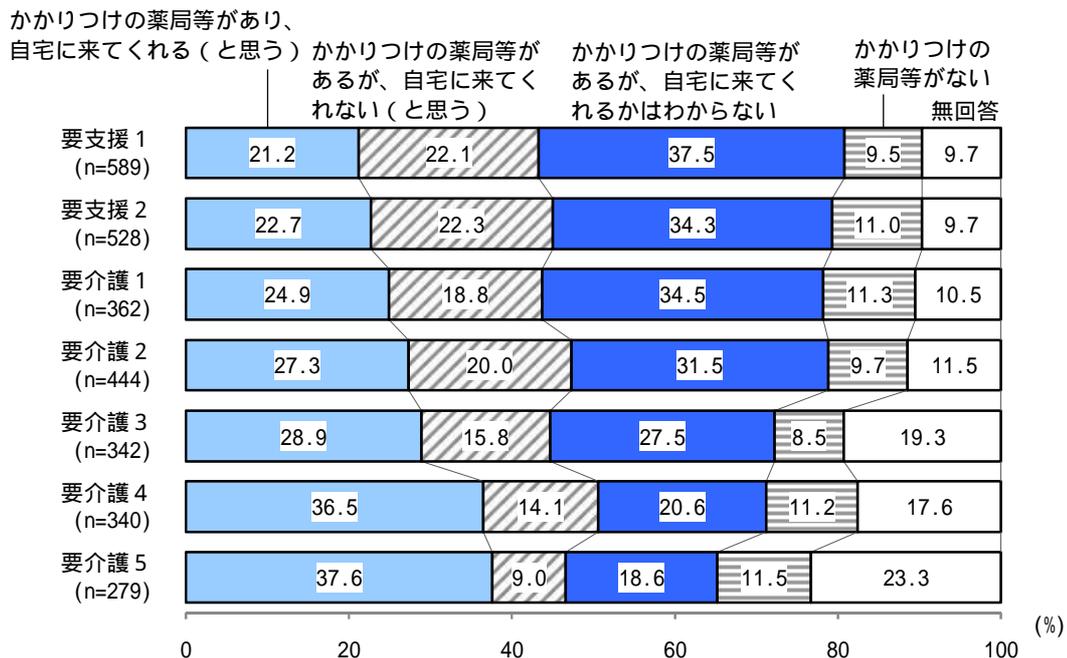
通院できなくなった時のかかりつけの薬剤師・薬局の訪問については、「かかりつけの薬局等があるが、自宅に来てくれるかはわからない」が30.6%で最も多く、次いで「かかりつけの薬局等があり、自宅に来てくれる(と思う)」が26.7%、「かかりつけの薬局等があるが、自宅に来てくれない(と思う)」が18.4%となっている。(図32)

【図32 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無】



要介護度別でみると、「かかりつけの薬局等があり、自宅に来てくれる(と思う)」の割合は重度になるほど高くなり、要介護5が37.6%で最も高くなっている。(図32-a)

【図32-a かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無(要介護度別)】



(10) 地域活動

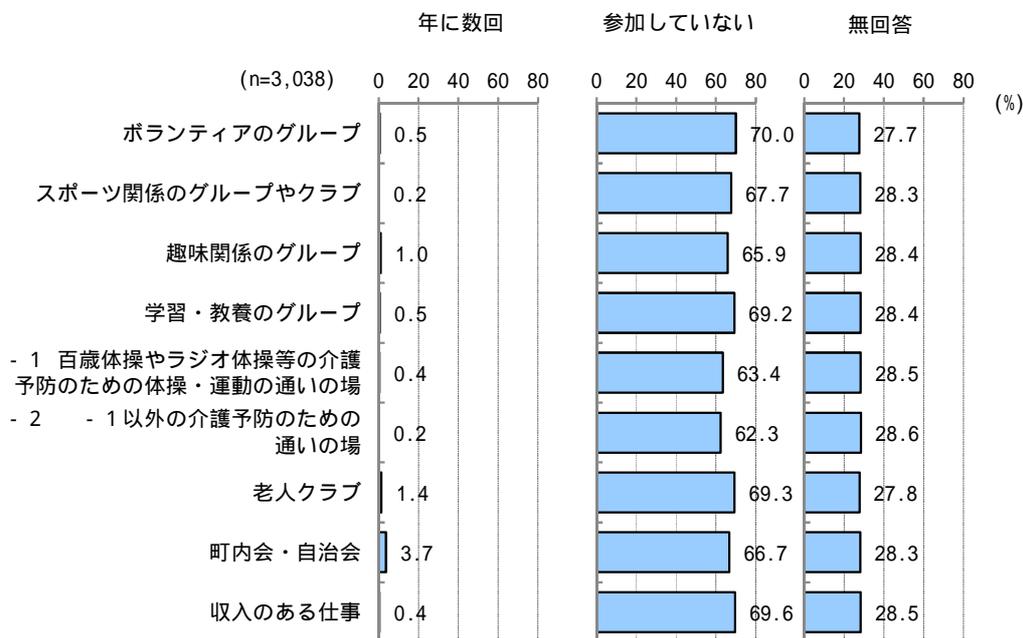
問33 地域の会・グループ等への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(はひとつ)
 ~ それぞれに回答してください。(それぞれ はひとつ)

地域の会・グループ等への参加頻度についてたずねた。

いずれの会・グループ等も「参加していない」が過半数を占めている。参加している会・グループ等は、“ - 1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場 ”では「週1回」が3.0%で最も多く、“ - 2 - 1以外の介護予防のための通いの場 ”では「週2～3回」が3.7%で最も多くなっている。(図33)

【図33 地域の会・グループ等への参加頻度】

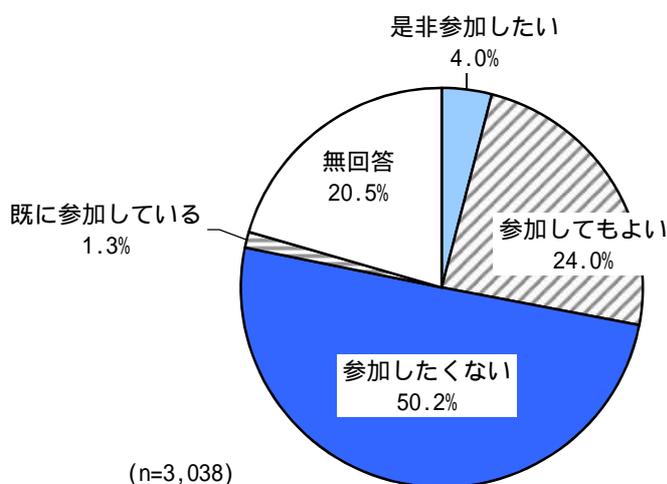


問33-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(はひとつ)

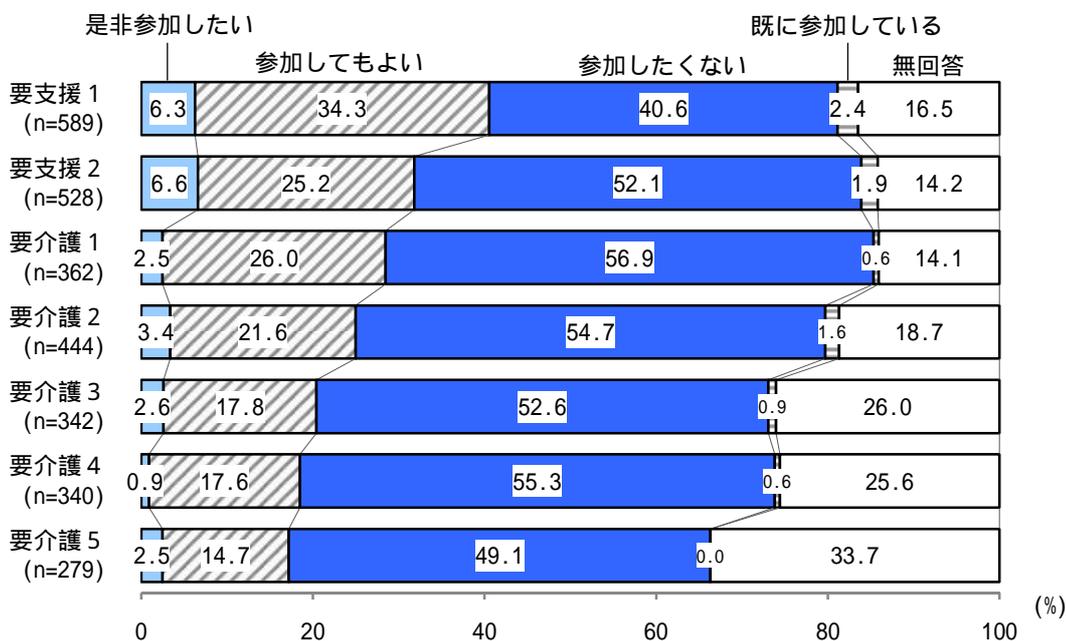
地域づくり活動に参加者としての参加意向については、「参加したくない」が50.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が24.0%、「是非参加したい」が4.0%となっている。(図33-1)

【図33-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向】



要介護度別でみると、「参加したくない」は要介護1が56.9%で最も高く、次いで要介護4が55.3%となっている。(図33-1-a)

【図33-1-a 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (要介護度別)】

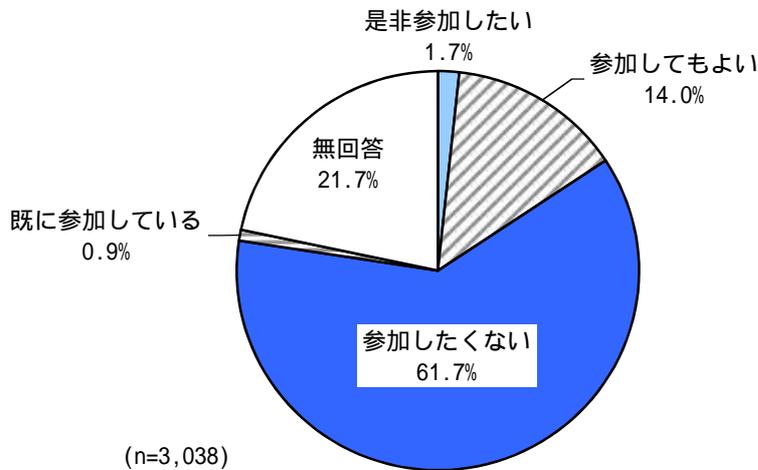


問33-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（はひとつ）

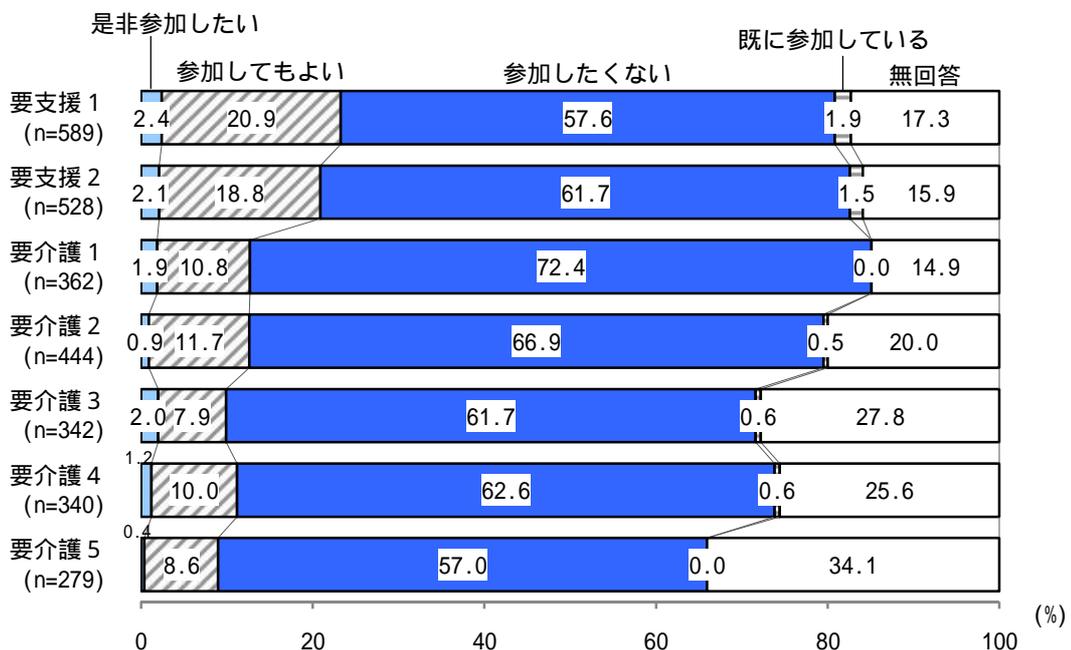
地域づくり活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「参加したくない」が61.7%で最も多く、次いで「参加してもよい」が14.0%、「是非参加したい」が1.7%となっている。（図33-2）

【図33-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向】



要介護度別でみると、「参加したくない」は要介護1が72.4%で最も高い。「是非参加したい」、「参加してもよい」、「既に参加している」はいずれも要支援1で最も高くなっている。（図33-2-a）

【図33-2-a 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（要介護度別）】



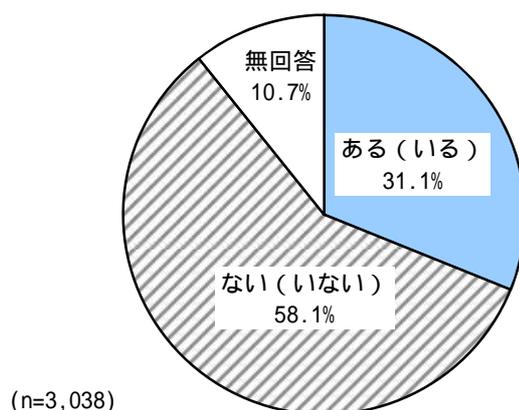
(11) 認知症

問34 認知症状の有無

認知症の症状（物忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（はひとつ）

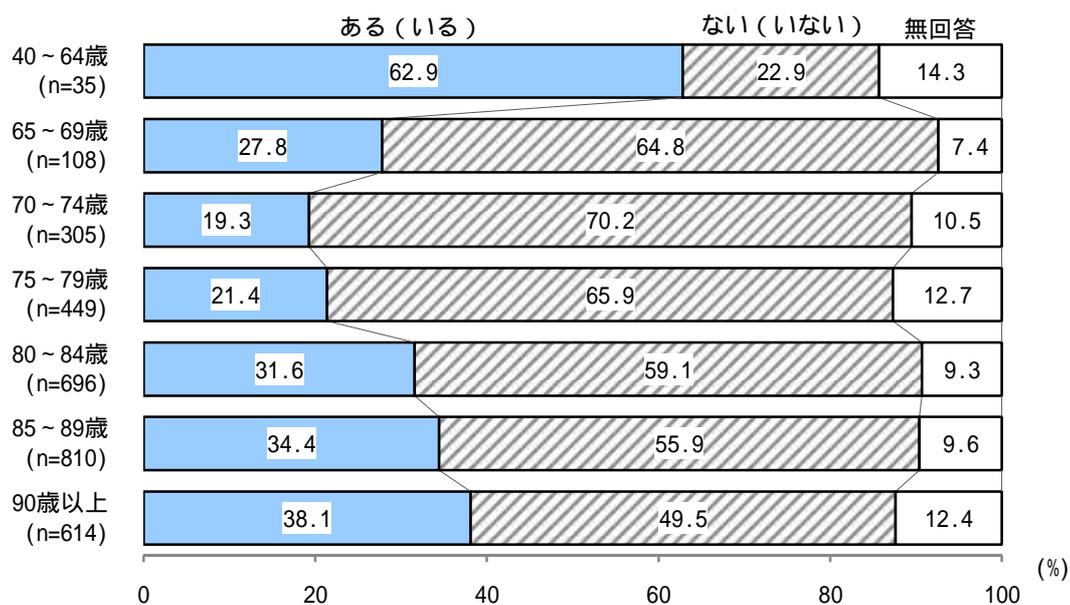
認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人の有無については、「ある（いる）」が31.1%、「ない（いない）」が58.1%となっている。（図34）

【図34 認知症状の有無】



本人の年齢別でみると、「ある（いる）」は40～64歳が62.9%で最も高く、次いで90歳以上が38.1%となっている。（図34-a）

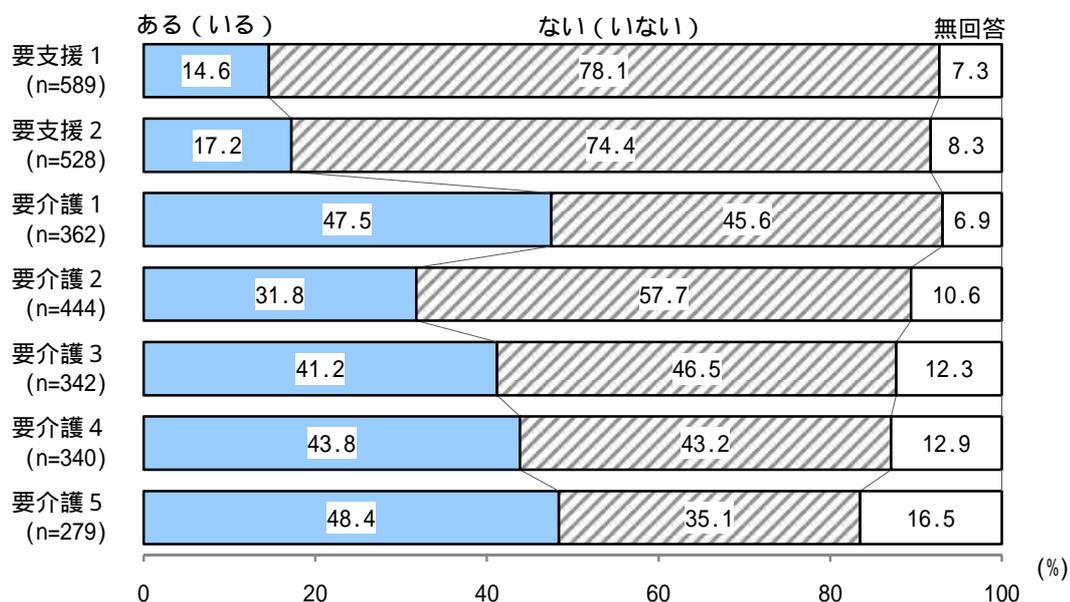
【図34-a 認知症状の有無（本人の年齢別）】



【介護保険サービス利用者調査】

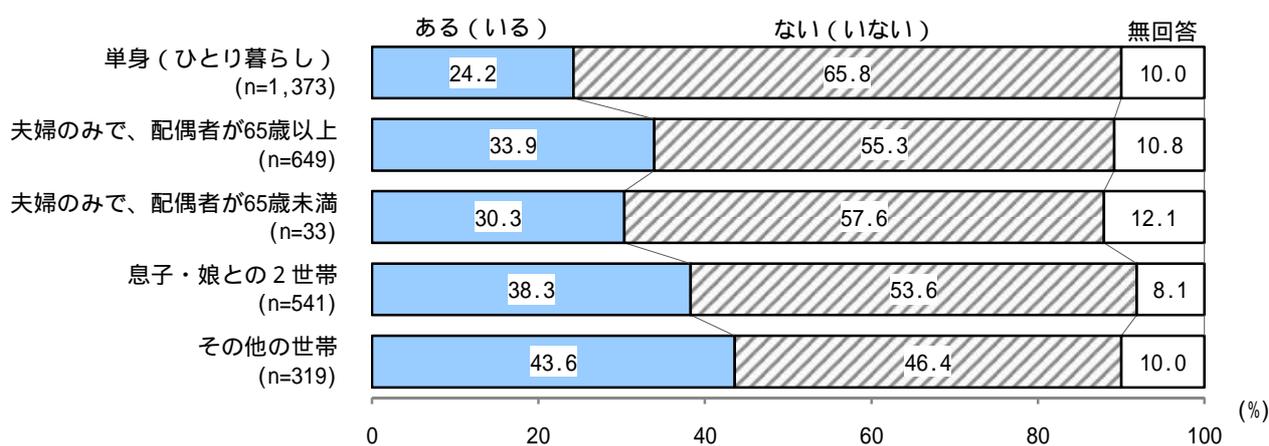
要介護度別で見ると、「ある(いる)」は要介護5が48.4%で最も高く、次いで要介護1が47.5%となっている。(図34-b)

【図34-b 認知症状の有無(要介護度別)】



世帯状況別で見ると、「ある(いる)」はその他の世帯が43.6%で最も高く、次いで息子・娘との2世帯が38.3%となっている。(図34-c)

【図34-c 認知症状の有無(世帯状況別)】

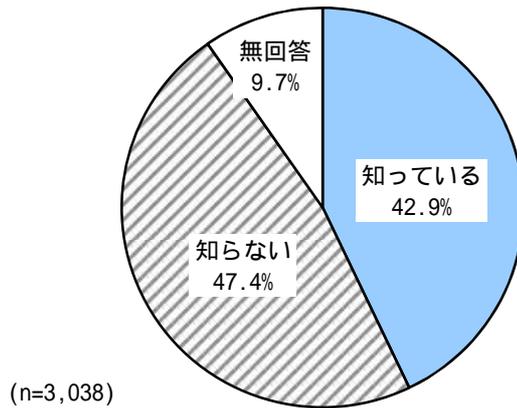


問34-1 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(はひとつ)

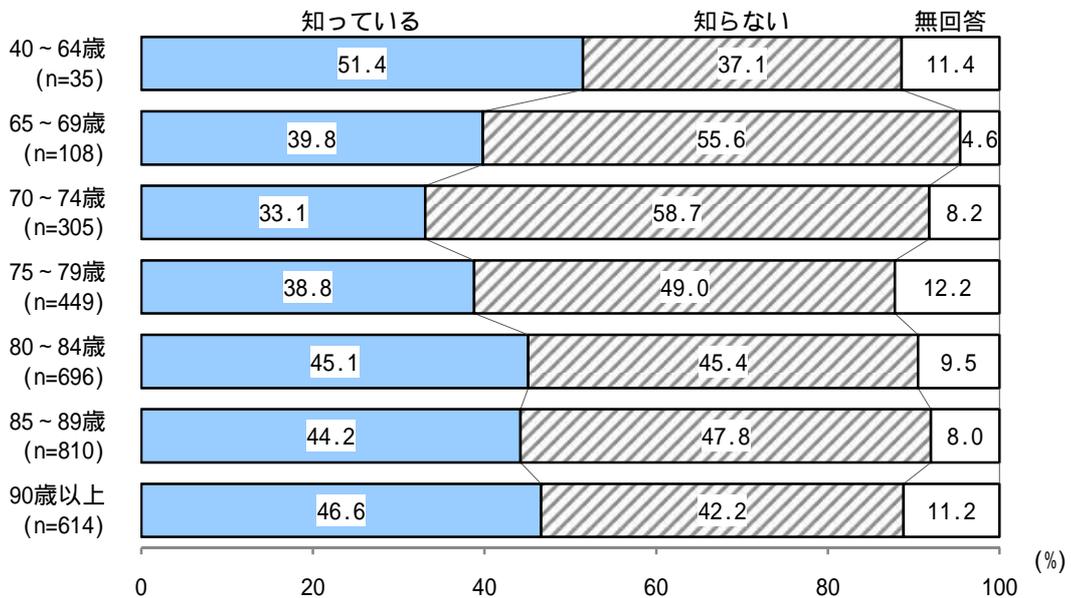
認知症に関する相談窓口の認知度については、「知っている」が42.9%、「知らない」が47.4%となっている。(図34-1)

【図34-1 認知症に関する相談窓口の認知度】



本人の年齢別で見ると、「知っている」は40～64歳が51.4%で最も高く、次いで90歳以上が46.6%、80～84歳が45.1%となっている。(図34-1-a)

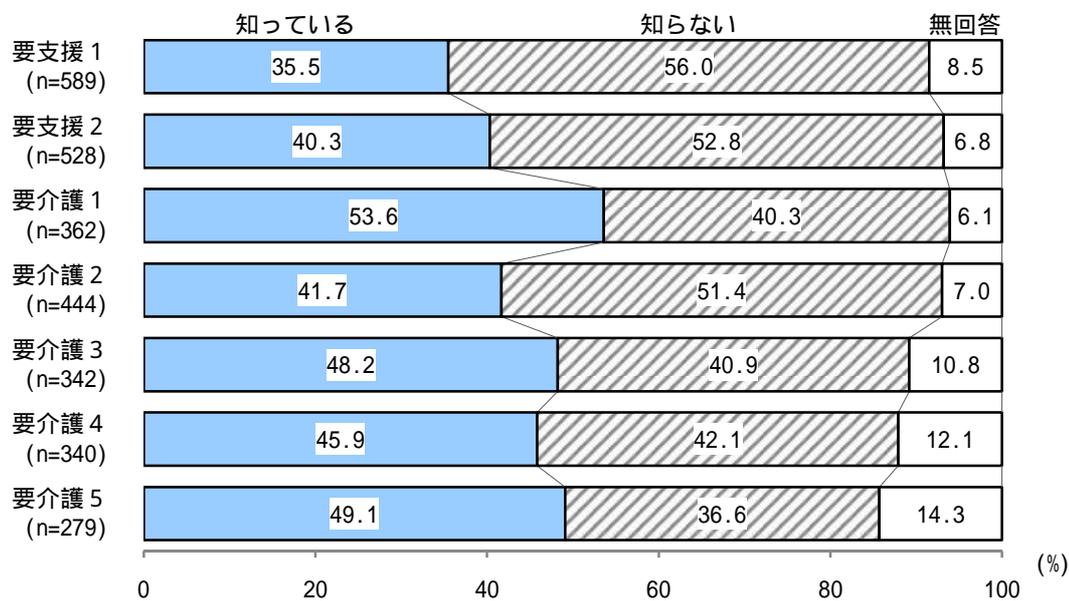
【図34-1-a 認知症に関する相談窓口の認知度 (本人の年齢別)】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、「知っている」は要介護1が53.6%で最も高く、次いで要介護5が49.1%、要介護3が48.2%となっている。(図34-1-b)

【図34-1-b 認知症に関する相談窓口の認知度（要介護度別）】



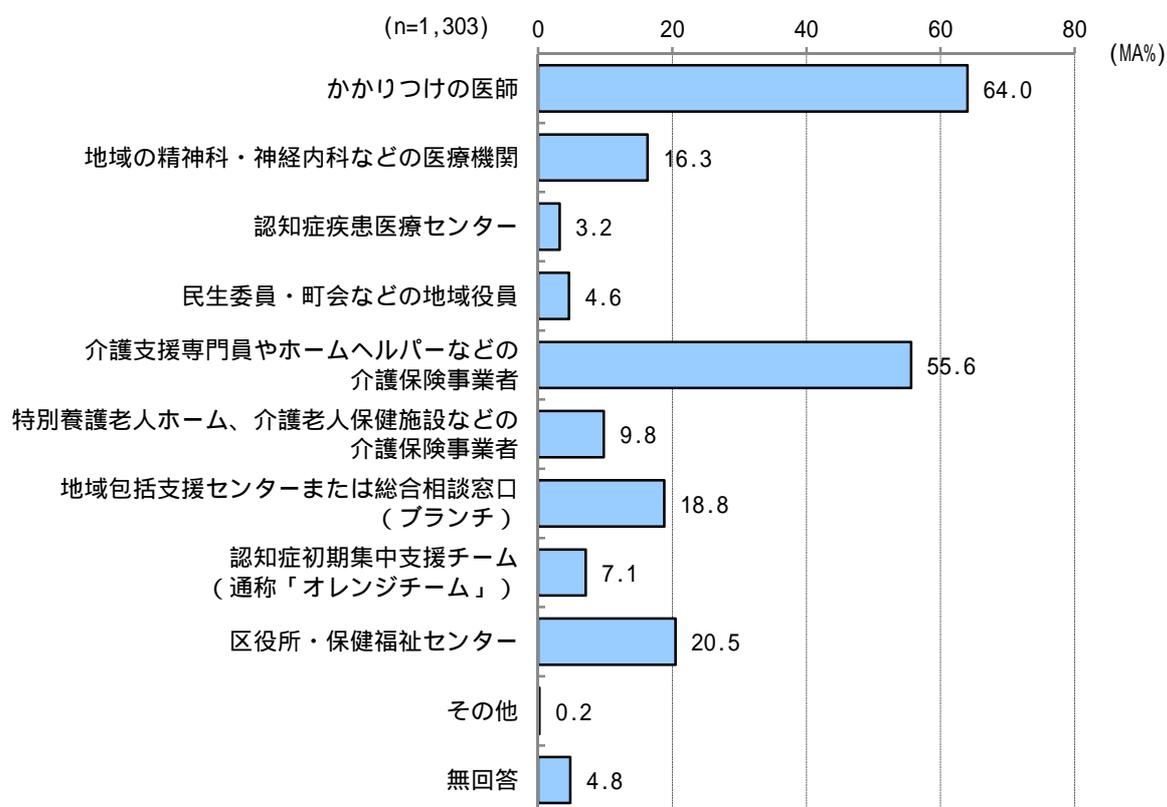
問34-2 知っている認知症に関する相談窓口

問34-1で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。(はいいくつでも)

認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている相談窓口についてたずねると、「かかりつけの医師」が64.0%で最も多く、次いで「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が55.6%、「区役所・保健福祉センター」が20.5%となっている。(図34-2)

【図34-2 知っている認知症に関する相談窓口】

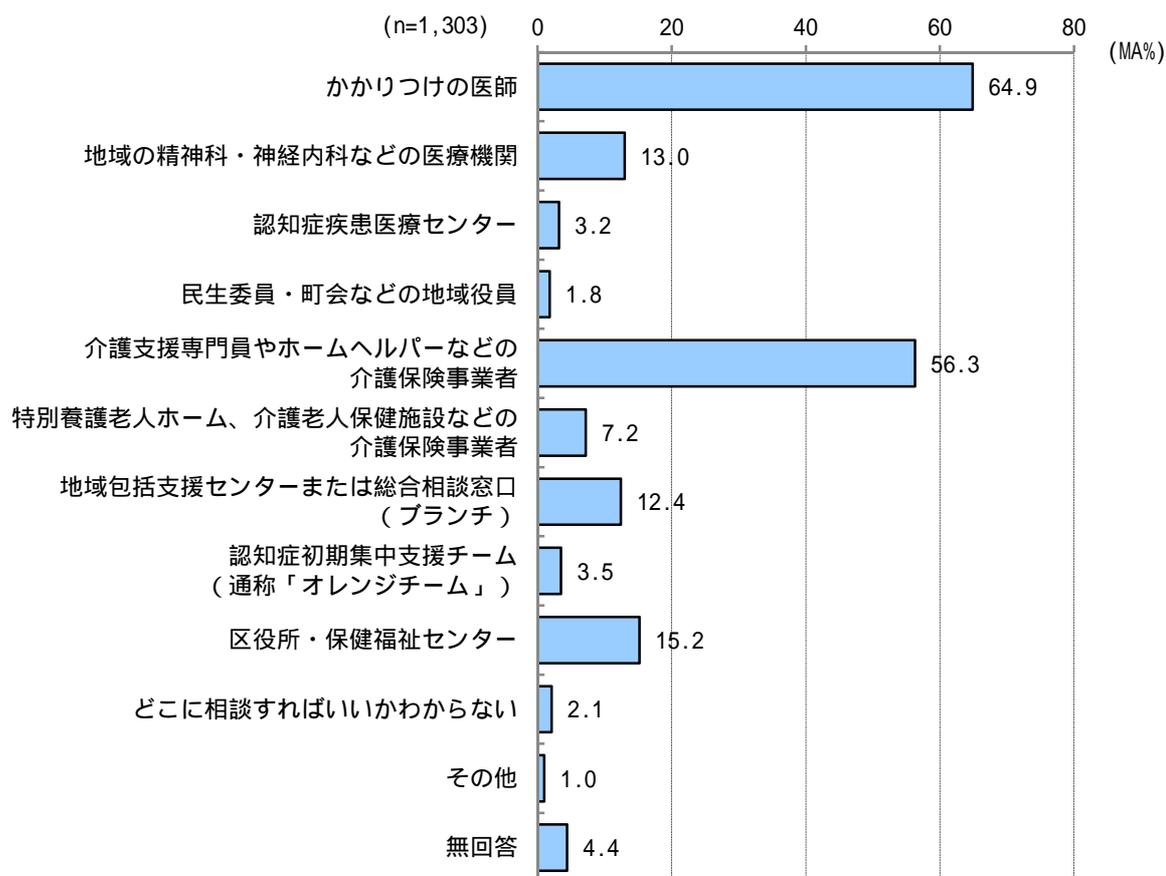


問34-3 認知症についての相談先

あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安を感じる時は、どちらに相談されますか。(はいいくつでも)

認知症の不安に対する相談先については、「かかりつけの医師」が64.9%で最も多く、次いで「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が56.3%、「区役所・保健福祉センター」が15.2%となっている。(図34-3)

【図34-3 認知症についての相談先】



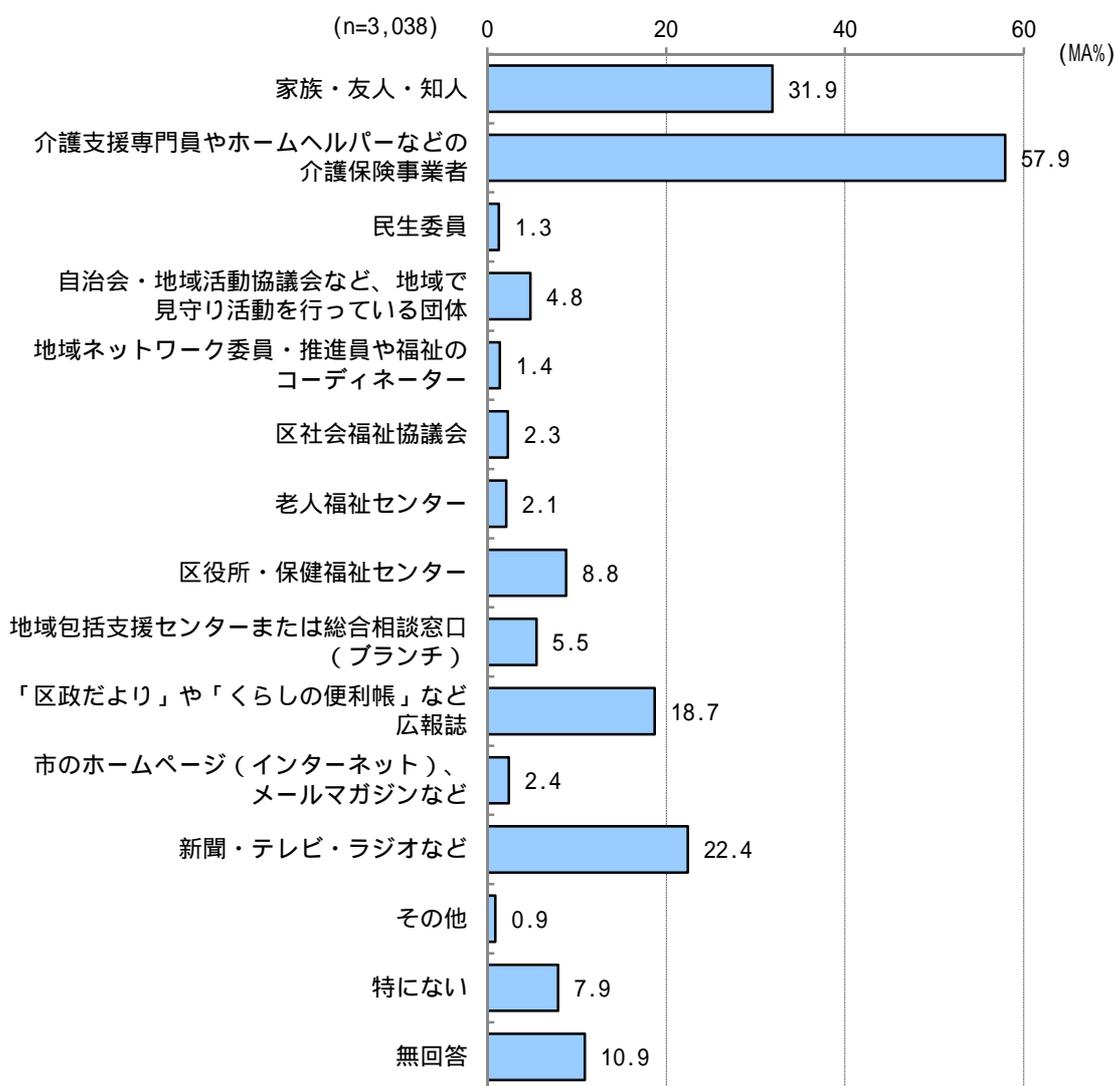
(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

問35 高齢者向けサービスの情報源

あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。
(はいくつでも)

高齢者向けサービスの情報源については、「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が57.9%で最も多く、次いで「家族・友人・知人」が31.9%、「新聞・テレビ・ラジオなど」が22.4%となっている。(図35)

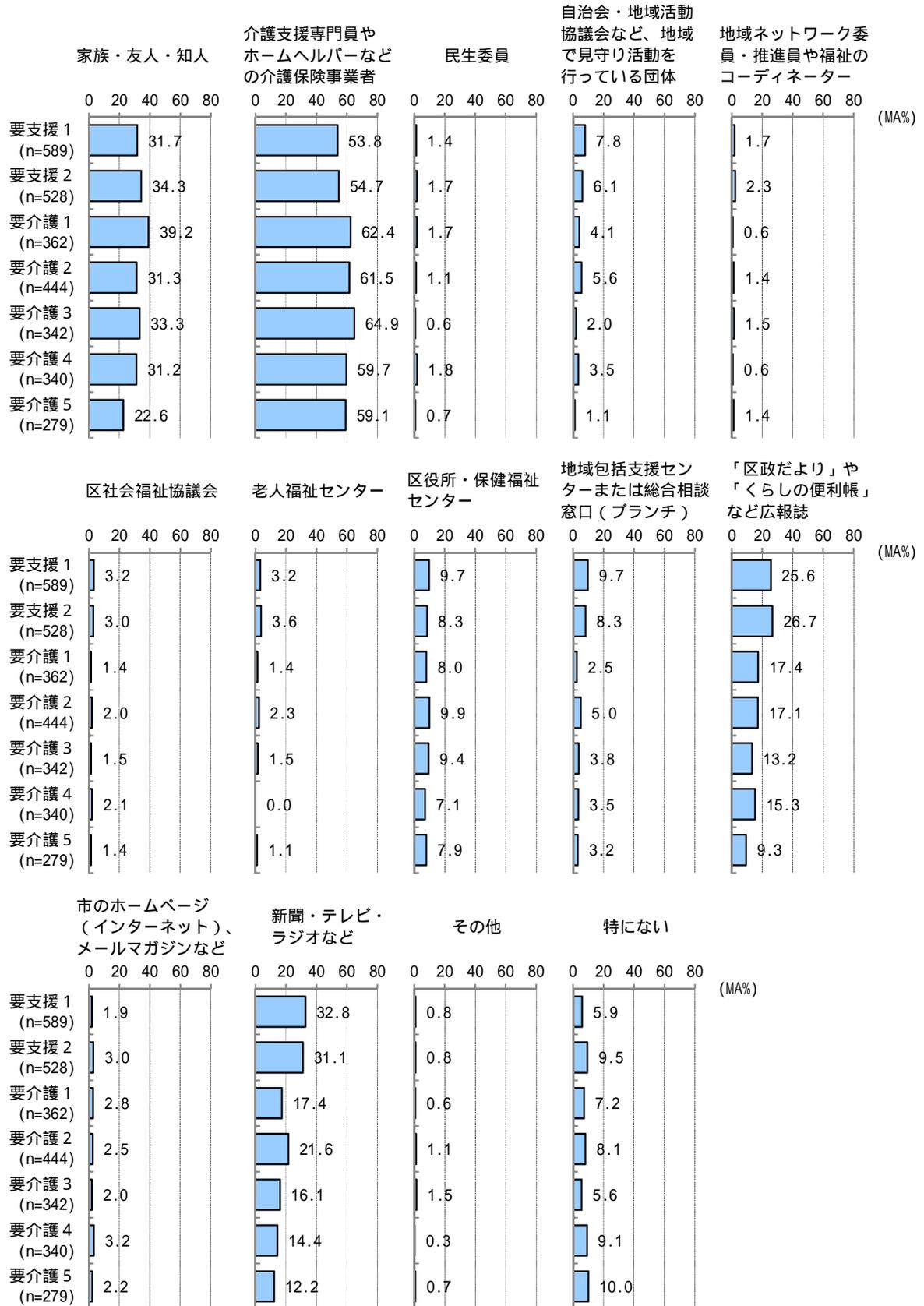
【図35 高齢者向けサービスの情報源】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合が最も多くなっている。「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌や「新聞・テレビ・ラジオなど」の割合は重度になるほど低くなる傾向にある。(図35-a)

【図35-a 高齢者向けサービスの情報源(要介護度別)】

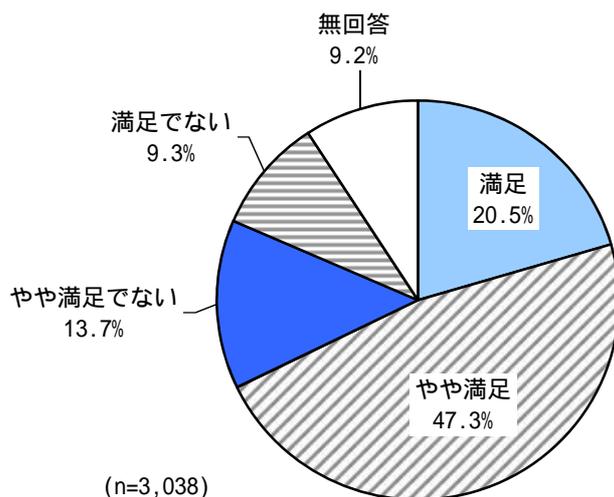


問36 現在の生活の満足度

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(はひとつ)

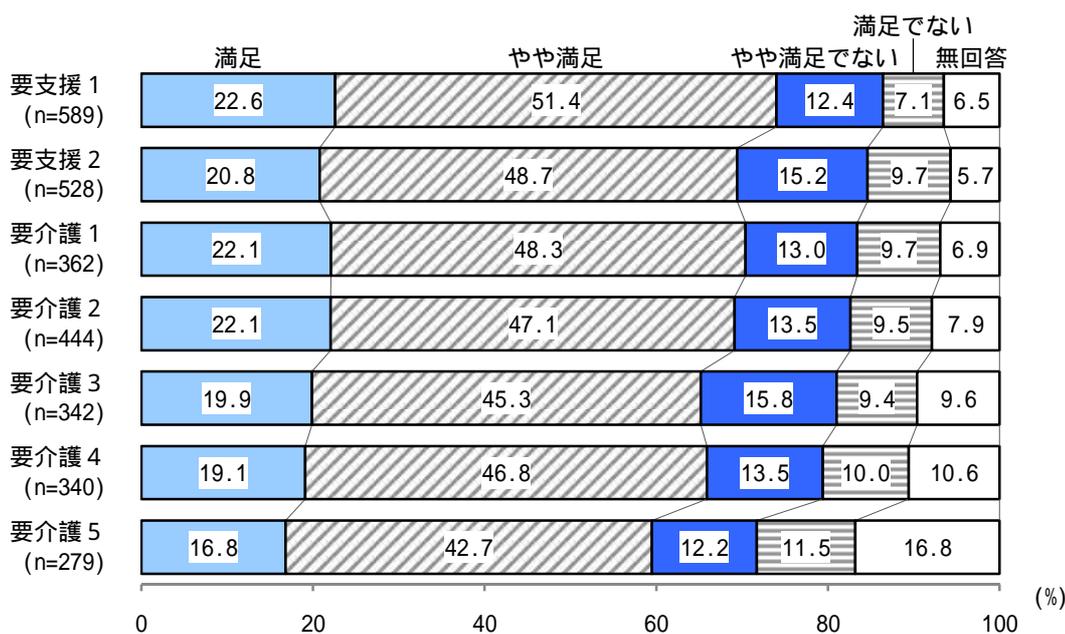
現在の生活の満足度については、「やや満足」が47.3%で最も多く、次いで「満足」が20.5%、「やや満足でない」が13.7%で、『満足』の割合（「満足」と「やや満足」をあわせた割合）は67.8%となっている。（図36）

【図36 現在の生活の満足度】



要介護度別でみると、要介護度にかかわらず『満足』の割合が過半数を占めており、要支援1が74.0%で最も高く、重度になるほど割合が概ね低くなる傾向にある。（図36-a）

【図36-a 現在の生活の満足度（要介護度別）】



(13) 介護保険制度についての意見・要望等

問37 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）

介護保険制度について、介護保険サービスの利用者として、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。

251人から意見があり、延べ262件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

【主な意見】

《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》(54件)

- ・通院時の介護タクシー代など交通費の補助が欲しい。
- ・介護者の負担軽減の為に制度があるのに、同居者は利用できないことに不満
- ・利用時間やサービス内容など提供されているサービスが不十分、不満。
- ・家族は仕事をしており、同居しているという理由でサービスを受けられないことn不満。

《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》(40件)

- ・介護保険料や利用料が高い。年々高くなっている。
- ・介護者がいなくなり、施設を利用したくても、入所できない。

《介護保険制度、制度についての要望・不満》(27件)

- ・市民が知りたい情報や高齢者が利用できる制度・サービスに関する情報の提供が少ない。
- ・制度が複雑で書類も多くわかりにくい。
- ・サービスを受けるのにハードルが高い。
- ・今後の一層の高齢化で、介護保険制度やサービスが対応できるのか心配。

《要介護認定についての要望・不満》(25件)

- ・要介護認定の基準に疑問、わかりにくい。
- ・認定が厳しすぎる。
- ・要介護認定について、もう少し家族の意見が入る形にしてほしい。

《訪問介護（ヘルパー）、ケアマネ、介護スタッフについての要望・不満》(16件)

- ・担当のケアマネジャーに知識不足があり、利用できる障がい福祉サービスについての提案や援助が受けられない。
- ・介護保険の人達はよくやっている。
- ・ヘルパーに対する研修をしっかりと行い、プロとしての自覚を促してほしい。

《コロナ禍の状況についての意見》(6件)

- ・コロナの関係で兄弟や友人と会う機会がないのは仕方の無いことだと、あきらめている。
- ・早く面会出来るようになってほしい。

《その他の意見》(94件)

- ・ いろいろサービスを利用させて頂き良い制度だと思っている。
 - ・ 介護サービスに満足している。
 - ・ 自分が介護される立場になって初めて知ることが多い。
 - ・ 高齢者には、調査票に記入したり答えたりするのは困難である。
-

【介護保険サービス利用者調査】